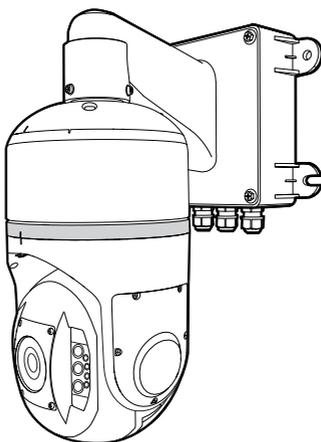


屋外 HD ネットワークコンビネーションカメラ

型名 **VN-H678WPR**

取扱説明書



本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
最新版の取扱説明書は、下記のモバイルユーザーガイドまたは URL から PDF をダウンロードしてご
確認ください。

モバイルユーザーガイド

出先などからは、iPhone 端末で取り扱い方法をご覧になれます。

<http://manual3.jvckenwood.com/jkpi/manual/jp/>

モバイルユーザーガイドは、iPhone 端末に標準搭載のブラウザで閲覧することができます。



ご購入ありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と添付の「取扱説明書（設置編）」をよくお読みのうえ、正しくお使い
ください。特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。ご購入の際は本機に製造番号が正しく記されている
か、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

はじめに

特長

屋外対応、PTZ カメラ

- F1.6 光学 30 倍ズームレンズと、高速回転台を高耐久性屋外ハウジングに一体化しました。

仰角 30°への操作可能

- 従来死角になっていた水平より上方の監視が可能になりました。

フレームレート 60 fps 対応

- 60 fps により滑らかな動画を撮影し、決定的瞬間を逃しません。

マルチエンコード

- 高パフォーマンスエンコーダーの搭載によって、同時に 4 エンコードが可能です。

WDR(ワイドダイナミックレンジ)機能

- WDR 機能で厳しい逆光でもしっかり撮影できます。

プライバシーマスク機能の搭載

- 撮影する場所に、映したくない場所がある場合、その部分を塗りつぶす設定が可能です。

赤外照明を搭載

- 赤外照明を搭載し、暗闇(0lx)での暗視モニタリングが可能です。また、ズーム操作に連動し、広角時は広範囲を、望遠時はズーム対象を照射し、視認性に優れた撮影が可能です。

耐塩塗装

- 屋外使用に適し、耐候性に優れた塗装を採用しています。

レンズカバーに親水コート加工

- 親水コートにより水滴が付きにくいため、視認性が向上しています。

マルチキャストに対応

- マルチキャスト対応によって、同じ映像データをネットワーク上の複数のパソコンへフレームレートを下げることなく一度に送信することが可能です。

ビューワーソフト内蔵

- カメラ映像(JPEG または H.264)をパソコンでモニタリングするためのビューワーを内蔵しています。本機の設定、制御も可能です。使いやすさを追求した GUI を採用しています。

音声の入出力可能

- 外部マイクを接続して音声をカメラからパソコンに入力できます。また、パソコンに入力した音声をネットワーク経由でカメラから出力することもできます。

SD カード記録機能の搭載

- microSD カードを使用して監視映像、音声を記録することができます。また、記録したその映像をネットワーク経由で見ると、およびダウンロードすることができます。
- パソコンで microSD カードに記録した映像を再生できます。

この取扱説明書の見かた

本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
P. : 参考ページを示しています。

本書記載内容について

- 最新の取扱説明書やファームウェアは、ホームページのビジネス向け製品・サービスの各種ダウンロードにてご確認ください。
ホームページ: <http://www3.jvckenwood.com/>
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows、Internet Explorer、ActiveX、Windows Media Player は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- iPhone は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- microSD カードは、「SD カード」として説明しているところがあります。

取扱説明書の構成

本機の取扱説明書は、次の構成になっています。

名称	内容
VN-H678WPR 取扱説明書 (PDF 版)	本機の設置方法、運用に必要な設定・操作方法について説明しています。弊社ホームページからダウンロード、閲覧できます。
VN-H678WPR 取扱説明書(設置編)	本機の設置方法、基本的な操作方法について説明しています。
VN-H678WPR モバイルユーザーガイド	本機の設置方法、運用に必要な設定・操作方法について説明しています。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで閲覧できます。

もくじ

はじめに

特長	2
この取扱説明書の見かた	2
もくじ	3
安全上のご注意	4
設置作業時のご注意	8
正しくお使いいただくためのご注意	9
添付物・付属品	13

製品概要

各部の名称	14
microSD カードについて	16
アラーム入出力信号について	17

設置・接続

カメラの取り付け	18
設置・接続の準備	18
カメラ本体と、壁面取付ブラケット(アーム部) の取り付け	20
動作環境	24
ネットワークについて	25
接続	27
映像確認の準備	27
IP アドレス(工場出荷値)	29
パソコン接続および映像確認の準備	29

ビューワー

ビューワー	30
-------------	----

設定

設定	36
カメラ	36
エンコード	36
エンコーダーで設定できるフレームサイズの組 み合わせ表	39
露光設定	46
デナイト切り替え設定	49
ホワイトバランス	51
映像調整	52
プライバシーマスク	53
PTZ	55
オートパトロール 0	55
オートパトロール 1	56

オートパトロール 2	57
オートリターン	58
その他 PTZ 設定	59
ネットワーク	60
ネットワーク	60
ネットワーク(IPv6)	62
HTTP/RTSP サービス	63
マルチキャスト	65
アクセス制限	67
DDNS	68
UPnP	69
SNMP	70
ONVIF	71
検出設定	72
動き検出	72
妨害検出	74
異音検出	75
アラーム入力	77
ネットワーク障害検出	78
イベント設定	79
イベント	79
FTP 記録	87
メール設定	89
SD カード記録	90
SD カード記録データ	93
HTTP 通知	95
TCP 通知	96
UDP 通知	97
音声再生	98
システム	99
システム情報	99
ユーザー	101
時刻	103
音声	104
メンテナンス	106
その他	108
動作状況	109
機器情報	110
システムログ	111

その他

こんなときは	112
保証とアフターサービス	115
仕様	116

はじめに (つづき)

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示 (文字含む) を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
	注意	この表示 (文字含む) を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明

- 注意 (警告を含む) が必要なことを示す記号



一般の注意



感電注意



手をはさまれないよう注意

- してはいけない行為 (禁止行為) を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

- 必ずしてほしい行為 (強制・指示行為) を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示

- 各説明項目の中には、重複している内容もあります。



警告

異常が発生したとき

- 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因となります。

- ・煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- ・画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落したり、キャビネットが破損したとき。
- ・電源コードが傷んだとき。(芯線の露出、断線など)



このようなときは、すぐに電源を切り、電源のソケットを抜いてください。煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

設置について

- 不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いた所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。



- 風呂場など水のある場所で使わない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。また、雨天、降雪中、水辺で使用するときにご注意ください。



■ 海岸近くでは使わない

塩害により故障の原因となります。



■ 設置／接続作業は販売店などに依頼する

設置／接続作業は、販売店または専門業者にご依頼ください。
AC100 V - 200 V の接続は、電気工事士の有資格者が行なってください。



電源や電源コードについて

■ 表示された電源電圧（交流100 V - 200 V）以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



■ 雷が鳴り出したら、ケーブル類や電源コードに触れない

感電の原因となります。



■ 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。



■ 電源のソケットにほこりや金属が付着したまま使用しない

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。



取り扱いについて

■ 内部に物を入れない

金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。



■ この機器の（裏ぶた、カバー、キャビネット）ははずしたり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



注意

設置について

■ この機器の上に重い物を置かない

重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。



■ 本機を設置する場合

本機を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。取り付けねじやナットでの締め付けがゆるいと落下するおそれがありますので、確実に締め付けてください。



■ 十分な強度を持った場所に取り付ける

本機には高速回転部分があるので、振動や本機質量などを考慮し、十分な強度を持った場所に取り付けてください。

質量：約10.2 kg
強度が不十分な場合は、振動のためモニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下し、下に人がいた場合、重大な事故となる危険性があります。



はじめに (つづき)

■ カメラを正しく取り付ける

落下防止ワイヤーは必ず接続し、取付ねじやナットはきちんと締め付けてください。



■ 関連機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書に従って接続する

接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



■ 電源や電源コードについて

■ 電源のソケットはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。



■ めれた手で電源のソケットを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



■ 移動するときは、電源のソケットや接続コード類をはずす

接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



■ 取り扱いについて

■ この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



■ 長期間使用しないときは、電源のソケットを抜く

安全および節電のため、電源のソケットを抜いてください。



■ 移動するときは、重いので必ず2人以上で持つ

けがの原因となることがあります。



■ この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

頭からかぶると窒息の原因となります。



■ レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



お手入れについて

- **お手入れするときは電源のコンネクターを抜く**

感電の原因となることがあります。



- **2～3年に一度は内部の掃除を販売店に依頼する**

内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。



- **定期的に点検する**

取付部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。



音声・スピーカーについて

- **ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない**

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- **音量を下げた後、電源を入れる（機械式ボリュームの場合）**

音量が上がっていると、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



- **聞き終わったら、電源を切る前に、音量を下げる（電子式ボリュームの場合）**

音量が上がっていると、電源を入れたとき突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



- **長時間、音がはずんだ状態で使わない**

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



はじめに (つづき)

設置作業時のご注意

設置作業時にご注意いただきたい重要な項目です
ので、必ず設置作業前にお読みください。

この「設置作業時のご注意」は当社製セキュリティ
カメラ全般についての設置作業時のご注意を記載
しています。

お客様がお買い上げのカメラによっては、記載さ
れている機能が搭載されていない場合や機能名が
異なる場合があります。

設置作業時のご注意について

- 開封時、カメラや添付物・付属品の外観に目視で
きる破損がないことを確認してください。
- 壁または天井などに取り付けるときは特別な注
意が必要です。お客様による工事は避けて専門
の工事業者にお任せください。カメラが落下す
るとけがなどの原因となります。
- 設置作業時には、カメラの落下に十分注意して
作業を行なってください。
- 天井への取り付けの際は、落下物から目を保護
するため、必ず保護めがねを着用して行なっ
てください。
- 壁または天井などの設置場所の強度を確認して
ください。カメラが落下する原因となりますの
で、十分な強度をもっていない場所に取り付け
る場合は、設置前に補強を必ず行なってくだ
さい。
- 取り付けねじやナットでの締め付けが不十分だ
とカメラが落下する原因となります。締め付け
は適正かつ確実に行なってください。また、取り
付け部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期
的に点検し、落下の危険がないことを確認して
ください。
- カメラにぶら下がったり、ゆすったり、物を引っ
掛けたりしないでください。過度の荷重がかか
ると、カメラが落下してけがや事故の原因とな
ります。
- 専用の取り付け金具が添付されている場合、必
ず使用してください。
- 落下防止ワイヤーは必ず接続してください。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよ
う十分にご注意ください。また、防塵・防水対応
のカメラを多湿環境で設置した場合、すぐ使用
するとレンズなどがくもる恐れがあります。そ
の場合、しばらく放置し、くもりが取れるまで使
用しないでください。シリカゲルが添付されて
いる場合は忘れずにカメラ内部にシリカゲルを
装着してください。

- カメラや接続ケーブルなどへの誘雷に対応はし
ていますが、万全ではありません。落雷の被害が
考えられる取り付け場所では、必ず接続ケーブ
ルにアレスターを追加するなどの対応をとって
ください。
- レンズカバーなどの光学部品は直接手で触れな
いようにしてください。指紋などが付着してい
ると画質劣下の原因となる場合があります。
- ヒーター内蔵カメラの場合、寒冷地で電源を入
れると内部が温まるまでカメラにアクセスでき
ない場合があります。寒冷地で使用する場合は
常時通電して内部温度が下がらない状態でご使
用することをおすすめします。
- カメラの防塵・防水性能は、取扱説明書などの設
置手順や設置作業時のご注意に記載されている
防水処理を施されている状態での性能になりま
す。カメラと取り付け面の防水処理や接続ケー
ブルの防水処理を確実にこなしてください。
- パン/チルトズーム機能搭載カメラ(PTZ カメ
ラ)は必ずカメラ部が水平になるように設置し
てください。傾いて使用すると正しく動作しま
せん。

電源について

- カメラに電源を供給するときには取扱説明書を
確認して正しい電源・電圧でお使いください。定
格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火
の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を
切って、速やかにサービス窓口へ連絡してくだ
さい。外観・動作に異常がなくても内部にダメ
ージが残っている場合があります。速やかにサー
ビス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてくだ
さい。
- DC 12 V / AC 24 V 仕様のカメラの電源は一次
電源から絶縁されたものをお使いください。
- AC 100 V / AC 200 V 仕様のカメラは商用電源
AC 100 V / AC 200 V (50 Hz / 60 Hz) を使用して
ください。
また、異常発生時の保護のため、電源コードを容
易に抜き差しできるようにしてください。設置
条件により容易に電源コードが抜き差しできな
い場合は、カメラを接続する電路に過電流遮断
器(サーキットブレーカーなど)を設け、容易に
電源を遮断できるように配線工事を行なって
ください。
- AC 100 V - 200 V 電源を使用するとき設置工
事には、専門の資格が必要です。

正しくお使いいただくための ご注意

この「正しくお使いいただくためのご注意」は当社製セキュリティカメラ全般に関する内容を記載しています。

お客様がお買い上げのカメラによっては、記載されている機能が搭載されていない場合や機能名が異なる場合があります。

妨害波に関する表示

警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保管および使用場所について

- 下記のような場所には置かないでください。
 - スポットライトなど、高温になる照明器具に近いところ
 - 使用周囲温度範囲外の暑いところや寒いところ
 - エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たるところ
 - 火口や温泉場、トンネルの中など腐食性のガスが発生するところ
 - 可燃性のガスを使用するところ
 - 放射線や X 線を発生するところ
 - 変圧器やモーターなど強い磁気が発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器に近いところ
 - 振動、衝撃のあるところ
 - 砂の多いところ
 - プールなど薬剤を使用するところ
 - 海岸付近など潮風による塩害の発生が予想される場所
 - 直射日光が映るところ
- 雨や湿気にさらされるところで保管しないでください。屋内用カメラは雨や湿気にさらされるところでは使用できません。屋外で使用する場合は、ハウジングなどを使用してください。
- カメラを寒い場所から暖かい室内などへ移動したときに、結露が発生し、動作しない場合があります。この場合は室温にしばらく放置して結露が取れてから、電源を入れてください。

- 防塵・防水性能 IP66 に対応とは、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行ってください。
- カメラの外装の汚れは乾いた柔らかい布などで取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めてふき、後でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面が溶けたり、くもったりします。
- 親水コートに対応したカメラは、洗剤を使用すると親水性が損なわれますので水をかけて汚れを落とすようにしてください。
- レンズカバーのガラス面は親水コート加工をしています。傷つき易いので布などで拭かないでください。汚れた時は水で洗い流してください。

輸送について

- カメラの入っていた箱は捨てずにとっておき、輸送する場合はその箱を使用してください。
- 輸送時の衝撃に耐えるため補助テープで固定しているカメラもあります。カメラの故障防止のため可能な限り元の梱包状態に戻してから輸送することをおすすめします。

省エネについて

- 長時間使用しない場合は、安全および節電のため電源を切ってください。

時計機能について

- カメラは電源を供給しない状態で放置されると時刻が初期化されます。初めてお使いになる場合や、時刻が初期化された場合は、時刻の設定を行なってください。時刻を設定しなかった場合、ログ、SD カード記録およびメール送信の時刻情報などが正しく表示されません。
- 時刻サーバー (SNTP サーバーや NTP サーバーなど) を使用して自動的に時刻合わせを行う機能を搭載したカメラの場合、より正確な時刻で記録するために、時刻サーバーのご使用をおすすめします。

パスワードについて

- 工場出荷時のユーザー名とパスワードは広く公開されているため、変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されない文字と数字を組み合わせたユーザー名とパスワードに設定してください。また、ユーザー名とパスワードは定期的に変更してください。

はじめに (つづき)

SD カードについて

- SD カードは寿命のあるデバイスのため長期間の使用はおすすめでできません。保存データの消失・破壊による損害に対する責任は一切負いません。大切なデータはバックアップをお願いします。
- SD カードは下記の条件などによって保存データを消失・破壊することがあります。
 - SD カードに電氣的・物理的なショックを与えた場合
 - データのアクセス中に SD カードを取り出したり機器の電源を切ったりした場合
 - SD カードが寿命となった場合

赤外線照明について

- カメラ内蔵の赤外線照明の赤外光を直射しないでください。
- カメラ内蔵の赤外線照明を使用する場合は、必ず夜間の映像を確認してください。
- カメラ内蔵の赤外線照明を使用する場合は、下記のような要因により赤外光が映り込み、画像が白く光って見えることがあります。故障ではありません。
 - 天井、壁面、その他の障害物などに反射する場合：レンズの画角や撮影方向を変えることや、障害物を移動させることにより改善することがあります。
 - レンズカバーなどに付着した汚れに反射する場合：清掃することにより改善することがあります。
 - チルト/ローテーションの位置によりカメラに反射する場合：レンズの画角や撮影方向を変えることやチルト/ローテーションの位置を変えることにより改善することがあります。
- 広角側で撮影すると、画面の四隅に白い光が映る場合があります。ズームを少し望遠側に調節することで白い光が映らなくなることがあります。
- 環境や被写体によっては赤外光の映り込みが改善できない場合があります。その場合はカメラ内蔵の赤外線照明を使用せずに別途赤外線照明投光器を用意してご使用くださることをおすすめします。

フォーカスについて

- 高倍率レンズを使用しているカメラの場合、温度変化によってフォーカスがずれることがあります。故障ではありません。
- フォーカスを合わせる場合は、実際に使用する環境の温度に近い状態で行うことをおすすめします。
- 使用中の温度変化によってフォーカスがずれる場合は、オートフォーカス機能を使用するか、フォーカスを取り直して使用してください。
- オートフォーカス機能はカメラの設定、被写体や光源の状態によっては、フォーカスを合わせられない場合があります。この場合はマニュアルで合わせてください。
- オートフォーカスで合わせにくい被写体
 - 輝度が極端に高い(明るい)被写体
 - 輝度が極端に低い(暗い)被写体
 - 輝度が常に変化している被写体(点滅するライトなど)
 - コントラスト(明暗差)がほとんどない被写体
 - 繰り返しの縦横パターンがある被写体
 - 動きのある被写体
- オートフォーカスで合わせにくい設定
 - AGC で感度アップし画面がザラついている
 - 電子感度アップで画面の動きが少ない
 - 電子ズーム中で十分な輪郭成分が少ない

ズーム動作について

- 下記の現象は内蔵レンズの性能によるもので故障ではありません。
 - マニュアル動作やプリセット選択などによるズーム動作が止まった後に、フォーカスが動く
 - マニュアル動作中のズーム動作がなめらかでない
 - プリセット選択を行なったときのズーム動作中に瞬間的にフォーカスがずれる

音声入出力について

- PTZ カメラの回転機構や電動レンズの動作時、電源 ON/OFF 時、SD カード動作時に雑音が発生する場合があります。故障ではありません。
- マイクゲインの設定値が高い場合、音声に雑音が目立つことがあります。これは故障ではありません。

著作権保護について

- お客様ご自身が、素材映像の著作権者であるか、または著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材映像として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材映像として使用するときは、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- 被写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、利用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれにかかわる許諾条件を十分ご確認ください。
- 録画(録音)したものは著作権上、権利者に無断で使用できません。

免責について

- 設置説明に従わない不完全な取り付けによってカメラが落下した場合、発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- カメラの映像や音声によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- 動き検出、妨害検出、異音検出、アラーム入出力などのカメラの機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。

その他

- 大切な撮影の場合は、必ず事前に動作確認を行なってください。
- 太陽や明るいライトなどの非常に強い光源にレンズを向けないでください。故障の原因となります。
- 強い降雨や降雪の場合、霧が発生している場合などの環境条件によっては映像が不鮮明になることがあります。
- 可視光センサーを搭載しているカメラの場合、下記の状態になると誤動作の原因となります。誤動作を起こす場合は、画角、デナイトの設定などを調節してください。
 - ・ 可視光センサー部が隠れる
 - ・ 可視光センサー部に強い光が当たる
 - ・ 可視光センサー部と被写体の明るさが大きく異なる

- 強い光源、ハロゲンランプ、電球などの赤外線成分が強い光源では黒色の被写体が紫に近い色に映ることがありますが、レンズの特性によるもので故障ではありません。
- 動きのある被写体で残像が見える場合がありますが、故障ではありません。
- モニター出力使用時に、表示領域の広いモニターを用いた場合は画面の外周部に線が見えることがあります。
- 商用電源周波数 50 Hz の地域では、蛍光灯照明下(インバーター照明器は除く)のちらつき(フリッカー)を軽減するため、露光設定を"フリッカレス"や"フリッカー軽減"などに設定してご使用ください。"フリッカレス"などに設定しても、非常に明るい照明環境下では、フリッカーが発生することがあります。
- 広角側で撮影すると画面の四隅にケラレ(黒)が発生する場合がありますが故障ではありません。
- ご使用になるレンズや被写体によっては逆光の明るい部分や強い光源が内面で反射して画像に映り込むこと(ゴースト)がありますが故障ではありません。画角を調整することで改善することがあります。
- ご使用になるレンズや被写体によっては明暗の差が大きい被写体(蛍光灯など)を撮影した場合、明暗の境目が紫色になること(パープルフリンジ)がありますが、これはレンズの特性によるもので故障ではありません。画角の調整や映像(カラーレベル、ブライトネス)の調整をすることで改善することがあります。
- AGC や電子感度アップを大きく設定し暗い被写体を撮影すると、ランダムノイズやカラーノイズが発生したり、動きのある映像が見えなくなることがありますが、撮像素子の特性によるもので故障ではありません。
- CMOS 撮像素子を使用したローリングシャッター方式のカメラは、PTZ カメラや旋回台に搭載するときなどのカメラが動く撮影や動く被写体を撮影する場合に、建物の柱や被写体がゆがみ、実際とは違う映像が出力されますが、撮像素子の特性によるもので故障ではありません。
- PTZ カメラを望遠側で撮影する場合、パンやチルトの動作を行うと画面が振動して見える(回転動作がめめらかでない)ことがあります。この現象はモニター性能によるもので故障ではありません。

はじめに (つづき)

- PTZ カメラやファン内蔵カメラなどの場合に、モーターの動作音が聞こえることがあります。故障ではありません。
- PTZ カメラは必ず正しい向きでカメラ部が水平になるように設置してください。カメラの上下を逆さまにしたり、カメラ部を傾けて使用すると正しく動作しません。

その他(本機特有のご注意)

- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
- 本機は、PoE++電源使用時はヒーターが動作しません。-10℃以下の環境下で使用する場合は、AC 100 V – 200 V 電源で使用してください。
- 本機を AC 電源で使用するためには、別売りの電源ソケット(メス)(株式会社七星科学研究所製・NJC-203-PF, CBAS-12-7)が必要です。
- 本機を低温(-40℃～-10℃)の環境下で電源を入れた場合、内蔵のヒーターによって内部が温まるまでのあいだ(最長2時間)は、本機にアクセスできません。低温環境下では常時、通電して使用することをおすすめします。
- 本機は電源投入後、パン/チルト/ズーム/フォーカスの初期動作を行います。初期動作が開始されるまでに2分30秒程度かかりますが、故障ではありません。
- AGC が動作中、トランシーバーなど強い電波を発生する機器を本機の近くで使用すると、映像にビートなど発生することがあります。トランシーバーなどを使用する場合は、本機から3m以上はなれて使用してください。
- 本機をホワイトバランス "ATW-Narrow"、"ATW-Wide"、"ATW-Full"(自動調整)で使用したとき、自動色温度追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがあります。故障ではありません。
- 高湿時、急激な温度変化によってレンズカバーが曇ることがあります。
- 外来の雑音などによって、アラーム信号ケーブルの長さが50m以下でもアラームが誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。
- マルチキャストを使用する場合は、IGMPv2に準拠したネットワークスイッチを使用してください。
- インテリジェント機能搭載のスイッチングハブの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト画像が正常に閲覧できない場合があります。

- 落雷やエアコンの電源投入などによって電源電圧が瞬間的に断たれる、または低下した場合、映像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- 本機は耐塩塗装仕様ですが、完全な防錆を保証するものではありません。使用環境によっては錆が発生します。設置場所には十分ご注意ください。
- ビューワーで視聴時に音声がずれる場合がありますが、故障ではありません。
- 3次元ノイズリダクション使用時は、原理上、動きのある被写体で残像が生じることがありますが、故障ではありません。
- 赤外照明点灯時に対象被写体より手前に物体がある場合やチルト方向が上方を向いている場合は、乱反射により、赤外照明が正常に機能しないことがあります。これは故障ではありません。
- レンズカバー、LED カバーはガラス製です。破損しないよう、取り扱いにご注意ください。
- 電源投入後、パン/チルト機構部に触ると、ポジションずれの可能性があります。電源投入後はパン/チルト機構部に触らないでください。
- 設置・接続工事終了後、プリセットポジションを設定する前に必ず本機を再起動してください。
- 本機に物がぶつかったり、異物がパン/チルト機構部に挟まったりすると、プリセット位置がずれるなど、故障の原因となります。設置場所には十分ご注意ください。
- 周囲温度が仕様の範囲内であっても強風の中の降雪などにより、ガラス表面やカメラ本体に厚く積雪や氷が付着し解凍できなくなることがあります。このとき、カメラのパン、チルト動作ができなくなる、映像が見えなくなるなどの症状が発生することがあります。凍結の恐れがある場所に設置する場合はご注意ください。
- カメラが凍結状態のとき、パン、チルト動作を行うと故障の原因となりますので、ご注意ください。
- カメラが上方を向いているときは、降雪などにより映像が正しく映らない場合がありますので、ご注意ください。
- 長期間同じポジションを監視する場合、水平回転部の接点抵抗の増加によって映像にノイズが発生したり、パソコンからの操作が不安定になることが考えられます。そのため定期的にクリーニングを行うオートクリーニング機能を備えています。

添付物・付属品

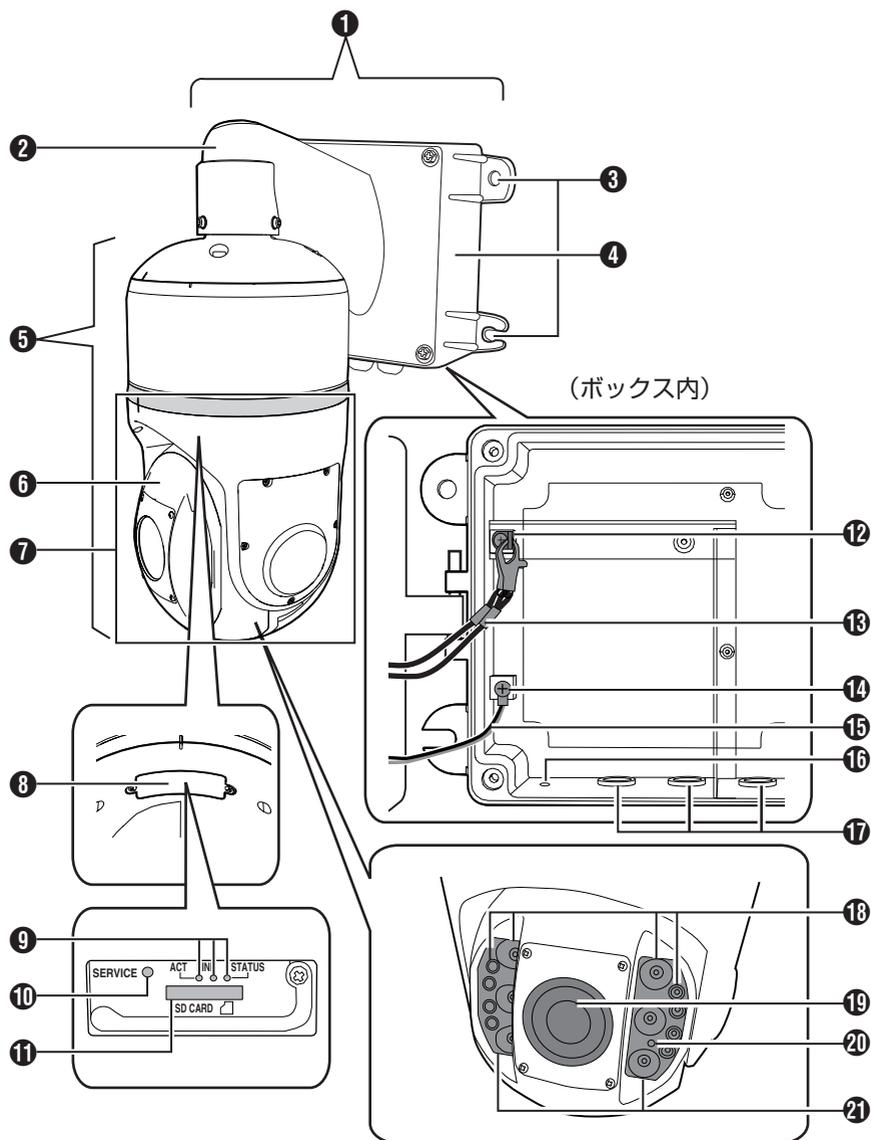
本機を取り付ける前に、下記の添付物・付属品が揃っていることをご確認ください。

- 取扱説明書(設置編):1
- テンプレート:1
- 保証書:1
- コネクターカバー:1

いずれかが同梱されていない場合は、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

製品概要

各部の名称



- ① 壁面取付ブラケット
- ② 壁面取付ブラケット(アーム部)
- ③ 壁面取付ブラケット固定用穴(4 か所)
壁面取付ブラケットを壁に固定するための穴です。
- ④ 壁面取付ブラケット(ボックス部)
このボックス内で配線を行います。
- ⑤ カメラ本体
- ⑥ カメラヘッド部
- ⑦ パン/チルト機構部
この部分が回転します。設置時に持たないようにしてください。
- ⑧ microSD カバー
microSD カード挿入時にはずします。
- ⑨ 表示灯(サービス専用)
- ⑩ SERVICE スイッチ(サービス専用)
長押しすると設定がリセットされます。
- ⑪ microSD カードスロット
microSD カードを挿入します。(P.16)
- ⑫ 落下防止ワイヤー取付金具
カメラ本体側からの落下防止ワイヤーを取り付けます。
- ⑬ 落下防止ワイヤー(2 本)
- ⑭ GND ワイヤー取付ねじ
- ⑮ GND ワイヤー
- ⑯ 水抜き穴キャップ
ボックス内に雨水の浸入が予想されるときは、このキャップをはずします。
- ⑰ ケーブルグラウンド(3 個)
ここからケーブルを出します。
- ⑱ 赤外照明
赤外光を照射します。
- ⑲ レンズカバー
- ⑳ 可視光センサー
デイナイト切り替え時に使用します。
- ㉑ LED カバー

- ① AC100 V – 200 V 電源コード
AC100 V – 200 V 電源と接続します。
- ② LAN ケーブル
ネットワークと接続します。
PoE++(IEEE802.3bt Draft2.0)に対応しており、電源配線なしで本機を使用できます。
- ③ アラーム入力
アラーム入力ケーブルです。

端子	説明
ALARM IN1	アラーム入力 1
ALARM IN2	アラーム入力 2
PT-STOP	パン/チルトの動作を止めるには、GND 端子と短絡した状態で電源を入れてください。 オープン状態にし、電源を切→入にすると解除されます。
DAYNIGHT IN	デイナイト用
GND	アラーム入力用 GROUND(接地)

- ④ モニター出力
本機設置時の位置調節などに使用します。モニターを接続してお使いください。監視用/記録用には適しません。
- ⑤ アラーム出力
アラーム出力ケーブルです。

端子	説明
ALARM OUT1	アラーム出力 1
COM1	アラーム出力 1 用 COMMON(共通)
ALARM OUT2	アラーム出力 2
COM2	アラーム出力 2 用 COMMON(共通)

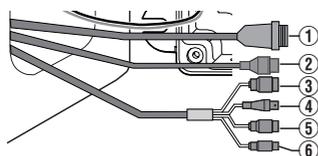
- ⑥ オーディオケーブル
マイク入力、ライン出力ケーブルです。
オーディオケーブルの信号一覧

端子	説明
AUDIO IN	プラグインパワー方式対応のコンデンサーマイクなどと接続します。
GND	AUDIO IN、AUDIO OUT の共通の GROUND(接地)
AUDIO OUT	アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。

メモ: _____

- ケーブル類の長さは壁面取付ブラケット(アーム部)より約 650 mm です。
- 配線後各ケーブルは壁面取付ブラケット(ボックス部)内に収めます。

ケーブルについて



製品概要 (つづき)

microSD カードについて

本機では、撮影した映像をカードスロット内の microSD カード(別売)に記録できます。

本機で使用可能な microSD カードについて

microSD カードは下記の仕様のものを使用してください。

- Class10 以上対応の microSDHC/SDXC カード、動作保証温度 85 °C 以上のもの
- ファイルシステムが FAT32 のもの

下記 microSD カードは本機に接続して、動作確認を行なっております。

- Panasonic RP-SMGB32GJK
- Panasonic RP-SMGB64GJK
- 東芝 MU-F032GX
- 東芝 MU-F064GX
- 東芝 MU-F128GX
- SanDisk SDSDQXP-032G-J35A
- SanDisk SDSDQXP-064G-J35A
- SanDisk SDSDQUPN-032G-J35A
- SanDisk SDSDQUPN-064G-J35A
- SanDisk SDSDQUPN-128G-J35A
- JVC ケンウッド KNA-SD32A

※ 上記条件を満たす microSD カードすべての動作を保証するものではありません。

メモ :

- microSD カバーを開けた状態で長時間放置しないでください。内部にごみが入り、故障の原因となる場合があります。
- 本機の電源を切ったり、microSD カードを取り出したりするときは、必ず、[microSD カード記録] ページで [アンマウント] ボタンを押してから行なってください。
- 動作確認していない microSD カードを使用する場合は、記録設定できても正常に記録ができない場合があります。
- microSD カードを取り出す場合は、microSD カードを軽く奥に押し込むと、ロックがはずれて取り出せるようになります。勢いよく飛び出すことがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。
- microSD カードによっては、本機から取り出しにくいものがあります。
- microSD カードの挿入および交換は、本機の電源を切った状態で行なってください。

microSD カードの挿入について

microSD カードの向きを間違えると、カメラや microSD カードを破損する恐れがあります。microSD カードの差し込み口の挿入マークにあわせて、正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

microSD カードへの記録時間の目安

下記の記録時間については目安です。撮影環境や、お使いになる microSD カードによって異なることがあります。

(H.264、CBR 設定時の記録時間の目安です。)

(単位: 時間)

ビットレート	容量		
	32GB	64GB	128GB
128 Kbps	500	1000	2000
384 Kbps	166	333	666
512 Kbps	125	250	500
1024 Kbps	62	125	250
2048 Kbps	31	62	125

アラーム入出力信号について

アラーム入力信号

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

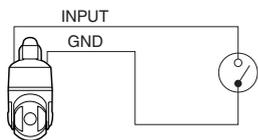
- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。

メモ： _____

- [詳細設定] ページの [アラーム] ページで接点がショート(メイク)時にアラームとするか、接点がオープン(ブレイク)時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は 1000 ms 以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。

ご注意： _____

- 電圧を供給しないでください。



定格

- ローレベル端子電流 : 5 mA 以下
- ハイレベル端子電圧 : DC 5.0 V

アラーム出力信号

報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。

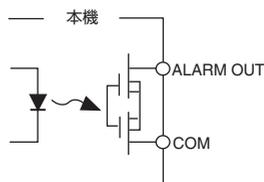
- アラーム出力信号はフォトカプラーで絶縁されたオープンドレイン出力となっています。

メモ： _____

- [詳細設定] ページの [アラーム] ページでアラーム時の接点をショート(メイク)とするかオープン(ブレイク)とするかを設定可能です。

ご注意： _____

- この端子は、極性がありますので必ず COM 側出力より ALARM OUT 側出力の電圧が高くなるよう接続してください。
- 逆電圧を加えると破損します。



定格

- 最大印加電圧 : DC 40 V
- 最大駆動電流 : 300 mA

設置・接続

カメラの取り付け

設置・接続の準備

カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。

壁面の準備

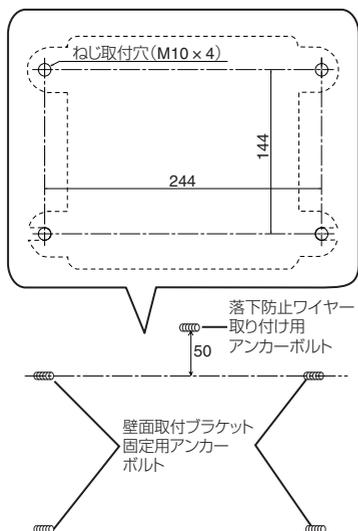
1 壁面取付ブラケット固定用のアンカーボルトを立てる

- 添付のテンプレートを使用してください。
- 壁面取付ブラケットを固定するためのアンカーボルト(M10×35 mm 以上)を4本立てます。
- 壁面取付ブラケットを固定するためのアンカーボルト上部2本の中央、50 mm上の位置を目安に落下防止ワイヤーを取り付けるためのアンカーボルトを立てます。

ご注意:

- 壁の強度を確認してください。強度が不足していると落下の原因となります。
- アンカーボルトはステンレス製をご使用ください。
- 必ずカメラが水平になるように設置してください(±5°以内)。上下逆付けや傾けて使用すると正しく動作しません。

アンカーボルト取付位置[単位: mm]



カメラの準備

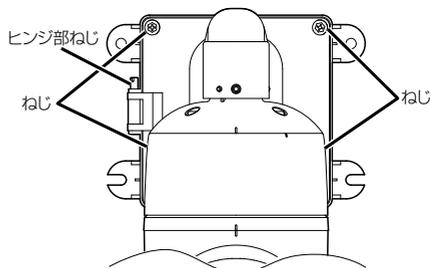
ご注意:

- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 電源を入れると初期動作としてパン/チルト動作をします。初期動作を止めるためにはPT-STOP端子をGND端子と短絡した状態で電源を入れてください。
- 「ケーブルについて」の「③アラーム入力」(P.15)をご覧ください。
- 設置時にはパン/チルト機構部を持たないでください。
- 本機のレンズカバーは親水コートが塗布されています。直接手に触れないよう、設置時に保護シートをはがさないでください。設置完了後にはがすようにしてください。

1 梱装箱から本機を取り出す

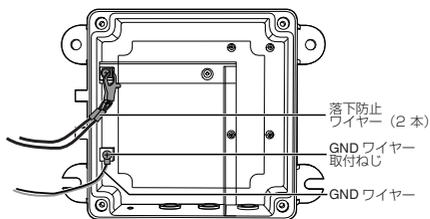
2 壁面取付ブラケット(ボックス部)をはずす

- ねじ(4本)をゆるめヒンジ部ねじをはずして、本機から壁面取付ブラケット(ボックス部)をはずします。



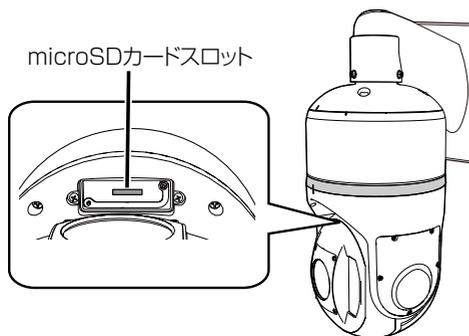
3 落下防止ワイヤーとGNDワイヤーをボックスからはずす

- GNDワイヤーは、GNDワイヤー取付ねじをゆるめてはずします。



4 microSD カードを挿入する

- microSD カバーのねじ(2本)をゆるめてカバーを開け、microSD カードを挿入し、microSD カバーを閉めます。
- 事前に、フォーマット済みの microSD カードを別途用意してください。
本機で使用可能な microSD カードについては、microSD カードについて(P.16)をご覧ください。



メモ:

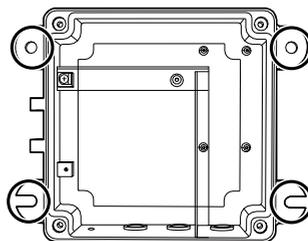
- microSD カードを取り出すときは、挿入と同じ手順で microSD カバーを取りはずしてから、カードを取り出してください。
microSD カードを奥に押し込むと、カードが取り出せます。
- microSD カードの挿入は、本機の電源を切った状態で行なってください。
microSD カードに書き込み中に電源を切ったり、取り出したりすると、カード内の記録データが破損します。
- microSD カードを取り出すときは、[SD カード記録] ページで [アンマウント] ボタンを押してから取り出してください。
- microSD カバーを取りはずしたり microSD カードを取り出すときは、工具や microSD カバー周囲の金属などで怪我をしないように気を付けてください。
- microSD カードを取り出すときに、勢いよく飛び出ることがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。
- microSD カードを挿入または交換するときは、microSD カバーおよび microSD カードを落としたりなくしたりしないように注意してください。

5 壁面取付ブラケット(ボックス部)を壁に取り付ける

- 壁面取付ブラケット(ボックス部)をアンカーボルトに取り付け、ワッシャーとナット(別売)で固定します。

メモ:

- ワッシャーとナットはステンレス製をご使用ください。
- ねじの締め付けはトルク 18.8N・m 以上で締め付けてください。

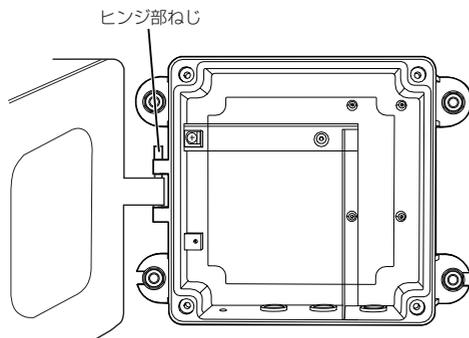


以上で設置・接続の準備は終了です。このあと、カメラ本体、壁面取付ブラケット(アーム部)を取り付けてください。(P.20)

設置・接続(つづき)

カメラ本体と、壁面取付ブラケット(アーム部)の取り付け

1 カメラ本体と壁面取り付けブラケット(アーム部)をヒンジ部ねじでボックスに取り付ける

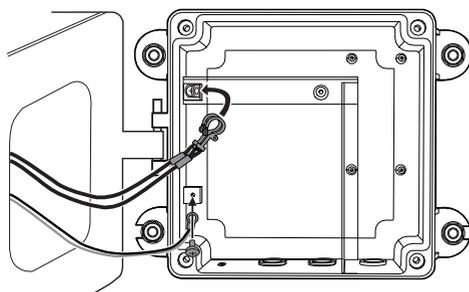


ご注意:

- 本機の質量は、約 10.2 kg あります。落下には十分に注意して取り付け作業を行なってください。
- 設置時は、安全のため、複数人で作業してください。

2 壁面取付ブラケット(アーム部)から出ている落下防止ワイヤー(2本)と、GND ワイヤーを取り付ける

- GND ワイヤーは、GND ワイヤー取付ねじで取り付けてください。

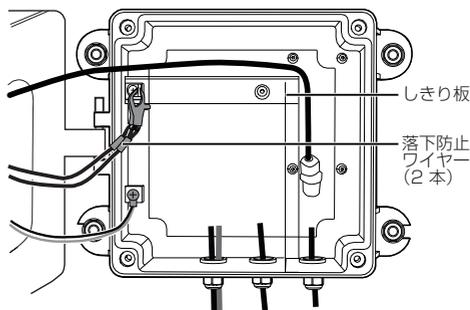


ご注意:

- ボックスの接地を確実にするため、必ず GND ワイヤーの取り付けを行なってください。

3 外部からのケーブル類をボックスの穴から引き入れる

- AC 電源使用時は、電源ケーブルを一番右の穴から通します。

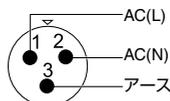


ご注意:

- 電源ケーブルのみ、必ずしきり板の外側に配置して他のケーブルと分けてください。
- ケーブルグランドの内径は $\phi 12$ mm です。複数のケーブル類をひとつのケーブルグランドに通すときは合計で $\phi 12$ mm を超えないようにしてください。
- ケーブル類の径が太くボックスに引き込めない場合は、別途中継ボックスを使用しケーブル径の変換を行なってください。

4 電源ケーブルを接続する

- 必ずアース接続を行なってください。
- AC100 V - 200 V 電源で電源供給する場合は、電源ケーブルを接続してください。電源ソケット(メス)(NJC-203-PF)およびプッシング(CBAS-12-7)を準備し、各ピンに1~3まで番号が振られているので、ピンアサインで示した配線を施してからカメラの電源コードについている電源ソケット(オス)とつなぎます。



- PoE++で電源供給する場合は、電源ケーブルの接続は不要です。次の手順へお進みください。

ご注意:

- 電源ケーブルを接続しない場合でも、カメラの電源コードについている電源ソケット(オス)は、必ず防水テープ(融着)などで、防水処理を行なってください。

ご注意： _____

- AC100 V – 200 V の接続は、電気工事士の有資格者が行なってください。
- 電源ケーブルに取り付ける電源用のソケット(メス)は七星科学研究所製の NJC-203-PF およびケーブルプッシング、CBAS-12-7 をご用意ください。
- 電源のソケットは防水仕様ではありません。必ず防水処理を行なってください。

電源ケーブル径： _____

- $\phi 12$ mm 以下、3 芯、導体面積 0.75 mm^2 - 2.0 mm^2

ご注意： _____

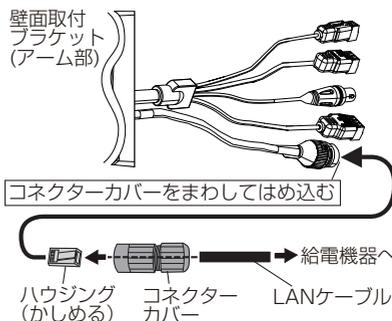
- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から電源が供給された場合、電源ケーブルからの電源が優先されます。

注意

本機に電源を供給するには、AC100 V – 200 V 50 Hz/60 Hz、または PoE++(IEEE802.3bt Draft2.0)を使用します。正しい電圧で使用してください。定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにサービス窓口へ連絡してください。定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにサービス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

5 LAN ケーブルを接続する

- ① LAN ケーブルでハブまたはパソコンと、本機の LAN ケーブルコネクタを接続してください。
 - ハブに接続する場合：ストレートケーブルを使用してください。
 - パソコンに接続する場合：クロスケーブルを使用してください。
- ② コネクタ部分に、添付のコネクタカバーを取り付け、その上から防水テープ(融着)を巻きつけ、LAN ケーブルを壁面取付ブラケット(ボックス部)内に収めます。



使用 LAN ケーブル

- UTP (UTP 推奨)
- 長さ 100 m 以下
- カテゴリ 5e 以上
- 外径 7.0 mm 以下推奨

メモ： _____

- 工場出荷時は IP アドレスが 192.168.0.2 に設定されています。

ご注意： _____

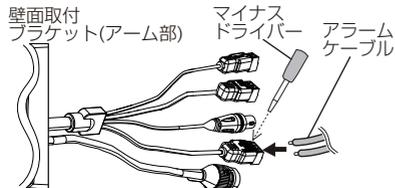
- -10°C 以下の環境下で使用する場合は、AC100 V – 200 V 電源で使用してください。PoE++ 電源使用時はヒーターが動作しません。
- パソコンによってはクロスケーブルを使用できない機種があります。カメラをパソコンに直結する場合には事前にパソコンの LAN 仕様を確認してください。
- 必ずコネクタカバーを取り付けてから防水テープを巻きつけてください。防水テープにより接触不良となる可能性があります。

設置・接続(つづき)

- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複がおこり、正しくアクセスできなくなります。ホームページのビジネス向け製品・サービスの各種ダウンロードから JVC-VN-IP 設定ツールをダウンロードして設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。
ホームページ: <http://www3.jvckenwood.com/>

6 アラーム信号ケーブルを接続する

- アラーム信号ケーブルと、センサー、ブザーなどの外部機器を接続します。
- アラーム信号ケーブルについてはアラーム入力(P.15)、アラーム出力(P.15)をご覧ください。
- アラーム入出力について詳しくは、アラーム入出力信号について(P.17)をご覧ください。
- アラーム信号ケーブルを接続したあとに、防水テープ(融着)を巻き付けます。
- 接続が完了したら、アラーム信号ケーブルを壁面取付ブラケット(ボックス部)内に収めます。



スクリューターミナルのピン端子にワイヤーを挿入してスクリューをマイナスドライバーで締めて固定します。スクリューターミナルはケーブルのコネクター部から抜くことができます。ケーブルのコネクター部から抜いて、配線したあとで差し込む場合は確実に奥まで差し込んでください。

使用アラーム信号ケーブル

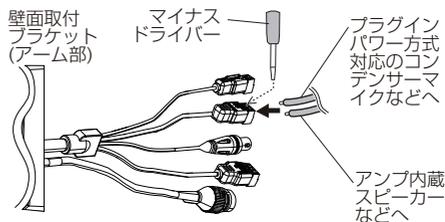
- 長さ 50 m 以下
- UL1007 または UL1015 相当品
- AWG14 ~ AWG24 相当品
- 外径 5.0 mm 以下推奨

ご注意:

- 使用しないケーブル類の先は、1 本ずつ必ず防水テープ(融着)などで、確実に防水処理を行なってください。
- 外来の雑音などによって、長さ 50 m 以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。

7 オーディオケーブルを接続する

- AUDIO IN 端子(P.15): プラグインパワー方式対応のコンデンサーマイクなどと接続します。
- AUDIO OUT 端子(P.15): アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。



スクリューターミナルのピン端子にワイヤーを挿入してスクリューをマイナスドライバーで締めて固定します。スクリューターミナルはケーブルのコネクター部から抜くことができます。ケーブルのコネクター部から抜いて、配線したあとで差し込む場合は確実に奥まで差し込んでください。

オーディオ機器との接続ケーブル (マイク入力・ライン出力)

- シールドケーブル推奨
- 長さ 5 m 以下推奨
- 外径 5.0 mm 以下推奨

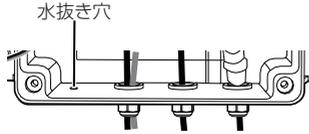
ご注意:

- 使用しないケーブル類の先は、1 本ずつ必ず防水テープ(融着)などで、確実に防水処理を行なってください。

8 ケーブル類を防水処理する

ご注意:

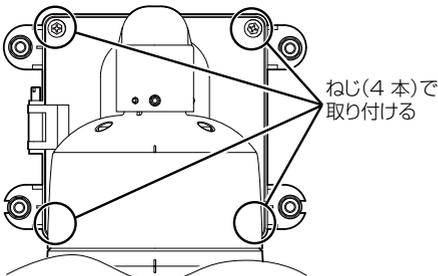
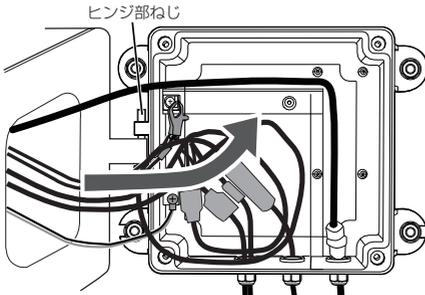
- ボックス内は防水ではありません。ケーブル接続部は必ず防水処理をしてください。
- ボックス内に水がたまる恐れがある場合は、ドライバーなどで押して、水抜き穴キャップをはずしてください。



- ケーブル類の接続部は必ず防水処理をしてください。防水は自己融着テープを端子部に巻きつけ、そのうえからビニールテープを巻きつけて処理してください。
- LAN ケーブルの防水処理は必ず添付のコネクタカバーを使用してください。自己融着テープにより接触不良となる恐れがあります。

9 カメラ本体と壁面取付ブラケット(アーム部)を壁面取付ブラケット(ボックス部)に取り付ける

- ねじ(4本)で取り付けます。

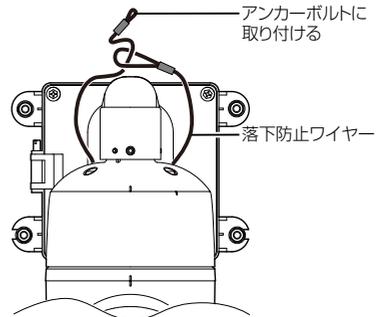


ご注意:

- 壁面取付ブラケット(ボックス部)ねじの締め付けは、スパナなどを使用してトルク 3.9N・m 以上で締め付けてください。
- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。カメラの初期動作でパン・チルト動作をするため危険です。
- ボックスを開けたまま、電源を入れないください。カメラが回転して危険です。

10 本機(カメラ本体と壁面取付ブラケット)用の落下防止ワイヤーを取り付ける

- 落下防止ワイヤーを壁面取付ブラケット(アーム部)に巻き付けます。
- 落下防止ワイヤーを、準備で立てた落下防止ワイヤー取付用のアンカーボルトに取り付けます。
- 落下防止ワイヤーは、ナットとワッシャーでしっかりと固定します。

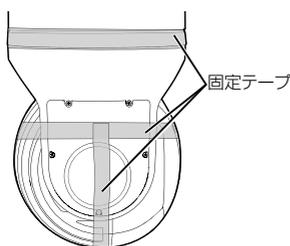


ご注意:

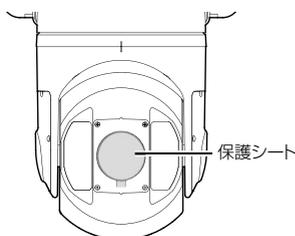
- 落下防止ワイヤーは付属していません。事前に質量に耐えられる強度のものを準備してください。
- 落下防止ワイヤー、ナット、ワッシャーは、ステンレス製のものを使用してください。

設置・接続(つづき)

11 設置完了後、固定テープを取りはずす



12 レンズの保護シートをはがす



ご注意:

- レンズカバーの保護シートは力をかけず、ゆっくりと剥がしてください。急に剥がすと保護シートの粘着成分がレンズカバーに残ることがあります。このときはレンズカバーに水を付けると取れます。レンズカバーは傷つきやすいので布などで拭かないでください。

設置完了後、すべてのねじが確実に締められているか、必ず確認してください。

以上でカメラの設置は終了です。このあと、カメラの IP アドレスを設定してください。(P.29)

カメラの取りはずし

カメラを取りはずす場合は、取り付け時と逆の手順で行ないます。

動作環境

下記の表は本機の使用に必要な最低限の動作環境を示しています。この環境を満たすハードウェアやソフトウェアの使用をおすすめします。

システムハードウェア	
CPU	Intel Core i5 3.40 GHz 以上
RAM	4 GB 以上
ディスプレイ	1920×1080 ピクセル以上、True Color (24 bit/32 bit)
システムソフトウェア	
オペレーティングシステム	Windows 10 Pro (64 bit)、Windows 8.1 (32 bit/64 bit)、Windows 7 Professional SP1 (32 bit/64 bit)
ブラウザ	Internet Explorer 11 (32 bit)
電源	
電源	AC100 V - 200 V または PoE++ (IEEE802.3bt Draft2.0)
ネットワーク	
有線	10BASE-T/100BASE-TX イーサネット (RJ-45 コネクター)
映像の再生	
本機のビューワーの録画ボタンと SD カード記録で録画した映像については、オペレーティングシステムごとに下記のプレーヤーで再生を確認しています。	
• Windows 10 Windows Media Player (バージョン: 12)	
• Windows 8.1 Windows Media Player (バージョン: 12)	
• Windows 7 Windows Media Player (バージョン: 12)	

メモ:

- ディスプレーのリフレッシュレートは 60 Hz 以上で使用してください。60 Hz に満たない場合、ビューワーで表示中の映像の動きの滑らかさが失われることがあります。

ご注意:

- PoE ++ をご使用になる場合は、PoE ++ ネットワークの接続にルーターや異種の機器を使わないでください。

ネットワークについて

- 本機が送信するデータ量に対して十分なネットワーク帯域を確保してください。また、帯域を超えるマルチキャストストリームを流さないでください。マルチキャストストリームによって帯域が専有されると、ネットワーク経由で本機を制御できなくなる場合があります。
- 本機が送信するデータ量は設定や配信数によって異なります。
- 送信できるビットレートの上限は 40 Mbps 未満です。
- 最大 10 クライアントまで同時配信可能です。

フレームレートとフレームサイズ

本機は最大 4 チャンネルの同時エンコードが可能ですが、設定可能なフレームサイズとフレームレートの組み合わせに制約があります。組み合わせの制約について詳しくは、エンコーダーで設定できるフレームサイズの組み合わせ表 (P.39) をご参照ください。

JPEG のファイルサイズ

本機の JPEG エンコーダーは、JPEG の画質設定に合わせてエンコード時の量子化テーブルを一定に保つため、ファイルサイズはエンコードの設定だけでなく、カメラ映像に応じて増減します。設定できるファイルサイズについては、JPEG 設定時の画質とフレームサイズごとのファイルサイズの目安 (P.38) をご参照ください。

H.264 ストリームのビットレート

H.264 ストリームのビットレート方式は、VBR (可変ビットレート) または CBR (固定ビットレート) のいずれかの方式を選択できます。VBR 方式はカメラ映像の状況に応じてビットレートが変化します。VBR 方式の場合、画質は安定しますが、ビットレートの予測が困難です。CBR 方式はカメラ映像の状況に関係なく、一定のビットレートでエンコードします。CBR 方式の場合、画質が変化しますがビットレートの予測が容易です。VBR、CBR とともに、目安としてのビットレートを設定できます。

音声のデータ量

受信する音声データのストリーミング本数は最大で 1 本です。音声データはサンプリングレートを 8000 Hz に設定したとき 1 本当たり 64 kbps です。音声のデータ量は次の式で計算できます。

64 kbps x 本数

ストリーミング本数は TCP で送信している本数 (クライアントの数)、マルチキャストで送信している本数、および受信している本数を合計したものです。例えば本機が 2 本の音声を送信し、1 本の音声を受信している場合、データ量は次のようになります。

$64 \text{ kbps} \times 3 = 192 \text{ kbps}$

ネットワーク帯域が不足した場合

帯域が不足するとクライアントで取得できる JPEG の枚数 (フレームレート) が少なくなります。また、映像配信が遅延します。H.264 の場合、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

ネットワークの遅延

クライアントが JPEG を TCP で取得する場合には、クライアントからの ACK を確認しつつ本機は送信します。遅延が大きいネットワークでは ACK を受信するまで送信できないため、フレームレートが低下します。H.264 の場合、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。マルチキャストで受信すれば、ネットワークの遅延によるフレームレート低下はなくなります。

ネットワークのジッター

ネットワークのジッターが大きいと、遅延時間の増大、映像のフレームレートの低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

パケットロス

本機から TCP で映像を取得する場合は、パケットロスが TCP の再送によってリカバリーされます。ただし再送による遅延が大きい場合には、データが欠落し、映像のフレームレート低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

本機からのマルチキャスト送信でパケットロスが起こった場合は、映像のフレームレート低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

設置・接続(つづき)

映像の滑らかさについて

フレームサイズが 1920x1080、フレームレートが 60fps のとき、ビューワーの映像が滑らかに表示されない場合があります。このとき、記録映像には影響ありません。

使用するプロトコル、ポート番号一覧

本機では下記のプロトコル、ポート番号を使用します。ファイアウォールを設置する場合にはこれらのポートを通過させてください。

プロトコル/ポート番号	用途
送信元	
TCP/80	JPEG/H.264 取得、設定画面、API、音声取得
TCP/554	RTSP
TCP/32040	アラーム送信
TCP/49298	音声データ受信
宛先	
TCP/ユーザー設定番号	アラーム送信
UDP/ユーザー設定番号	
TCP/20、21	FTP
TCP/25	メール送信
TCP/110	POP(メール送信)
UDP/123	SNTP
UDP/161	SNMP

運用プロトコルについて

ONVIF について

本機は、ONVIF (Open Network Video Interface Forum)に対応しています。ONVIF は、監視機器のネットワークプロトコルを標準化している団体です。ONVIF では、監視機器を発見するプロトコル、監視機器の設定を取得・変更するプロトコル、映像音声データを送受信するプロトコルなどが標準化されています。ユーザー名、パスワードの初期値は次のとおりです。

ユーザー名: admin

パスワード: jvc

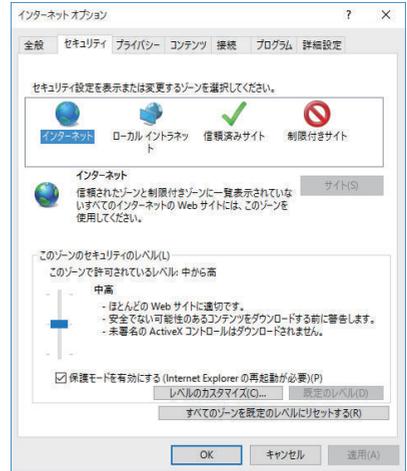
また、本機は ONVIF Profile S を満たしています。

接続

映像確認の準備

本機が撮影する映像は複数のブラウザで確認することが可能です。映像の確認には、下記の手順で表示を有効にすることが必要です。

- 1 Cookie を有効にしてください。**
 - Internet Explorer で、ツールメニュー(⚙)をクリックし、表示されたメニューにある**インターネットオプション**をクリックしてください。
 - **プライバシー**タブで詳細設定を開き、**ファーストパーティの Cookie と、サードパーティの Cookie**の両方で、**承諾する**を選択します。
 - **OK**をクリックしてください。
- 2 プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシサーバーの設定を行なってください。**
 - Internet Explorer のツールメニュー(⚙)をクリックし、表示されたメニューにある**インターネットオプション**をクリックします。**接続**タブを選択して **LAN の設定**をクリックし、プロキシサーバーの設定を行なってください。
- 3 セキュリティ設定を下記のように変更してください。**
 - ツールメニュー(⚙)をクリックし、表示されたメニューにある**インターネットオプション**をクリックしてください。
 - **セキュリティ**タブを選択します。
 - インターネット内で本機を操作する場合は **インターネットアイコン**をクリックします。
 - イン트라ネット内で本機を操作する場合は **ローカル イン트라ネットアイコン**をクリックします。
 - **レベルのカスタマイズ**をクリックすると、セキュリティ設定-インターネットゾーン画面(もしくはローカルイントラネットゾーン画面)が開きます。

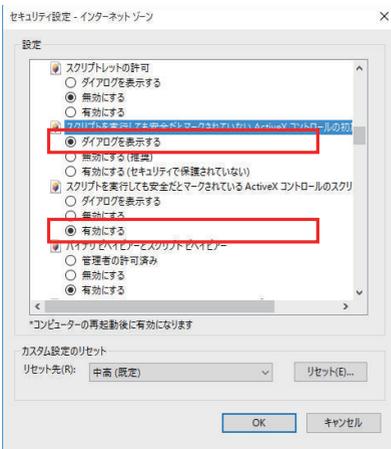


設置・接続 (つづき)

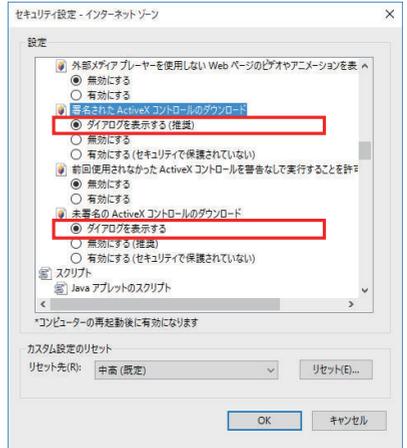
- ActiveX コントロールとプラグインを下記のように設定します。
 [ActiveX コントロールとプラグインの実行] ⇒ **有効にする**
 [ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示] ⇒ **有効にする**



- [スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行] ⇒ **ダイアログを表示する**
 [スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行*] ⇒ **有効にする**



- [署名された ActiveX コントロールのダウンロード] ⇒ **ダイアログを表示する (推奨)**
 [未署名の ActiveX コントロールのダウンロード] ⇒ **ダイアログを表示する**



- OK をクリックして設定を保存してください。
- 開いているブラウザ画面をすべて閉じてから再開すると、設定が有効になります。
- ブラウザーに IP アドレスを入力してください。
- カメラ映像が画面に表示されます。
- ホームページのビジネス向け製品・サービスの各種ダウンロードから「JVC VN 検索ツール」をダウンロードして、LAN 内の本機を検索することができます。
 ホームページ:
<http://www3.jvckenwood.com/>

IP アドレス(工場出荷値)

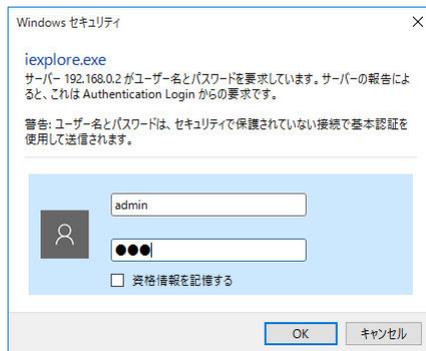
本機はネットワーク接続を前提としていますので、IP アドレスを最初に割り当てる必要があります。本機の IP アドレスは初期設定で **192.168.0.2**、またサブネットマスクは **255.255.255.0** となっています。ご使用のネットワーク環境に合わせ、IP アドレス/サブネットマスクを変更してください。なお、DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを割り当てる運用の場合には、“ネットワーク”の“IP 設定”で“DHCP”を選択してください。

パソコン接続および映像確認の準備

この手順の説明は、下記の環境で行なっています。
オペレーティングシステム: Windows10(64 bit、Pro)
ブラウザ: Internet Explorer 11(32 bit)

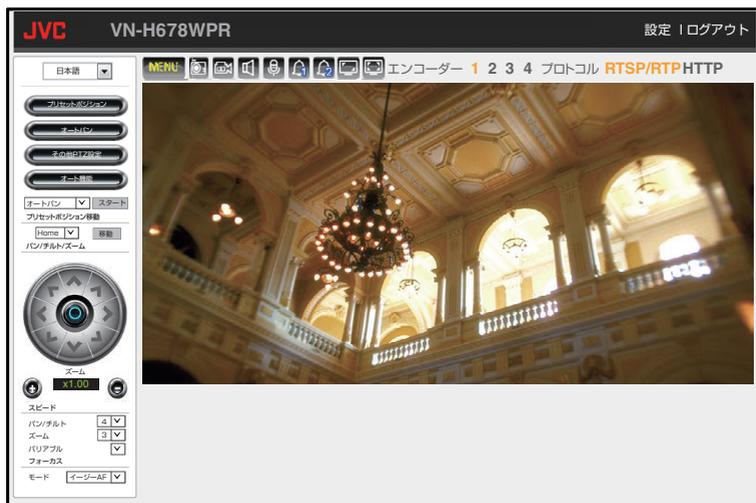
パソコンへの接続

- 1 本機とパソコンが同一のサブネットにあることを確認してください。
- 2 デフォルトの IP アドレスを使って本機とパソコンがネットワーク接続されていることを確認してください。
 - 「コマンドプロンプト」を起動します。
“ping 192.168.0.2” と入力し、ネットワーク接続されていると、“~からの応答” というメッセージが表示されます。
- 3 Internet Explorer を起動して IP アドレスに“192.168.0.2”を入力します。
 - ログイン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。工場出荷時は **admin**(ユーザー名)、**jvc**(パスワード) が設定されています。
本機の設定については、設定(P.36)をご覧ください。
 - Internet Explorer は管理者として実行してください。



ビューワー

ビューワー



ビューワーを使用するときには Internet Explorer を管理者として実行してください。

本機の IP アドレスにアクセスしてログインすると、上の図で示した画面が表示されます。

- 右上の[設定]をクリックすると、設定画面を表示します。
- 設定画面で[ビューワー]をクリックすると、ビューワーが表示されます。
- ビューワー画面上で左クリックすると、クリックした位置が画面中央に移動します。

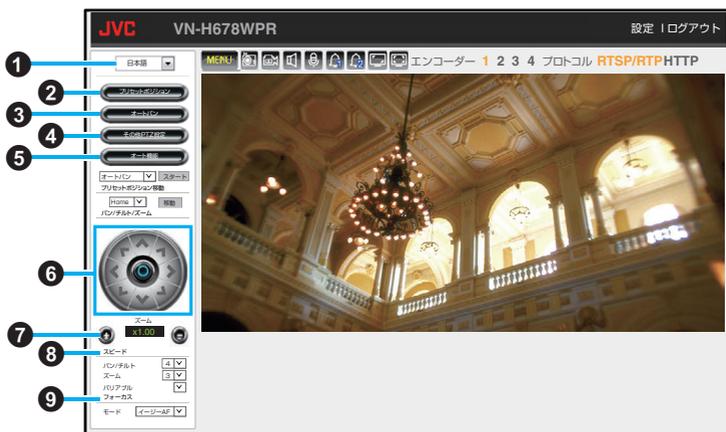
メモ：

- 光学ズーム(ズーム倍率「x30.00 以下」)の範囲で使用してください。

ご注意：

- Internet Explorer のツールメニューの互換表示設定で本機の IP アドレスが互換表示設定の対象になっていると、表示のレイアウトが崩れたり、ズーム操作ができなかったりすることがあります。このようなときは、互換表示対象からはずしてください。
- イン트라ネット内で本機を操作する場合は、互換表示設定の「イン트라ネットサイトを互換表示で表示する」を OFF にしてください。

操作パネル



設定値の●は工場出荷の値です。

① 言語切り替えメニュー

ビューワーおよび設定画面で表示する言語を選択します。

[設定値: English、● 日本語]

② プリセットポジション



プリセットポジションの位置とタイトルを設定します。

- パン・チルト・ズーム・フォーカス・デイナイト切り替え設定を記憶できます。

ポジション

[設定値: ●Home、1～255]

タイトル

最大文字数は28文字までです。

- "登録"ボタンを押すと、ビューワーに表示されている場所が登録されます。
- "削除"ボタンを押すと、選択しているポジションの登録が削除されます。

③ オートパン



オートパンを設定します。

モード

[設定値: ●往復、右回り、左回り]

スピード

[設定値: 低速、●中速、高速]

メモ:

- 往復モードは開始位置から右回り、戻り位置から左回りの方向で、開始位置と戻り位置のあいだを往復移動し続けます。ただし2点間の移動にパンとチルトの両方が含まれている場合は、完全に滑らかな斜め移動ができないために、"開始位置"から"戻り位置"への移動と"戻り位置"から"開始位置"への移動が同じ軌道にはなりません。

開始位置、戻り位置

オートパン動作の開始位置と戻り位置(往復モード時のみ)を設定できます。

- "登録"ボタンを押すと、ビューワーに表示されている場所が開始位置または戻り位置として登録されます。
- "移動"ボタンを押すと、登録されている開始位置または戻り位置に移動します。

ビューワー(つづき)

④ その他 PTZ 設定



PTZ(Pan Tilt Zoom)の設定をします。

パンリミット

パンの制御範囲を設定できます。

- "左端設定"ボタンを押すと、ビューワーに表示されている場所がパンの制御範囲の左端として登録されます。
- "左端移動"ボタンを押すと、登録されているパンの制御範囲の左端に移動します。
- "右端設定"ボタンを押すと、ビューワーに表示されている場所がパンの制御範囲の右端として登録されます。
- "右端移動"ボタンを押すと、登録されているパンの制御範囲の右端に移動します。

[設定値:ON、●OFF]

メモ:

- パンの制御範囲の左端と右端を、同じ設定にした場合はパンリミットの設定が"ON"でもエンドレスパンと同じになります。

チルトリミット

チルトの制御範囲を変更することができます。

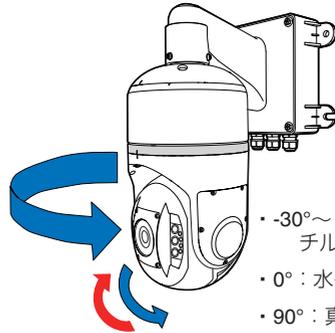
[設定値:-30~-1、●0、1~10]

オートフリップ

デジタルフリップ:チルトの位置を 135°未満(45°以上)から 135°以上(45°未満)にチルト操作を行うと、チルトの位置が 135°(45°)になったときに自動的に映像がフリップします。

メカニカルフリップ:チルト操作を行いチルトの位置が 90°になったときに、自動的にパンの位置が 180°回転し、チルトの移動が停止します。

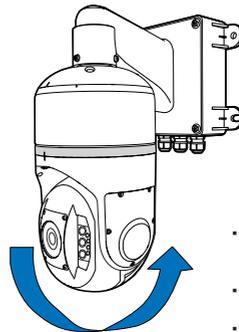
[設定値:OFF、●デジタルフリップ、メカニカルフリップ]



- -30°~ 90° : チルト可変範囲
- 0° : 水平方向
- 90° : 真下

メカニカルフリップ:

チルト操作を行いチルトの位置が 90°(真下)になったときに自動でパンの位置が 180°回転してチルトの移動が停止します。チルト位置は 90°を超えない範囲で動作しますが、90°の位置でパンが 180°回転するので、チルト位置を上げる方向に操作することで裏側の映像を見ることができます。※図中の赤い矢印は、カメラの向きが 180°回転した後の動作なので、実際には青い矢印の裏側で上方向に移動します。



- -30°~ 210° : チルト可変範囲
- 0°/180° : 水平方向
- 90° : 真下

デジタルフリップ:

チルトの位置を 135°未満(45°以上)から 135°以上(45°未満)にチルト操作を行うと、チルトの位置が 135°(45°)になったときに自動的に映像がフリップします。下げる操作で 90°に達した後も下げる操作で 90°~-30°(210°)までチルト動作します。

メモ: _____

- デジタルフリップでは、チルトの位置が 135° になって映像がフリップした後は 45° の位置になったときに再度フリップします。45° でフリップした後は、135° の位置で再度フリップします。
- メカニカルフリップでは、チルト位置は 90° を超えない範囲で動作しますが、90° の位置でパンが 180° 回転するので、チルト位置を上げる方向に操作することで裏側の映像を見ることができません。
- OFF に設定すると、デジタルフリップとメカニカルフリップは動作せず、チルト位置は 90° を超えない範囲で移動します。

5 オート機能



"スタート"ボタンを押すと、選択した内容でオート動作を開始し、"ストップ"ボタンを押すと、オート動作を停止します。
[設定値: ● オートパン、オートパトロール 0、オートパトロール 1、オートパトロール 2]

メモ: _____

- オートリターンの設定がオートパトロール(オートパトロール 0/1/2)の場合、オート機能にて別の番号のオートパトロールを開始すると、ダイアログが表示された後にオート機能で選択したオートパトロールの番号がオートリターンの設定に反映されます。

プリセットポジション移動

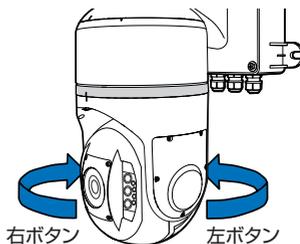
"移動"ボタンを押すと、選択したプリセットポジションへ移動します。

6 パン/チルト操作ボタン

をクリックすると画面が上下左右に移動します。中央の○をクリックするとホームポジションに移動します。

メモ: _____

- 右ボタンを押すとカメラを真上から見た際に時計回りの回転を行います。(ビューワー上では右方向に映像が動く)
左ボタンを押すとカメラを真上から見た際に反時計回りの回転を行います。



7 ズーム

をクリックするとズームイン・ズームアウトします。

8 スピード

PTZ スピードを変更します。数字が大きくなるほど速くなります。

パン/チルト

[設定値: ●4、1~8]

ズーム

[設定値: ●2、1~4]

バリエابل

チェックが入った状態では、ズーム倍率が高いほどパン/チルトの移動スピードが遅くなり、チェックが入っていない状態ではズーム倍率に関わらず、移動スピードが一定になります。
[初期設定:チェック入り]

9 フォーカス

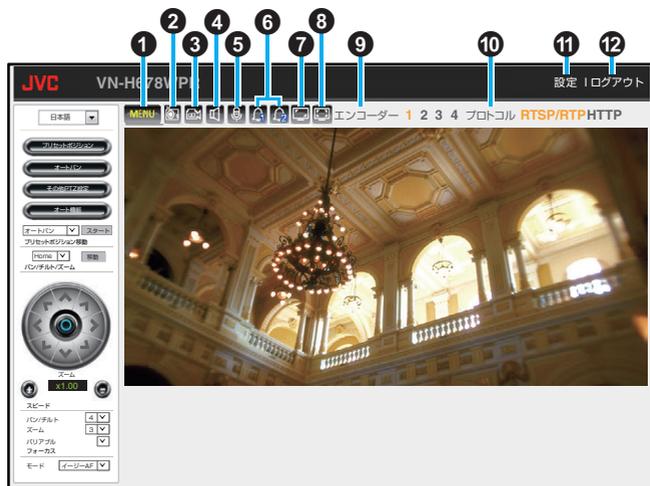
フォーカスモードを設定します。

[設定値: ● イージー AF、マニュアル]

マニュアルモード時は、以下のボタンが表示されます。

- "フォーカス(近)/[遠]"ボタンを押しているあいだはフォーカスが変化し、離すと止まります。
- "ステップ(近)/[遠]"ボタンを押すとフォーカスが1ステップ変化します。
- "ワンプッシュ AF"ボタンを押すと、約 3 秒で自動的にフォーカスを合わせます。

ビューワー(つづき)



1 MENU メニューアイコン

操作パネルと言語切り替えメニューの表示/非表示を切り替えます。

2 静止画保存アイコン※

映像を静止画で 1 枚撮影、保存します。

- スナップショット実行時は映像の右上に "静止画保存" と表示します。記録される静止画のファイル形式は JPEG です。

3 録画アイコン※

映像と音声を動画として保存します。クリックするとアイコンが  (赤色) に変わります。停止するには再度アイコンをクリックします。

- 記録を開始すると映像の右上に "録画 HH:MM:SS" 形式で記録時間のカウントが表示されます。記録ファイルが分割されると、カウントはいったん "00:00:00" に戻ります。
- 記録される動画のファイル形式は AVI です。
- 映像と音声の同期は取っていないため、ファイル再生のときに映像と音声がずれる場合があります。

4 音声受信アイコン

音声受信をオンオフします。動作中はアイコンが  (赤色) に変わります。オンにすると本機の AUDIO IN 端子から入力された音声をパソコンから出力します。

5 音声送信アイコン

音声送信をオンオフします。動作中はアイコンが  (赤色) に変わります。

オンにするとパソコンにつないだマイクから入力された音声を本機の AUDIO OUT 端子から出力します。

6 アラーム出力アイコン 1、2

クリックするとアイコンが  (赤色) に変わり、アラーム出力端子からマイクの出力を行います。ブレイクに戻すには、再度クリックします。

7 表示サイズアイコン

クリックするとアイコンが  (赤色) に変わり、設定したフレームサイズと同じサイズ(等倍)で映像を表示します。再度クリックするとブラウザのウィンドウサイズに合わせて表示(可変)します。

8 全画面表示アイコン

クリックすると映像が全画面表示になります。元に戻す場合は映像上をダブルクリックするか、キーボードの Esc キーを押します。

9 エンコーダー 1、2、3、4

選択した番号のエンコーダーの映像に切り替えます。

現在選ばれているエンコーダーの数字は黄色で表示されます。使用できないエンコーダーは赤色で表示されます。

[設定値: ● エンコーダー 1、2、3、4]

⑩ プロトコル

受信する映像の配信プロトコルを切り替えます。現在使用しているプロトコルは黄色色で表示されます。

[設定値]：●RTSP/RTP、HTTP]

⑪ 設定

クリックすると設定画面が開きます。(P.36)

⑫ ログアウト

クリックすると本機からログアウトします。

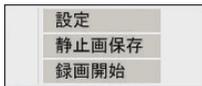
メモ：

- 映像上をダブルクリックすると全画面表示になります。戻すには再度ダブルクリックするか、もしくはキーボードの **Esc** キーを押します。
- 録画アイコン()は、パソコンへの録画であり、SD カードへの記録ではありません。設定画面に切り替えると、本録画は停止します。SD カード記録については、SD カード記録 (P.90) の項をご参照ください。
- パソコンにオーディオドライバーがインストールされていないと、パソコンで音声入力や音声出力ができません。
- 映像と音声の同期は取っていないため、ずれる場合があります。

※ 映像上で右クリックするとメニューが表示され、保存先の変更や静止画撮影、動画の撮影・停止ができます。

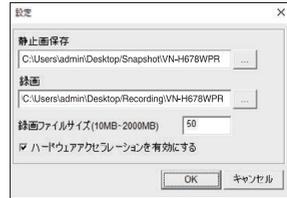
① 映像上で右クリックする

- メニューが表示されます。



- 設定：設定画面が開き各設定ができます。
- 静止画保存：クリックすると JPEG 画像を 1 枚保存します。
- 録画開始：クリックすると録画を開始します。[録画開始] が [録画停止] に変わります。
- 録画停止：クリックすると録画を停止します。[録画停止] が [録画開始] に変わります。

② "設定"をクリックする



静止画保存

- 保存先
静止画ファイルの保存先が表示されます。
- クリックして静止画ファイルの保存先を選択します。

録画

- 保存先
動画ファイルの保存先が表示されます。録画ファイルの保存先に外部記録媒体を指定した場合、ビューワーで表示中の映像で動きの滑らかさが失われることがあります。
- クリックして動画ファイルの保存先を選択します。

録画ファイルサイズ
(10 MB～2000 MB)

1 ファイルあたりに録画できる動画データのサイズを指定します。録画ファイルサイズ以上の録画を行うとファイルが複数に分かれます。

工場出荷値は 50 MB です。

ハードウェアアクセラレーションを有効にする
チェックを入れるとビデオカードのデコード機能を用いて映像を表示します。通常はチェックを入れてご使用ください。
工場出荷状態ではチェックが入っています。

メモ：

- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 変更した設定値を変更前の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。なお、[キャンセル] ボタンを押すと、変更したほかの項目も変更する前の設定値に戻ります。
- 保存先は HDD 上のフォルダーを指定してください。HDD 以外を設定すると、表示のパフォーマンスに影響が出る可能性があります。
- 静止画保存先、録画保存先、録画ファイルサイズ、ハードウェアアクセラレーションの設定は本機の初期化では工場出荷状態には戻りません。
- 静止画保存先、録画保存先はお客様の PC の環境によっては表示されるフォルダ名が異なるモデルのものになることがあります。

設定

設定

ご注意:

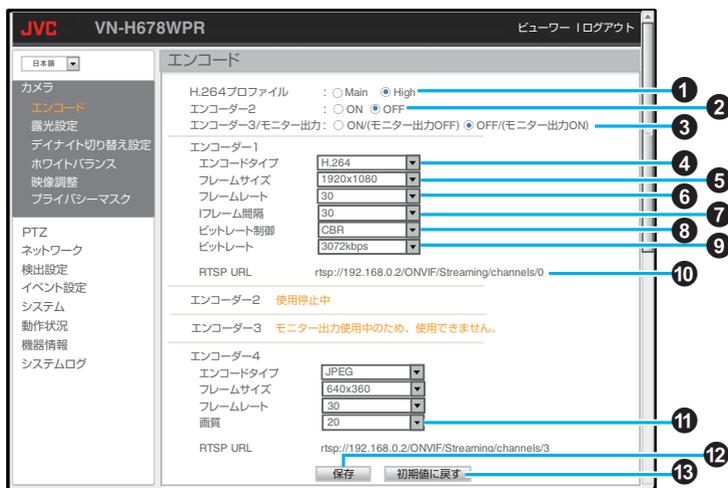
- 運用時は設定ページは閉じて使用してください。
- 映像確認用のプレビュー画面が表示されるページで、デイモード用の設定とナイトモード用の設定を切り替えると誤検出を防止するために、動き検出 (P.72) と 妨害検出 (P.74) の機能を一時的に停止します。
- 映像確認用のプレビュー画面では、デイモード用の設定またはナイトモード用の設定のどちらかを設定していますので、デイナイト切り替え設定 (P.49) の機能は一時的に停止します。

カメラ

本機のエンコード、露光設定、デイナイト切り替え設定、ホワイトバランス、映像調整、プライバシーマスクの設定が可能です。

エンコード

エンコードの設定をします。



ご注意:

- ビューワーを表示した状態でエンコードの設定を変更するときは、エンコーダー 1、2、3、4 の表示更新のためビューワーをリロードしてください。

設定値の ● は工場出荷の値です。

① H.264 プロファイル

- H.264 のプロファイルを選択します。
- **Main**: 処理負荷は上がりますが高画質化が可能です。
- **High**: 少ないビットレートで高画質を維持できます。

[設定値: Main、●High]

② エンコーダー 2

- OFF を選択するとエンコーダー 2 は映像配信に使用できなくなります。
- [設定値: ON、●OFF]

③ エンコーダー 3

- OFF (モニター出力 ON) を選択するとモニター出力を行います。その際、エンコーダー 3 は映像配信に使用できません。
- ON (モニター出力 OFF) を選択すると、エンコーダー 3 は映像配信を行います。その際、モニター出力から基準信号が出力されます。
- [設定値: ON (モニター出力 OFF)、●OFF (モニター出力 ON)]

エンコーダー 1~4 共通

④ エンコードタイプ

エンコードタイプ (JPEG/H.264) を選択します。

JPEG: 各動画フレームは個別にフルスケールコンテンツを有したひとつの JPEG 映像として圧縮されており、容易に編集することが可能です。ただし、フレームごとの圧縮であるため、ファイルサイズが大きくなり、ネットワーク帯域が限られている環境ではフレームが失われる可能性があります。詳細については、ご注意 (P.38) を参照してください。

H.264: ビデオ圧縮フォーマットで、すべてのフレームを記録するのではなく、各フレーム間で検知される差異を記録します。そのため、必要となるネットワーク帯域が少なく、JPEG に比べてファイルサイズも小さくなります。

[設定値: ●H.264、JPEG]

⑤ フレームサイズ

フレームサイズを選択します。エンコーダー 4 のみフレームサイズは 640x360 で固定されます。また、エンコーダー 2~3 は、エンコーダー 1 より大きいフレームサイズは選択できません。エンコーダー 1 は、エンコーダー 2~4 より小さいフレームサイズは選択できません。

エンコーダー 1:

[設定値: ●1920x1080、1280x960、1280x720、640x480、640x360]

エンコーダー 2:

[設定値: 1280x960、1280x720、640x480、640x360、320x240]

エンコーダー 3:

[設定値: 1920x1080、1280x960、1280x720、640x480、640x360、320x240]

⑥ フレームレート

1 秒当たりのフレーム数を選択します。

エンコーダー 1: [設定値: ●30、1~60]

エンコーダー 2: [設定値: 1~30]

エンコーダー 3: [設定値: 1~30]

エンコーダー 4: [設定値: ●30、1~30]

⑦ I フレーム間隔

I フレーム間隔を選択します。数値を小さくすると画質は向上しますが広いネットワーク帯域が必要です。数値を大きくすると、帯域は少なくて済みますが、画質が低下することがあります。

- エンコードタイプが JPEG の場合は、この項目は表示されません。

エンコーダー 1: [設定値: ●30、1~120]

エンコーダー 2: [設定値: 1~120]

エンコーダー 3: [設定値: 1~120]

エンコーダー 4: [設定値: ●30、1~120]

⑧ ビットレート制御

ビットレートの制御方法を選択します。

- エンコードタイプが JPEG の場合は可変ビットレート (VBR) 方式に固定され、項目は表示されません。

[設定値: ●CBR、VBR]

⑨ ビットレート

ビットレートを選択します。値を高くすると画質が向上するとともにファイルサイズが大きくなり、広いネットワーク帯域が必要となります。

- エンコードタイプが JPEG の場合は表示されません。

エンコーダー 1:

[設定値: 128 Kbps/256 Kbps/384 Kbps/512

Kbps/768 Kbps/1024 Kbps/1536 Kbps/2048

Kbps/3072 Kbps/●4096 Kbps/5120 Kbps/

6144 Kbps/7168 Kbps/8192 Kbps/9126 Kbps/

10240 Kbps/11264 Kbps/12288 Kbps]

エンコーダー 2:

[設定値: 128 Kbps/256 Kbps/384 Kbps/512

Kbps/768 Kbps/1024 Kbps/1536 Kbps/2048

Kbps/3072 Kbps/4096 Kbps/5120 Kbps/6144

Kbps/7168 Kbps/8192 Kbps/9126 Kbps/10240

Kbps/11264 Kbps/12288 Kbps]

エンコーダー 3:

[設定値: 128 Kbps/256 Kbps/384 Kbps/512

Kbps/768 Kbps/1024 Kbps/1536 Kbps/2048

Kbps/3072 Kbps/4096 Kbps/5120 Kbps/6144

Kbps/7168 Kbps/8192 Kbps/9126 Kbps/10240

Kbps/11264 Kbps/12288 Kbps]

設定 (つづき)

エンコーダー 4:

[設定値: 128 Kbps/256 Kbps/384 Kbps/512 Kbps/768 Kbps/●1024 Kbps/1536 Kbps/2048 Kbps/3072 Kbps/4096 Kbps/5120 Kbps]

- フレームサイズが 1280x960 以上の場合は、1024 Kbps～12288Kbps が選択できます。
- フレームサイズが 1280x720 の場合は、384 Kbps～12288 Kbps が選択できます。
- フレームサイズが 640x480 以下の場合は、128 Kbps～5120 Kbps が選択できます。

10 RTSP URL

RTSP でリクエストするときの URL を表示します。

11 画質

JPEG の画質を選択します。フレームサイズと画質の組み合わせによるファイルサイズの設定値は、次ページの JPEG 設定時の画質とフレームサイズごとのファイルサイズの目安 (P.38) をご覧ください。

- エンコードタイプが H.264 の場合は表示されません。

[設定値: ●20、30、40、50、60、70、80]

12 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

13 初期値に戻す

クリックするとエンコードのすべての設定が工場出荷値に戻ります。

JPEG 設定時の画質とフレームサイズごとのファイルサイズの目安

(1 フレーム当たりのデータ量: KByte)

フレームサイズ	画質						
	80	70	60	50	40	30	20
1920 x 1080	216	184	149	131	120	107	92
1280 x 960	138	111	96	87	79	69	59
1280 x 720	103	85	74	67	61	54	45
640 x 480	41	34	30	27	24	21	17
640 x 360	34	28	24	22	19	17	13
320 x 240	13	11	9	8	7	6	5

メモ:

- エンコーダーで設定できるフレームサイズの組み合わせは、(P.39) をご覧ください。
- エンコーダーの設定を変更しているときは、映像出力が途切れることがあります。
- 最大配信本数は 1 エンコーダーにつき 8 本まで、全エンコーダー合わせて 10 本までです。(音声配信含む)
- 配信可能なストリームの合計ビットレートは 40 Mbps 未満です。
- モニター出力は、NTSC です。

ご注意:

- エンコーダー 2 で "OFF" を選択すると、エンコーダー 2 は映像配信に使用できなくなります。
- エンコーダー 3 で "OFF (モニター出力 ON)" を選択するとモニター出力を行います。その際、エンコーダー 3 は映像配信に使用できません。
- SD カードを有効にすると、記録エンコーダーの 1 フレーム間隔はフレームレートと同一の設定になり、メニューからの変更ができなくなります。
- エンコードタイプを JPEG に設定している場合、総配信ビットレートは下記のように計算できます。
「総配信ビットレート = 映像 1 枚当たりのデータ量 x フレームレート x 配信本数」
総配信ビットレートが 40 Mbps 以上の場合、配信映像の滑らかさが失われる恐れがありますので、映像 1 枚当たりのデータ量、フレームレート、配信本数のいずれかを落として使用してください。総配信ビットレートの確認につきましては、動作状況 (P.109) をご参照ください。
- フレームサイズが 1920x1080、フレームレートが 60fps のとき、ビューワーの映像が滑らかに表示されない場合があります。このとき、記録映像には影響ありません。

エンコーダーで設定できるフレームサイズの組み合わせ表

最大フレームレートは、各フレームサイズの組み合わせにおいてエンコーダーに設定できる最大フレームレートの値です。

ノーマルモード・霧除去モード

エンコーダー 1 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 2 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 3 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 4 フレームサイズ/ 最大フレームレート	
1920x1080	60	640x480	30	-	-	640x360	30
1920x1080	60	640x360	30	-	-	640x360	30
1920x1080	60	320x240	30	-	-	640x360	30
1920x1080	60	-	-	-	-	640x360	30
1920x1080	30	-	-	1920x1080	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	-	-	640x360	30

設定 (つづき)

エンコーダー 1		エンコーダー 2		エンコーダー 3		エンコーダー 4	
1920x1080	30	-	-	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	-	-	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	1280x960	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	1280x960	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	1280x960	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	1280x960	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	60	1280x720	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	1280x720	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	1280x720	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	1280x720	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	1280x720	30	-	-	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	-	-	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	-	-	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	-	-	640x360	30
1280x960	60	-	-	1280x960	30	640x360	30
1280x960	60	-	-	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	-	-	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	-	-	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	-	-	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	-	-	-	-	640x360	30

エンコーダー 1		エンコーダー 2		エンコーダー 3		エンコーダー 4	
1280x720	60	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	60	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	60	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	60	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	60	640x480	30	-	-	640x360	30
1280x720	60	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	60	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	60	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	60	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	60	640x360	30	-	-	640x360	30
1280x720	60	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	60	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	60	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	60	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	60	320x240	30	-	-	640x360	30
1280x720	60	-	-	1280x720	30	640x360	30
1280x720	60	-	-	640x480	30	640x360	30
1280x720	60	-	-	640x360	30	640x360	30
1280x720	60	-	-	320x240	30	640x360	30
1280x720	60	-	-	-	-	640x360	30
640x480	60	640x480	30	640x480	30	640x360	30
640x480	60	640x480	30	640x360	30	640x360	30
640x480	60	640x480	30	320x240	30	640x360	30
640x480	60	640x480	30	-	-	640x360	30
640x480	60	640x360	30	640x480	30	640x360	30
640x480	60	640x360	30	640x360	30	640x360	30
640x480	60	640x360	30	320x240	30	640x360	30
640x480	60	640x360	30	-	-	640x360	30
640x480	60	320x240	30	640x480	30	640x360	30
640x480	60	320x240	30	640x360	30	640x360	30
640x480	60	320x240	30	320x240	30	640x360	30
640x480	60	320x240	30	-	-	640x360	30
640x480	60	-	-	640x480	30	640x360	30
640x480	60	-	-	640x360	30	640x360	30
640x480	60	-	-	320x240	30	640x360	30
640x480	60	-	-	-	-	640x360	30
640x360	60	640x360	30	640x360	30	640x360	30
640x360	60	640x360	30	320x240	30	640x360	30
640x360	60	640x360	30	-	-	640x360	30
640x360	60	320x240	30	640x360	30	640x360	30
640x360	60	320x240	30	320x240	30	640x360	30
640x360	60	320x240	30	-	-	640x360	30
640x360	60	-	-	640x360	30	640x360	30
640x360	60	-	-	320x240	30	640x360	30
640x360	60	-	-	-	-	640x360	30

設定 (つづき)

WDR モード

エンコーダー 1		エンコーダー 2		エンコーダー 3		エンコーダー 4	
1920x1080	30	1280x960	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	-	-	1280x960	30	640x360	30

エンコーダー 1		エンコーダー 2		エンコーダー 3		エンコーダー 4	
1920x1080	30	-	-	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	-	-	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	-	-	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	-	-	1280x720	30	640x360	30

設定 (つづき)

エンコーダー 1		エンコーダー 2		エンコーダー 3		エンコーダー 4	
1280x960	30	-	-	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	-	-	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	-	-	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	-	-	-	-	640x360	30
1280x720	30	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	30	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	30	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	30	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	30	640x480	30	-	-	640x360	30
1280x720	30	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	30	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	30	640x360	30	-	-	640x360	30
1280x720	30	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	30	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	30	320x240	30	-	-	640x360	30
1280x720	30	-	-	1280x720	30	640x360	30
1280x720	30	-	-	640x480	30	640x360	30
1280x720	30	-	-	640x360	30	640x360	30
1280x720	30	-	-	320x240	30	640x360	30
1280x720	30	-	-	-	-	640x360	30
640x480	30	640x480	30	640x480	30	640x360	30
640x480	30	640x480	30	640x360	30	640x360	30
640x480	30	640x480	30	320x240	30	640x360	30
640x480	30	640x480	30	-	-	640x360	30
640x480	30	640x360	30	640x480	30	640x360	30
640x480	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
640x480	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
640x480	30	640x360	30	-	-	640x360	30

エンコーダー 1		エンコーダー 2		エンコーダー 3		エンコーダー 4	
640x480	30	320x240	30	640x480	30	640x360	30
640x480	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
640x480	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
640x480	30	320x240	30	-	-	640x360	30
640x480	30	-	-	640x480	30	640x360	30
640x480	30	-	-	640x360	30	640x360	30
640x480	30	-	-	320x240	30	640x360	30
640x480	30	-	-	-	-	640x360	30
640x360	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
640x360	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
640x360	30	640x360	30	-	-	640x360	30
640x360	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
640x360	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
640x360	30	320x240	30	-	-	640x360	30
640x360	30	-	-	640x360	30	640x360	30
640x360	30	-	-	320x240	30	640x360	30
640x360	30	-	-	-	-	640x360	30

メモ：

- フレームサイズが「-」のときは、エンコーダーが OFF であることを表しています。
- エンコーダー 3 で“OFF(モニター出力 ON)”を選択するとモニター出力を行います。その際、エンコーダー 3 は映像配信に使用できません。
- エンコーダー 4 のみフレームサイズは 640x360 で固定されます。
- エンコーダー 2 とエンコーダー 3 に設定できるフレームサイズは、エンコーダー 1 と同じか、エンコーダー 1 より小さいサイズになります。
- エンコーダー 2 とエンコーダー 3 は OFF にすることができます。
- エンコーダー 1 とエンコーダー 4 は常に ON になっています。
- WDR モード時は、設定可能な最大フレームレートは 30 になります。
- エンコーダー 4 の設定について
 - FTP 記録や JPEG 添付を利用するためにはエンコーダー 4 を JPEG に設定してください。

設定(つづき)

露光設定

映像の露光を調整します。



設定値の●は工場出荷の値です。

① イメージエンハンスモード

撮影モード(ノーマル、WDR、霧除去)を切り替えます。

- ノーマルモードでは、WDR や霧除去といった特殊効果はありませんが、映像の仕上がりが人の目で見るものに近いため自然に見えます。
- WDR モードでは、ダイナミックレンジを拡大できます。明暗差の大きい被写体を撮影するとき、明部/暗部の両方が見やすくなる効果があります。
- 霧除去モードでは、霧、粉塵などでコントラストが低い環境において視認性が上がる効果があります。効果の強弱は映像調整ページ(P.52)にて行なってください。

② 適用

[設定値:● ノーマル、WDR、霧除去]

クリックするとイメージエンハンスモードが設定されます。

③ デイモード/ナイトモード

ボタンによる切り替えを行うことで、デイモード用の露光設定とナイトモード用の露光設定を各々編集することができます。

- デイナイト切り替え設定が“オート低/オート中/オート高”のときは、カラーモード、赤外照明、赤外照明レベル以外の設定は、デイモード用の露光設定とナイトモード用の露光設定で常に同一になります。
- “露光設定”、“ホワイトバランス”(P.51)、“映像調整”(P.52)以外のページに移行すると、“デイナイト切り替え設定”で設定したモードにて動作します。

デイモード/ナイトモード共通

4 逆光補正

ON に設定すると映像の中心部分に合わせて測光します。



OFF に設定すると映像の全体に合わせて測光します。

- デイナイト切替設定がオート低/中/高のとき、ナイトモードとデイモードの本項目の設定が同じになります。(以降、デイナイト切替設定がオート低/中/高の間は、どちらのモードで設定を変えても両方のモードが同じ値に変わります)
- デイナイト切替設定をオート低/中/高に変更したとき、ナイトモードの設定がデイモードの設定と同じになります。
- イメージエンハンスモードが WDR モードの場合は設定することができません。(設定が表示されません)

[設定値: ON、●OFF]

5 アイリス制御

アイリス制御の方法を切り替えます。

オート: 明るさに応じてアイリスが制御されます。

OFF: アイリスが全開になります。

1、2、3 はアイリスが固定されます。数字が大きいくほど明るくなります。

[設定値: ●オート、OFF、1、2、3]

6 ブライトネス

映像の明るさを調節します。数字が大きくなるほど画面全体の映像が明るくなります。

[設定値: ●8、1 ~ 16]

7 WDR レベル

WDR モードで映像の明るい部分の明るさを調節します。数字が大きくなるほど映像の明部が明るくなります。

[設定値: ●6、1 ~ 16]

8 フリッカー軽減

WDR モードで商用電源周波数 50 Hz の地域では、蛍光灯照明下(インバーター照明器は除く)のちらつき(フリッカー)を軽減します。

- イメージエンハンスモードが WDR モードの場合のみ表示されます。(被写体の照度が高い場合は、フリッカーは軽減しません)

[設定値: ●ON、OFF]

9 AGC

AGC(オートゲインコントロール)を設定します。

- イメージエンハンスモードが WDR モードの場合、OFF を設定することはできません。
- デイナイト切り替え設定がオート低/中/高の場合、OFF を設定することはできません。
- シャッタースピードがフリッカレスの場合、OFF を設定することはできません。

[設定値: ●MID、HIGH、OFF]

10 電子感度アップ

電子感度アップを設定します。

- イメージエンハンスモードが WDR モードの場合、この項目は表示されません。

[設定値: ●OFF、x2、x4、x8、x16、x32]

11 シャッタースピード

シャッタースピードを設定します。

- オートでは、()内の範囲でシャッタースピードが変わります。
- フリッカレスでは、フリッカーの低減を行います。(被写体の照度が高い場合、フリッカレスにはなりません)
- カスタムでは、シャッタースピードの高速と低速のそれぞれを設定する選択枠が表示されます。
- AGC が OFF の場合、フリッカレスを設定することはできません。
- イメージエンハンスモードが WDR モードの場合、この項目は表示されません。

[設定値: ●オート(1/60~1/30000)、オート(1/60~1/10000)、オート(1/60~1/1000)、オート(1/60~1/100)、1/60、1/100、1/120、1/240、1/480、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000、1/30000、フリッカレス、カスタム]

設定 (つづき)

12 カラーモード

カラーまたは白黒を選択します。

- デイモード用の露光設定ではカラー、ナイトモード用の露光設定では白黒での使用が一般的となります。
- デイモード用の露光設定に対して白黒、ナイトモード用の露光設定に対してもカラーを設定することはできません。

デイモード: [設定値: ● カラー、白黒]

ナイトモード: [設定値: カラー、● 白黒]

13 赤外照明

赤外照明を使用するときに設定します。

固定照射: 赤外照明を固定の赤外照明レベルで点灯します。

ズーム連動: ズームの倍率に合わせて赤外照明のレベルを自動的に調整します。

デイモード: [設定値: 固定照射、ズーム連動、● OFF]

ナイトモード: [設定値: 固定照射、● ズーム連動、OFF]

メモ: _____

- カラーモードをカラーに設定している際に赤外照明を点灯させても映像は明るくなりません。
- 逆光補正を使用すると赤外照明による白とびを軽減することができます。

14 赤外照明レベル

赤外照明のレベルを設定します。数値が大きいと強く照射します。

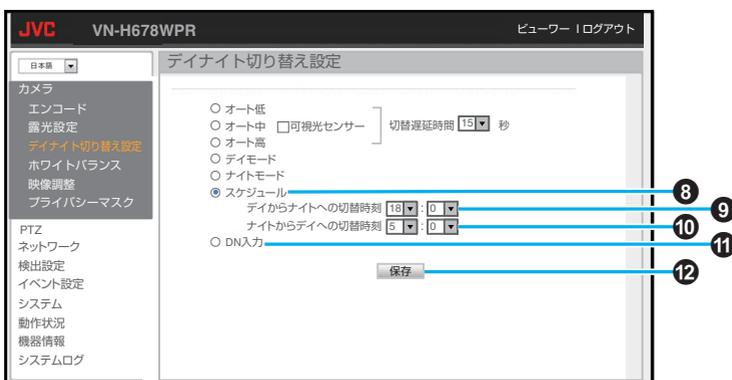
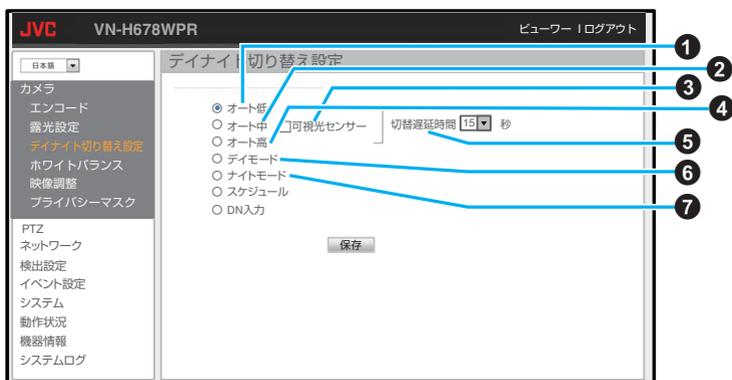
[設定値: ● 4、1～4]

ご注意: _____

- 本機の赤外光を至近距離で直視しないでください。

ダイナイト切り替え設定

デイモード用の設定とナイトモード用の設定の切り替えに関する設定をします。ダイナイト切り替え設定がオート低/オート中/オート高のいずれかの場合にはデイモードとナイトモードの露光設定が同じ設定で動作します。ただし、カラーモードと赤外照明は別々に設定することができます。カラーモードと赤外照明がデイモードとナイトモードで同じ設定になっている場合はダイナイト切り替えが発生しません。



設定 (つづき)

設定値の ● は工場出荷の値です。

① オート低

被写体の信号レベルが低輝度のときに、デイモード用の設定とナイトモード用の設定が切り替わります。

- この項目を選択すると、「露光設定」- 「AGC」の設定は OFF が表示されず、OFF することはできません。

② オート中

被写体の信号レベルが中輝度のときに、デイモード用の設定とナイトモード用の設定が切り替わります。

- この項目を選択すると、「露光設定」- 「AGC」の設定は OFF が表示されず、OFF することはできません。
- 工場出荷値は「オート中」です。

③ 可視光センサー

「オート中」には「可視光センサー」が選択ができます。

「可視光センサー」が選択されている場合は、カメラの周囲が中輝度のときにデイモード用の設定と、ナイトモード用の設定が切り替わります。

- 工場出荷時は「可視光センサー」が選択されています。

④ オート高

カメラの周囲が高輝度のときに、デイモード用の設定とナイトモード用の設定が切り替わります。本機の可視光センサー周辺が明るくなったときに、デイモード用の設定に切り替わります。

- この項目を選択すると、「露光設定」- 「AGC」の設定は OFF が表示されず、OFF することはできません。

⑤ 切替遅延時間

デイモード用の設定とナイトモード用の設定を自動で切り替えるときの遅延時間を設定します。

- オート低/オート中/オート高で共通の設定項目です。

[設定値: 1、2、5、10、●15、20、30] 秒

⑥ デイモード

デイモード用の設定になります。

⑦ ナイトモード

ナイトモード用の設定になります。

⑧ スケジュール

デイモード用の設定とナイトモード用の設定が任意の時刻で切り替わります。

⑨ デイからナイトへの切替時刻

スケジュールにチェックを入れる则表示されます。デイモード用の設定からナイトモード用の設定に切り替える時間を設定します。

[設定値: ●18:00、0~23:0~59]

⑩ ナイトからデイへの切替時刻

スケジュールにチェックを入れる则表示されます。ナイトモード用の設定からデイモード用の設定に切り替える時間を設定します。

[設定値: ●5:00、0~23:0~59]

⑪ DN 入力

デイモード用の設定とナイトモード用の設定を切り替えます。

- 入力極性
- [設定値: ●メイク、ブレイク]
- 切替遅延時間

[設定値: 1、●2、5、10、15、20、30] 秒

⑫ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ご注意:

- オート高は 1/120 以上の高速シャッターを使用できません。
- 自動でデイモード用の設定とナイトモード用の設定を切り替えて撮影する場合は、本機の可視光センサーが遮られないようにしてください。
- オート機能(オートパン、オートパトロール)が動作しているときにデイナイト切り替えの設定を変更することはできませんが、オート機能のポジション呼び出しによりデイナイト切り替えの設定が順次書き換わります。
- デイナイト切り替えをオート低で使用する場合は、AGC を HIGH で使うことをおすすめします。
- AGC を MID で使用する場合は、AGC を HIGH で使用するよりもデイモード用の設定とナイトモード用の設定が高輝度で切り替わります。
- AGC を HIGH、デイナイト切り替えをオート低の状態ではプリセットポジションを登録したあとに AGC を MID にすると、すでに登録したプリセットポジションでは AGC を HIGH で使用するよりも、デイモード用の設定とナイトモード用の設定が高輝度で切り替わります。

ホワイトバランス

周辺の条件に応じて色調の再現を4つのモードで最適化します。



設定値の●は工場出荷の値です。

① デイモード/ナイトモード

ボタンによる切り替えを行うことで、デイモード用のホワイトバランス設定とナイトモード用のホワイトバランス設定を各々編集することができます。

- "露光設定"、"ホワイトバランス"、"映像調整"以外のページに移行すると、"デイナイト切り替え設定"で設定したモードで動作します。

② ホワイトバランスモード

ホワイトバランスモードを切り替えます。

ATW-WIDE:

Auto-Tracking White Balance (自動色温度追尾) WIDE モードになります。自動で色温度範囲(約 2500K~10000K)を調整します。

ATW-NARROW:

Auto-Tracking White Balance (自動色温度追尾) NARROW モードになります。自動で色温度範囲(約 3000K~8000K)を調整します。

ATW-FULL:

Auto-Tracking White Balance (自動色温度追尾) FULL モードになります。照明の色温度に応じ、広範囲で自動的にホワイトバランスを調整します。

[設定値: ●ATW-WIDE、ATW-NARROW、AWC(MANUAL)、ATW-FULL]

AWC(MANUAL):

Auto-White Balance Control モードになります。このモードを選択すると R-Gain/B-Gain の調節が可能になり、また、"OnePushAWC" ボタンが有効になります。

③ OnePushAWC

オートホワイトバランス調整を実行します。調整後の設定値は下記の R-Gain/B-Gain に反映されます。

- 被写体と同じ照明条件のところで、画面全体に白いものが映るようにして実行してください。
- ホワイトバランスモードが AWC(MANUAL) の場合に有効です。

④ R-Gain

R(赤)のレベルを調節します。

- ホワイトバランスモードが AWC(MANUAL) の場合に有効です。
- [設定値: ●72、1~255]

⑤ B-Gain

B(青)のレベルを調節します。

- ホワイトバランスモードが AWC(MANUAL) の場合に有効です。
- [設定値: ●67、1~255]

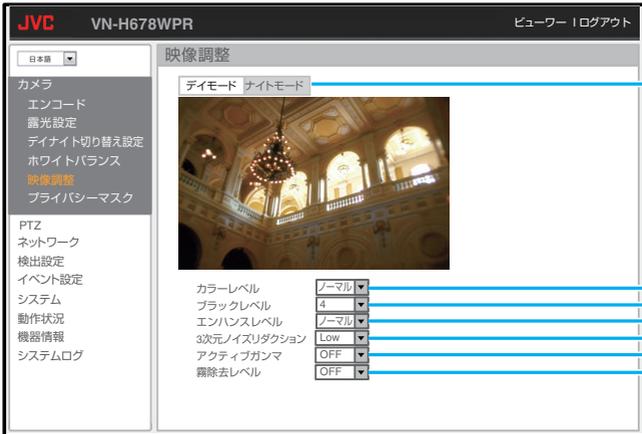
メモ:

- プレビュー画面上で左クリックしたままのドラッグにてズーム操作が可能ですが、ホワイトバランスの調整は撮影画面全体で行なっています。

設定(つづき)

映像調整

映像の色の濃さや輪郭などを調節します。



設定値の●は工場出荷の値です。

① デイモード/ナイトモード

ボタンによる切り替えを行うことで、デイモード用の映像調整設定とナイトモード用の映像調整設定を各々編集することができます。

- "露光設定"、"ホワイトバランス"、"映像調整"以外のページに移行すると、"デイナイト切り替え設定"で設定したモードで動作します。

② カラーレベル

映像の色の濃さを調節します。値を大きくすると映像内の色が強調され、小さくすると白黒に近くなります。

[設定値: ● ノーマル、-5～ノーマル～5]

③ ブラックレベル

黒レベルを調節します。値を小さくすると映像が暗くなります。

[設定値: ●4、1～7]

④ エンハンスレベル

映像のシャープさを調整します。値が大きくなるほど被写体の輪郭がはっきり見えます。

[設定値: ● ノーマル、-4～ノーマル～5]

⑤ 3次元ノイズリダクション

映像のノイズ除去効果を調整します。Highにすると、最もノイズ除去効果が高くなります。

- 動きのある被写体ではノイズリダクションの効果を高めるほど残像が生じやすくなります。
[設定値: OFF、●Low、Mid、High]

⑥ アクティブガンマ

映像内に明るい部分と暗い部分が混在する場合、どちらかが見えづらくなるように映像を調整します。Highにすると、輝度の低い部分が最も見やすくなります。

- イメージエンハンスモードがWDRモードと霧除去モードの場合、アクティブガンマの設定はできません。

デイモード: [設定値: ●OFF、Low、Mid、High]

ナイトモード: [設定値: OFF、●Low、Mid、High]

⑦ 霧除去レベル

霧除去モードで霧や粉塵などが多い環境での映像のボケを調整します。Highにすると霧や粉塵による影響を軽減する効果が最も高くなります。

- イメージエンハンスモードが霧除去モードの場合のみ表示されます。

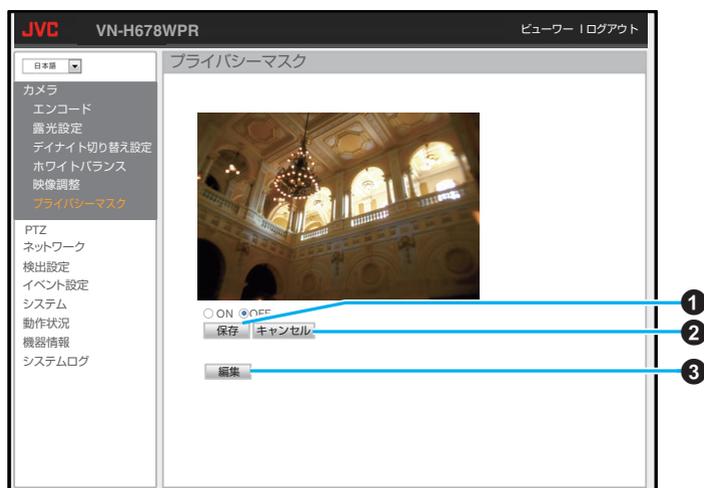
[設定値: OFF、Low、●Mid、High]

プライバシーマスク

プライバシー保護のため、表示映像の一部を隠すことができます。

メモ：――

- プライバシーの保護を確実にするために、プライバシーマスクの設定完了後、ビューワーでパン/チルト操作を行い、隠れていることを確認してください。隠れない場合は、プライバシーマスクの大きさを少し大きめに設定し、再度確認してください。



設定値の●は工場出荷の値です。

ONに設定すると設定されているマスクをビューワーに表示します。

[設定値: ON、●OFF]

① 保存

マスク表示の設定が保存されます。

② キャンセル

マスク表示の設定を保存せずにプライバシーマスクページを再表示します。

③ 編集

マスク調整用の編集モードになります。

設定(つづき)

編集モード画面



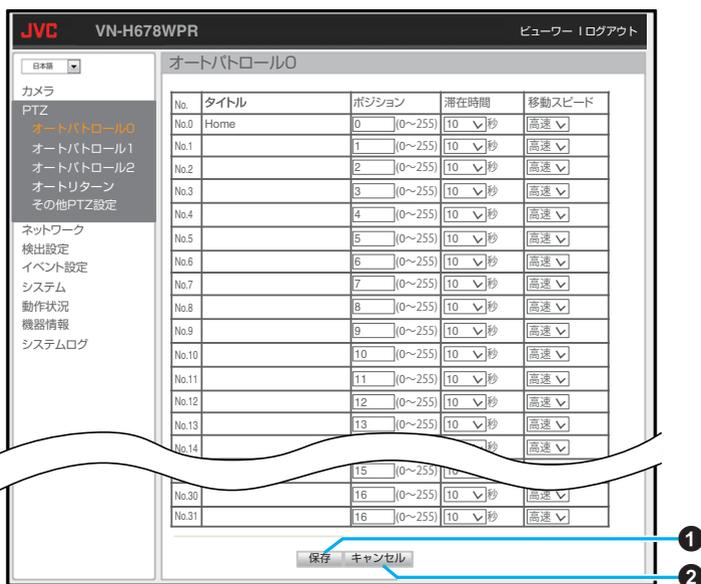
- 編集終了**
編集モードを終了します。
 - マスク番号**
編集マスクを 24 個のうち 1 つ選択することができます。
[設定値: 0~23、●0]
"使用"に設定すると選択したマスクを有効にします。
"不使用"に設定すると選択したマスクを無効にします。
[設定値: 使用、● 不使用]
 - サイズ/カラー**
マスクサイズを調整することができます。
 - "縮小"ボタンで、マスク幅を縮小、"拡大"ボタンで、マスク幅を拡大することができます。プライバシーマスクの色を選択することができます。
 - マスクの色はすべてグレーであり、1 が最も暗くなります。
[設定値: ●1、2、3]
 - パン/チルト操作ボタン**
マスクの位置を調整します。
 - パン/チルトスピード**
マスクの位置を調整するためのパン/チルトスピードを設定します。
 - 削除**
指定したマスク番号の設定を初期値に戻します。
 - 保存**
指定したマスク番号の設定を保存します。
- ご注意:**
- プライバシーマスクの設定は、ズーム倍率を x1 にして行なってください。
 - プライバシーマスクは、設定サイズよりも少し大きめに保存されます。

PTZ

オートパトロール 0、オートパトロール 1、オートパトロール 2、オートリターンそれぞれの設定およびその他の PTZ の設定ができます。

オートパトロール 0

設定時間の間隔で複数のポジションの映像を切り換えて表示するオートパトロール動作の設定を行います。決められたポジションを順番に見たい場合に設定します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

パトロールの順番

オートパトロールの順番に任意のプリセットポジションの番号を割り当てることができます。

0 番目から 31 番目の順にパトロールを繰り返します。割り当てたプリセットポジションが登録されていない場合、そのポジションへの移動を行わず、次のパトロールの順番に移動します。

- オートパトロール動作中でもパトロールの順番は変更することができます。

各ポジションの待機時間

各ポジションの待機時間を選択できます。

- オートパトロール動作中でも待機時間は変更することができます。

[設定値 : Skip、●10、20、30、45、60、120] 秒

ポジション間の移動スピード

ポジション間の移動スピードを選択できます。

- オートパトロール動作中でもポジション間の移動スピードは変更することができます。

[設定値 : 低速、中速、● 高速]

① 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

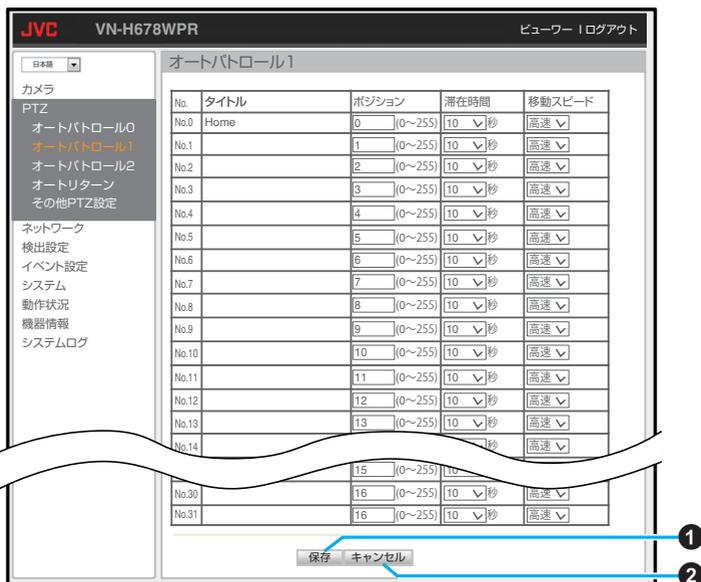
② キャンセル

変更した値を変更前の値へ戻したい場合に押してください。なお、変更したほかの項目も変更する前の設定値に戻ります。

設定 (つづき)

オートパトロール 1

設定時間の間隔で複数のポジションの映像を切り換えて表示するオートパトロール動作の設定を行います。決められたポジションを順番に見たい場合に設定します。



設定値の●は工場出荷の値です。

パトロールの順番

オートパトロールの順番に任意のプリセットポジションの番号を割り当てることができます。0番目から31番目の順にパトロールを繰り返します。

割り当てたプリセットポジションが登録されていない場合、そのポジションへの移動を行わず、次のパトロールの順番に移動します。

- オートパトロール動作中でもパトロールの順番は変更することができます。

各ポジションの待機時間

各ポジションの待機時間を選択できます。

- オートパトロール動作中でも待機時間は変更することができます。

[設定値: Skip、●10、20、30、45、60、120] 秒

ポジション間の移動スピード

ポジション間の移動スピードを選択できます。

- オートパトロール動作中でもポジション間の移動スピードは変更することができます。

[設定値: 低速、中速、●高速]

① 保存

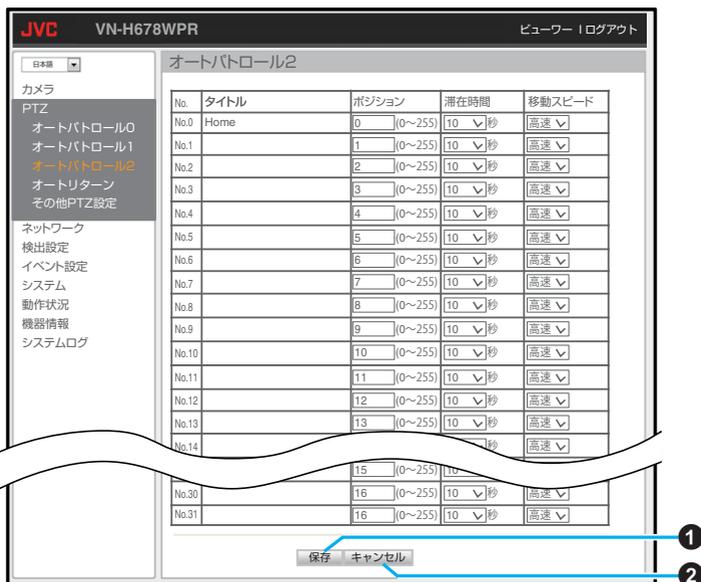
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

② キャンセル

変更した値を変更前の値へ戻したい場合に押してください。なお、変更したほかの項目も変更する前の設定値に戻ります。

オートパトロール 2

設定時間の間隔で複数のポジションの映像を切り換えて表示するオートパトロール動作の設定を行います。決められたポジションを順番に見たい場合に設定します。



設定値の●は工場出荷の値です。

パトロールの順番

オートパトロールの順番に任意のプリセットポジションの番号を割り当てることができます。

0番目から31番目の順にパトロールを繰り返します。

割り当てたプリセットポジションが登録されていない場合、そのポジションへの移動を行わず、次のパトロールの順番に移動します。

- オートパトロール動作中でもパトロールの順番は変更することができます。

各ポジションの待機時間

各ポジションの待機時間を選択できます。

- オートパトロール動作中でも待機時間は変更することができます。

[設定値: Skip、●10、20、30、45、60、120] 秒

ポジション間の移動スピード

ポジション間の移動スピードを選択できます。

- オートパトロール動作中でもポジション間の移動スピードは変更することができます。

[設定値: 低速、中速、●高速]

① 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

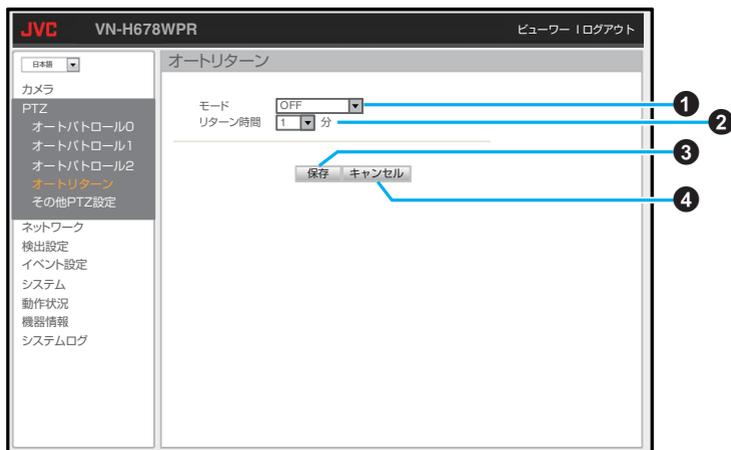
② キャンセル

変更した値を変更前の値へ戻したい場合に押してください。なお、変更したほかの項目も変更する前の設定値に戻ります。

設定 (つづき)

オートリターン

オートリターンとは、一定時間以上 PTZ 操作やポジション移動操作が行なわれない場合に、あらかじめ指定したモードに自動的に移行する機能です。



設定値の●は工場出荷の値です。

① モード

オートリターン後の動作モードを選択します。

OFF: オートリターンは動作しません。

Home: 一定時間無操作で Home ポジションに戻ります。

オートパン: 一定時間無操作で、オートパンを開始します。(P.31)

オートパトロール 0~2: 一定時間無操作でオートパトロールを開始します。

[設定値: ●OFF、Home、オートパン、オートパトロール 0~2]

② リターン時間

リターンを開始するまでの無操作時間を設定します。

● 無操作時間とは、PTZ 操作やポジション移動操作が行なわれない時間のことです。

[設定値: ●1、2、3、5、10、20、30、60]分

③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

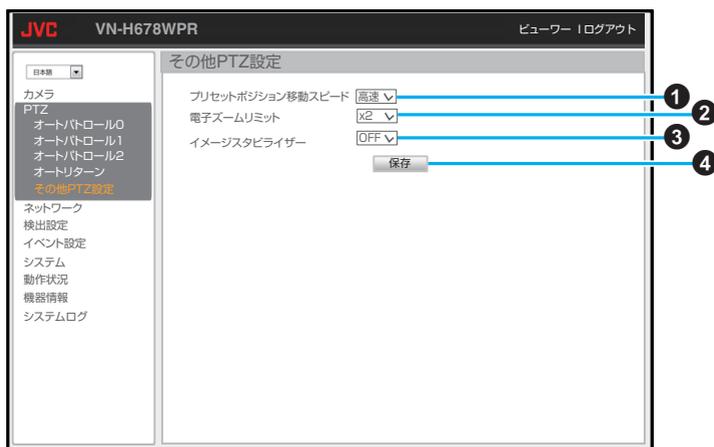
④ キャンセル

変更した値を変更前の値へ戻りたい場合に押してください。なお、変更したほかの項目も変更する前の設定値に戻ります。

メモ:

- 無効な値を変更前の値へ戻りたい場合には、[キャンセル]ボタンを押してください。なお、[キャンセル]ボタンを押すと、変更したほかの項目も変更する前の設定値に戻ります。
- すでに変更した値を保存している場合は、最後に[保存]ボタンを押したときの設定に戻ります。

その他 PTZ 設定



設定値の●は工場出荷の値です。

① プリセットポジション移動スピード

プリセットポジション移動のスピードを設定します。

[設定値: 低速、中速、● 高速]

② 電子ズームリミット

電子ズームリミットを設定します。

- 電子ズームリミットよりも大きい倍率にズーム倍率があるときはズームインまたはズームアウトはできません。

[設定値: x1、●x2、x4、x8、x16、x32]

③ イメージスタビライザー

ON にすると、イメージスタビライザーが有効になりブレ補正を行ないます。

- ON に設定すると、画角が狭くなり解像度が低くなります。

[設定値: ●OFF、ON]

④ 保存

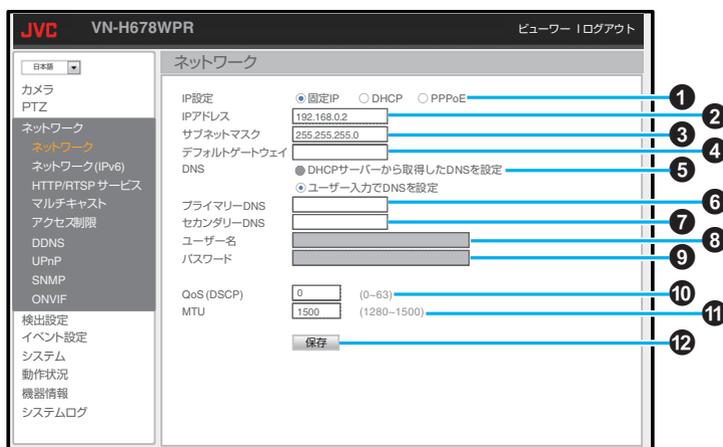
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

設定 (つづき)

ネットワーク

ネットワーク

ここでは本機で使用できるネットワーク環境の詳細設定について説明します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① IP 設定

ネットワークの設定方法を選択します。
固定 IP: すべて手動で入力して設定します。
DHCP: DHCP サーバーから IP アドレスなどを自動取得して設定します。
PPPoE: ISP (Internet Service Provider) などから提供された情報を入力して設定します。
[設定値: ● 固定 IP、DHCP、PPPoE]

② IP アドレス※1

本機の IP アドレスを設定します。
[初期値: 192.168.0.2]

③ サブネットマスク※1

本機のサブネットマスクを設定します。
[初期値: 255.255.255.0]

④ デフォルトゲートウェイ※1

本機のデフォルトゲートウェイを設定します。

⑤ DNS※2

DNS サーバーの設定を DHCP サーバーから自動取得して行するか、手動で行くかを選択します。
[設定値: DHCP サーバーから取得した DNS を設定、● ユーザー入力で DNS を設定]

⑥ プライマリー DNS※3

プライマリー DNS を設定します。

⑦ セカンダリー DNS※3

セカンダリー DNS を設定します。

⑧ ユーザー名※4

"IP 設定"に PPPoE を選択した場合は、ユーザー名 (ID/アカウント) を入力します。
● 半角英数字で 30 文字まで入力できます。

⑨ パスワード※4

"IP 設定"に PPPoE を選択した場合は、パスワードを入力します。
● 半角英数字で 30 文字まで入力できます。

⑩ QoS(DSCP)

本機のネットワークトラフィックに優先度とパケット破棄の割合を設定します。

[設定値: ●0、0~63]

⑪ MTU

映像データを格納するパケットの最大サイズを設定します。

[設定値: ●1500、1280~1500]

⑫ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

※1 DHCP または PPPoE での設定時は自動で取得した値が表示され、グレースアウトして手動での入力できません。

※2 "IP 設定"が DHCP 以外の場合は、グレースアウトして選択できません。

※3 "IP 設定"が DHCP で、"DNS"が[DHCP サーバーから取得した DNS を設定]の場合は、グレースアウトして入力できません。

"IP 設定"に PPPoE を選択した場合は、グレースアウトして入力できません。

※4 "IP 設定"が PPPoE 以外の場合は、グレースアウトして入力できません。

設定 (つづき)

ネットワーク(IPv6)

IPv6 のネットワークを設定します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① IP 設定

ON を選択すると IPv6 アドレスが有効になり、IPv6 アドレスを使って本機にアクセスすることができます。(HTTP アクセスのみ)
[設定値: ON、●OFF]

② IP アドレス

IPv6 アドレスの初期値は MAC アドレスを元に作成されるグローバルアドレスです
IPv6 アドレスはリンクローカルアドレス、またはグローバルアドレスをご使用ください。

- リンクローカルアドレスは自動生成されません。
- グローバルアドレスを複数持つことはできません。

③ デフォルトルーター

デフォルトルーターを設定します。

④ プライマリー DNS

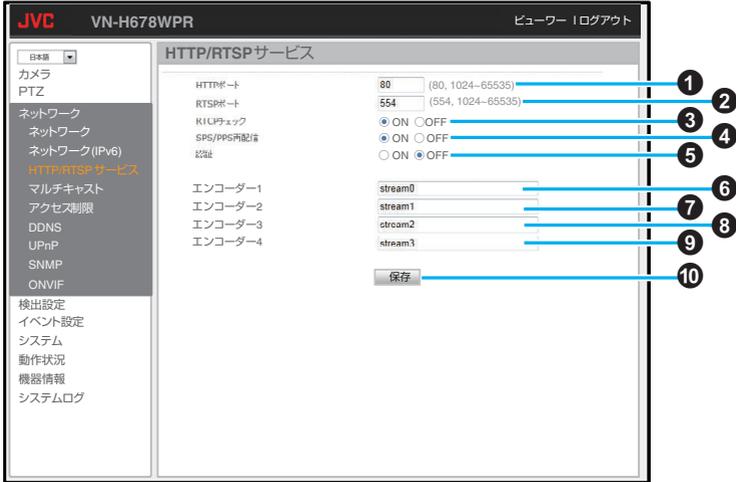
プライマリー DNS を設定します。

⑤ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

HTTP/RTSP サービス

HTTP ポート、RTSP ポート、その他関連する設定を行います。



設定値の●は工場出荷の値です。

① HTTP ポート

HTTP ポートを設定します。初期設定のポート番号 80 の使用をおすすめしますが、変更が必要な場合はシステム管理者に問い合わせてください。

[設定値: ●80、80~65535]

② RTSP ポート

RTSP ポートを設定します。

[設定値: ●554、80~65535]

③ RTCP チェック

RTCP キーブライズ機能 (RTSP クライアントソフトから返信される RTCP パケット (Receiver Report) のチェック機能) の ON/OFF を設定します。

ON: 受信した RTCP パケットのチェックを行います。クライアントの RTCP パケットが受信できなくなった場合、そのクライアントに対する配信を停止します。

OFF: 受信した RTCP パケットのチェックを行いません。クライアントの RTCP パケットが受信できなくなった場合でも、配信を継続します。

[設定値: ●ON、OFF]

- RTCP パケットは特定の VMS (Video Management System) からカメラに対して送信されることがあります。

④ SPS/PPS 再配信

H.264 コーデックの内部データである SPS と PPS を定期的に再配信するかどうかを設定します。

ON: H.264 のストリームに SPS&PPS フレームを 1 フレームの前に毎回挿入する。

OFF: RTSP の Describe の応答に SPS&PPS フレームを挿入し、以後、H.264 のストリームに SPS/PPS を挿入しない。

[設定値: ●ON、OFF]

⑤ 認証

RTSP のリクエスト時に認証を行うかどうかを設定します。ON で認証を行います。

[設定値: ON、●OFF]

- ユーザー名、パスワードはブラウザーにアクセスするときと同じです。

⑥ エンコーダー 1※

エンコーダー 1 のプロファイル名を設定します。エンコードページに表示されている RTSP URL とは別に rtsp://IP アドレス:RTSP ポート/プロファイル名でも RTSP のリクエストが可能です。

設定 (つづき)

7 エンコーダー 2※

エンコーダー 2 のプロファイル名を設定します。エンコードページに表示されている RTSP URL とは別に `rtsp://IP アドレス:RTSP ポート/プロファイル名` でも RTSP のリクエストが可能です。

8 エンコーダー 3※

エンコーダー 3 のプロファイル名を設定します。エンコードページに表示されている RTSP URL とは別に `rtsp://IP アドレス:RTSP ポート/プロファイル名` でも RTSP のリクエストが可能です。

9 エンコーダー 4※

エンコーダー 4 のプロファイル名を設定します。エンコードページに表示されている RTSP URL とは別に `rtsp://IP アドレス:RTSP ポート/プロファイル名` でも RTSP のリクエストが可能です。

10 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

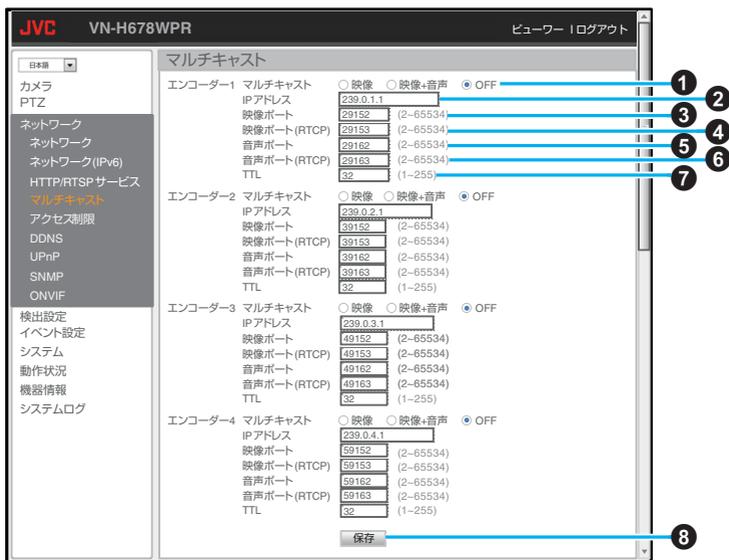
※ 各エンコーダーで同一の名前は設定できません。

ご注意:

- RTSP ポートを変更した場合、配信を要求する側の機器でも同様にポート指定を変更する必要があります。
-

マルチキャスト

各エンコーダーのマルチキャストの配信内容などを設定します。



エンコーダー 1~4 共通

設定値の●は工場出荷の値です。

工場出荷状態のエンコーダ 2 と 3 は「使用停止中/モニター出力使用中のため、使用できません」と表示され使用できません。

① マルチキャスト

マルチキャストの配信内容を設定します。

映像:映像のみをマルチキャストで配信します。

映像+音声:映像と音声をマルチキャストで配信します。

OFF:マルチキャスト配信は行いません。

● 音声のみをマルチキャストで送信することはできません。

[設定値:映像、映像+音声、●OFF]

② IP アドレス

マルチキャストの配信に使用する IP アドレスを設定します。

工場出荷値は下記の通りです:

エンコーダー 1: 239.0.1.1、

エンコーダー 2: 239.0.2.1、

エンコーダー 3: 239.0.3.1、

エンコーダー 4: 239.0.4.1

③ 映像ポート

マルチキャストの映像配信に使用するポート番号を設定します。

[設定値:2~65534]

工場出荷値は下記の通りです:

エンコーダー 1: 53152、

エンコーダー 2: 55152、

エンコーダー 3: 57152、

エンコーダー 4: 59152

④ 映像ポート(RTCP)

マルチキャストの映像配信に使用する RTCP 用ポート番号を設定します。

[設定値:2~65534]

工場出荷値は下記の通りです:

エンコーダー 1: 53153、

エンコーダー 2: 55153、

エンコーダー 3: 57153、

エンコーダー 4: 59153

設定 (つづき)

⑤ 音声ポート

マルチキャストの音声配信に使用するポート番号を設定します。

[設定値: 2~65534]

工場出荷値は下記の通りです:

エンコーダー 1: 53162、

エンコーダー 2: 55162、

エンコーダー 3: 57162、

エンコーダー 4: 59162

⑥ 音声ポート(RTCP)

マルチキャストの音声配信に使用する RTCP 用ポート番号を設定します。

[設定値: 2~65534]

工場出荷値は下記の通りです:

エンコーダー 1: 53163、

エンコーダー 2: 55163、

エンコーダー 3: 57163、

エンコーダー 4: 59163

⑦ TTL

映像データを格納した UDP パケットの TTL の値を設定します。

[設定値: ●32、1~255]

⑧ 保存

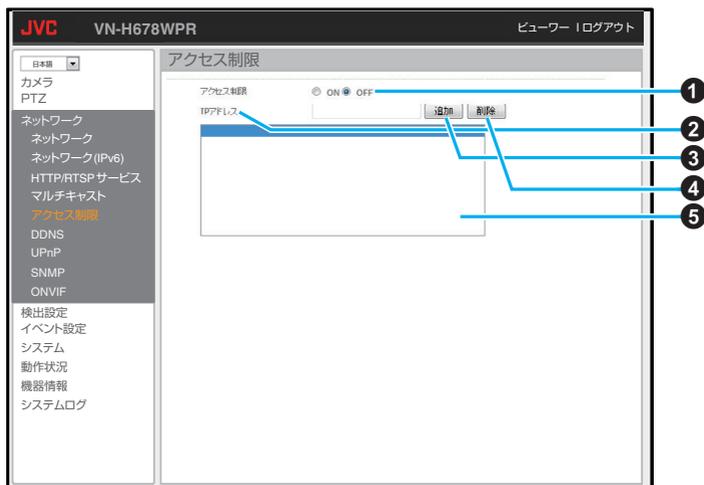
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

メモ: _____

- 本機のビューワーにはマルチキャスト配信を受信する機能はありません。マルチキャスト配信の映像や音声を受信するには、弊社製ネットワークデコーダー VN-D4HD などのマルチキャスト配信を受信できる機器をご使用ください。
-

アクセス制限

クライアントの制限を設定します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① アクセス制限

ON/OFF を選択することで、本機へアクセスするリストに登録した IP アドレス(クライアント)を制限できます。

ON: アクセス制限を有効にします。

OFF: アクセス制限を無効にします。

[設定値: ON、●OFF]

② IP アドレス

禁止リストボックスに追加する IP アドレスを入力します。ワイルドカード(*)が使用可能です。

192.168.0.* の場合、192.168.0.1～

192.168.0.255 を指定したことになります。

③ 追加

入力した IP アドレスを禁止リストボックスに追加します。

④ 削除

禁止リストボックスから選択した IP アドレスをリストから削除します。

⑤ 禁止リストボックス

アクセス禁止にする IP アドレスの一覧です。

左クリックでアドレスの選択ができます。

設定 (つづき)

DDNS

DDNS サーバーを設定します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① DDNS サーバー

DDNS サーバーを選択します。

[設定値: ●http://dyn.com/, http://www.noip.com/]

② DDNS

ON: DDNS を使用します。

OFF: 使用しません。

- ON を選択するとユーザー名などの入力ができるようになります。

[設定値: ON、●OFF]

③ ユーザー名

DDNS サーバーに登録したユーザー名を入力します。

- 半角英数文字で 30 文字まで入力できます。

④ パスワード

DDNS サーバーに登録したパスワードを入力します。

- 半角英数文字で 30 文字まで入力できます。

⑤ ホスト名

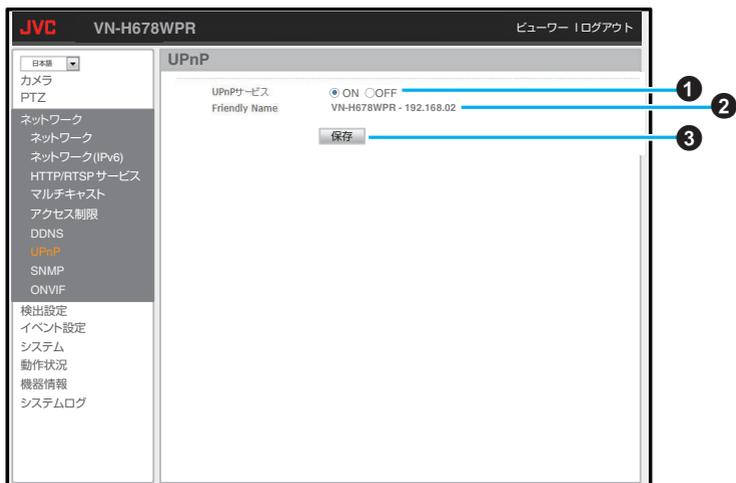
DDNS サーバーに登録したホスト名を入力します。

⑥ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

UPnP

UPnP(ユニバーサル・プラグ&プレイ)サービスの有効/無効などを設定します。有効にすると LAN 接続されている UPnP に対応したパソコンが本機(カメラ)を自動的に認識します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① UPnP サービス

ON/OFF を選択します。

ON: UPnP が有効です。

OFF: UPnP が無効です。

[設定値: ●ON, OFF]

② Friendly Name

ネットワーク上に表示される本機の名称を表示します。カメラのモデル名と IP アドレスで構成され、変更することはできません。

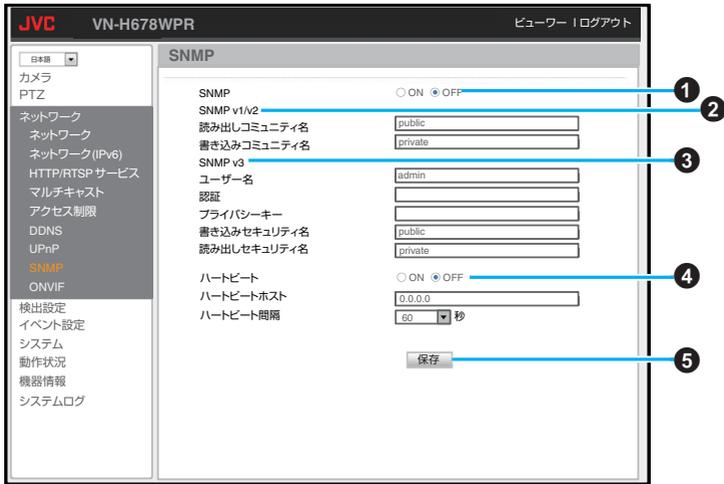
③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

設定 (つづき)

SNMP

SNMP(簡易ネットワーク管理プロトコル)を設定します。SNMPは、アプリケーション層の上位に位置するインターネット標準のプロトコルで、ネットワークに接続されている機器を管理するための情報通信方法を定めています。ネットワーク機器を遠隔管理し、問題解決を容易にしています。



設定値の●は工場出荷の値です。

① SNMP

ON/OFF を選択します。
ON: SNMP が有効です。
OFF: SNMP が無効です。
[設定値: ON、●OFF]

② SNMP v1/v2

読み出しコミュニティ名
読み出しのみ可能なコミュニティ名を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。
書き込みコミュニティ名
読み書き可能なコミュニティ名を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。

③ SNMP v3

ユーザー名
ユーザー名を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。
認証
パスワードを設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。
プライバシーキー
プライバシーキーを設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。

書き込みセキュリティ名

読み書き可能なセキュリティ名を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。

読み出しセキュリティ名

読み出しのみ可能なセキュリティ名を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。

④ SNMP ハートビート

ハートビート
ON/OFF を選択します。
ON: ハートビート(死活監視)が有効です。
OFF: ハートビート(死活監視)が無効です。
[設定値: ON、●OFF]
ハートビートホスト
ハートビートの送信先を設定します。
ハートビート間隔
ハートビートの送信間隔を設定します。
[設定値: 1~60、●60]

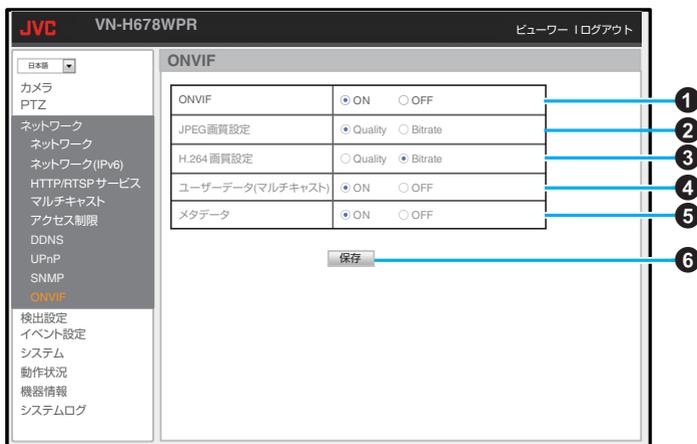
⑤ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ONVIF

ONVIF の使用/不使用を設定します。

本機は、ONVIF(Open Network Video Interface Forum)に対応しています。ONVIF は監視機器を発見するプロトコル、監視機器の設定を取得・変更するプロトコル、映像音声データを送受信するプロトコルなどが標準化されています。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① ONVIF

ON/OFF を選択します。

ON: ONVIF を使用します。

OFF: ONVIF を使用しません。

[設定値: ●ON、OFF]

- ON にすると下記の項目が設定できます。

② JPEG 画質設定

JPEG ストリームの取得時に ONVIF で指定される画質設定のうち、Quality と Bitrate のどちらを優先するか選択します。

[設定値: ●Quality、Bitrate]

③ H.264 画質設定

H.264 ストリームの取得時に ONVIF で指定される画質設定のうち、Quality と Bitrate のどちらを優先するか選択します。

[設定値: Quality、●Bitrate]

④ ユーザーデータ(マルチキャスト)

ON/OFF を選択します。

ON: マルチキャスト配信時にユーザーデータを付加します。

OFF: マルチキャスト配信時にユーザーデータを付加しません。

[設定値: ●ON、OFF]

⑤ メタデータ

ON/OFF を選択します。

ON: 本機が配信するストリームにメタデータを付加します。

OFF: 本機が配信するストリームにメタデータを付加しません。

[設定値: ●ON、OFF]

⑥ 保存

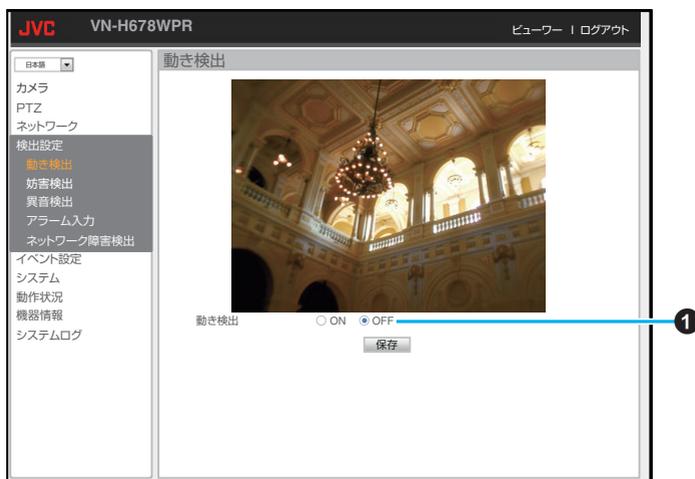
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

設定 (つづき)

検出設定

動き検出

あらかじめ設定した本機映像内の任意のエリア(検出エリア)で発生した動きを感知する機能です。本機能はホームポジションでのみ有効です。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① 動き検出

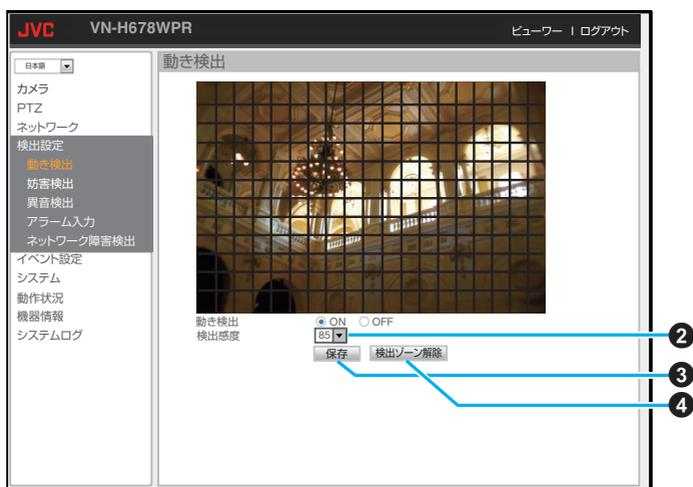
ON/OFF を選択します。

ON: 動き検出の設定ができます。

OFF: 動き検出の設定はできません。

- ON を選択するとマス目が表示され、検出エリアの選択が可能になります。また、検出ゾーン解除、検出感度の項目が表示され、設定などが可能になります。
- 検出エリアはビューワー上で左クリックしたままドラッグして設定します。右クリックしたまま画面をドラッグして、選択したエリア内の検出エリアをまとめて解除することができます。また、ダブルクリックによる検出エリアの単体解除も可能です。
- OFF を選択すると、マス目は消えます。
- [システム] - [システム情報] - [OSD 表示位置] - [イベント] (P.99) が指定されている場合、動き検出時に **M** を表示します。

[設定値: ON、●OFF]



設定値の●は工場出荷の値です。

② 検出感度

動き検出の検出感度が設定できます。

- 数字が大きくなるにつれて、わずかな動作や明るさの変化も検出しやすくなります。

[設定値: ●85. 1~99]

③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

④ 検出ゾーン解除

選択済みのエリアをすべて解除します。このとき、画面上のマス目はそのまま残ります。

メモ: _____

- エリア表示位置は目安です。必ず動作確認を行なってください。
- ズームした画面でのエリア設定はできません。

ご注意: _____

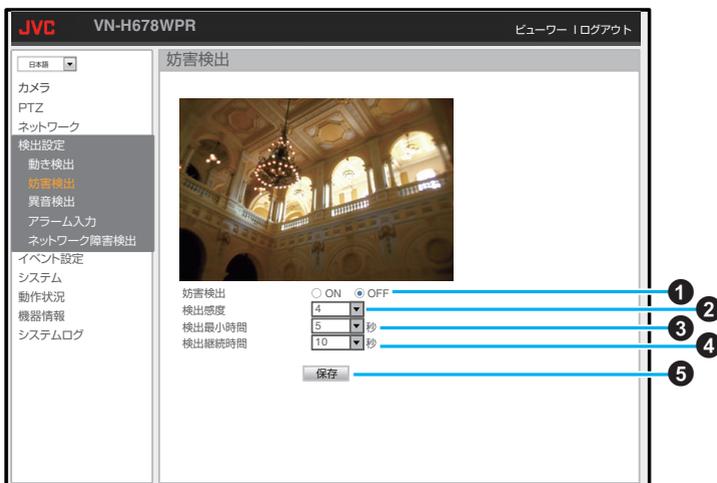
- 蛍光灯などのフリッカーにより動き検出の誤動作が発生する場合があります。
- 照明により明るさが変化する場合、動きとして検出される場合があります。
- 設置条件によっては検出できないときがあります。

設定 (つづき)

妨害検出

明るさを含め、映像に大きな変化があった場合に、それを妨害として検出します。主に、レンズをふさがれたり、障害物を置かれたり、強い光をあてられたり、カメラの設置向きが変えられた場合を想定しています。

本機能はホームポジションでのみ有効です。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① 妨害検出

ON/OFF を選択します。

ON: 妨害検出の設定ができます。

OFF: 妨害検出の設定はできません。

- [システム] - [システム情報] - [OSD 表示位置] - [イベント] (P.99) が指定されている場合、妨害検出時に **T** を表示します。

[設定値: ON、●OFF]

② 検出感度

妨害検出の検出感度が設定できます。

- 数字が大きいほど、妨害を検出しやすくなります。

[設定値: ●4、0~10]

③ 検出最小時間

妨害が発生してから認識するまでの時間を設定します。妨害と判断できる映像が設定した時間以上継続する場合に検出します。

[設定値: ●5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60] 秒

④ 検出継続時間

設定した時間中の妨害発生を検出します。

[設定値: 5、●10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60] 秒

⑤ 保存

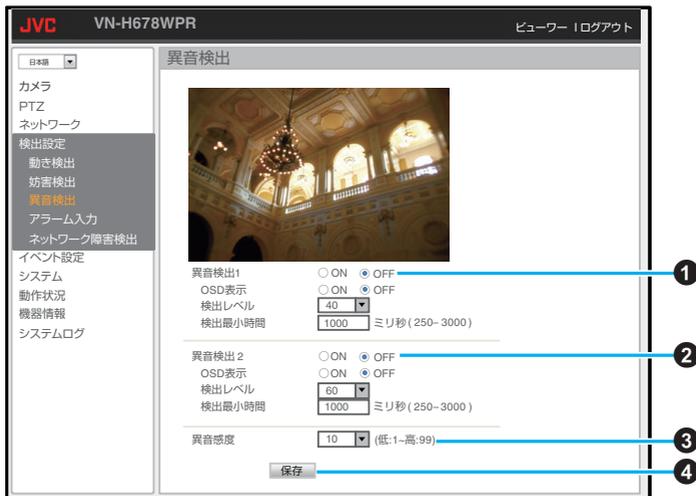
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ご注意:

- 設置条件によっては検出できないときがあります。

異音検出

あらかじめ設定した音量や音の継続時間を超えた場合に異常を検出する機能です。



設定値の●は工場出荷の値です。

① 異音検出 1

- ON: 異音検出 1 を有効にします。
OFF: 異音検出 1 を無効にします。
- ・ [システム] - [システム情報] - [OSD 表示位置] - [イベント] (P.99) が指定されている場合、異音検出時に **A1** を表示します。

[設定値: ON、●OFF]

OSD 表示

- ON: プレビュー映像上にピークメーターを表示します。
OFF: ピークメーターを表示しません。

[設定値: ON、●OFF]

検出レベル

- 検出レベルを設定します。
数字が大きくなるほど、大きな音でないと検出しません。(映像内のピークメーターの青い囲いがレベルの設定によって変化します。)

[設定値: ●40、1~99]

検出最小時間

- 設定した時間より長く検出レベルを超えた音が継続した場合に異音検出を行います。

[設定値: ●1000、250~3000]

② 異音検出 2

- ON: 異音検出 2 を有効にする。
OFF: 異音検出 2 を無効にします。
- ・ [システム] - [システム情報] - [OSD 表示位置] - [イベント] (P.99) が指定されている場合、異音検出時に **A2** を表示します。

[設定値: ON、●OFF]

OSD 表示

- ON: プレビュー映像上にピークメーターを表示します。
OFF: ピークメーターを表示しません。

[設定値: ON、●OFF]

検出レベル

- 検出レベルを設定します。
数字が大きくなるほど、大きな音でないと検出しません。(映像内のピークメーターの青い囲いがレベルの設定によって変化します。)

[設定値: ●60、1~99]

検出最小時間

- 設定した時間より長く検出レベルを超えた音が継続した場合に異音検出を行います。

[設定値: ●1000、250~3000]

設定 (つづき)

③ 異音感度

入力音声のゲインを調節します。

[設定値: ●10、1～99]

④ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ご注意:

- 設置条件によっては検出できないときがあります。
 - 異音検出 1/異音検出 2 の OSD 表示を ON に設定すると、異音検出ページを開いている間カメラから音声受信が行われ、音声を確認しながら設定できます。
 - ピークメーターを表示する場合は OSD 表示位置 (P.100) で左下を使用しないでください。
-

アラーム入力

アラーム入力機器と本機との接続の有効/無効を設定します。



設定値の●は工場出荷の値です。

① アラーム入力1

ON: アラーム入力を有効にします。

OFF: アラーム入力を無効にします。

- [システム] - [システム情報] - [OSD 表示位置] - [イベント] (P.99) が指定されている場合、アラーム入力時に **AD1** を表示します。

[設定値: ON、●OFF]

② アラーム入力1 極性

アラーム入力の極性をメイク(ショートしたとき)とブレイク(オープンしたとき)で切り替えます。

[設定値: ●メイク、ブレイク]

③ アラーム入力2

ON: アラーム入力を有効にします。

OFF: アラーム入力を無効にします。

- [システム] - [システム情報] - [OSD 表示位置] - [イベント] (P.99) が指定されている場合、アラーム入力時に **AD2** を表示します。

[設定値: ON、●OFF]

④ アラーム入力2 極性

アラーム入力の極性をメイク(ショートしたとき)とブレイク(オープンしたとき)で切り替えます。

[設定値: ●メイク、ブレイク]

⑤ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

設定 (つづき)

ネットワーク障害検出

本機とネットワークのリンク切れの検出を行います。



設定値の●は工場出荷の値です。

① ネットワーク障害検出

ON: ネットワーク障害を検出します。

OFF: ネットワーク障害を検出しません。

[設定値: ON、●OFF]

② 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

イベント設定

イベント

動き検出や異音検出など、イベント名から選択できる項目で異常が検出されたときのユーザーへの通知方法や記録方法を設定します。

日本語

カメラ
PTZ
ネットワーク

検出設定
イベント設定
イベント
FTP記録
メール設定
SDカード記録
SDカード記録データ
HTTP通知
TCP通知
UDP通知
音声再生
システム
動作状況
機器情報
システムログ

イベント

イベント名 動き検出 編集

イベント名	スタート	FTP	メール	SDカード	アラーム	アラーム	HTTP	TCP	UDP	マイクイン	音声再生	表外通知	プリント	スケジュール
検出検出	ス	記録	記録	記録	入力	出力	通知	通知	通知	検出	設定	設定	設定	設定
動き検出	OFF													即時
妨害検出	OFF													即時
異音検出1	OFF													即時
異音検出2	OFF													即時
アラーム入力1	OFF													即時
アラーム入力2	OFF													即時
ネットワーク障害検出	OFF	-	-				-	-	-					即時
SDカードエラー	OFF			-										即時

メモ：

- 画面の[-]表示は、設定できない項目です。

設定値の●は工場出荷の値です。

① イベント名

編集するイベントを選択します。

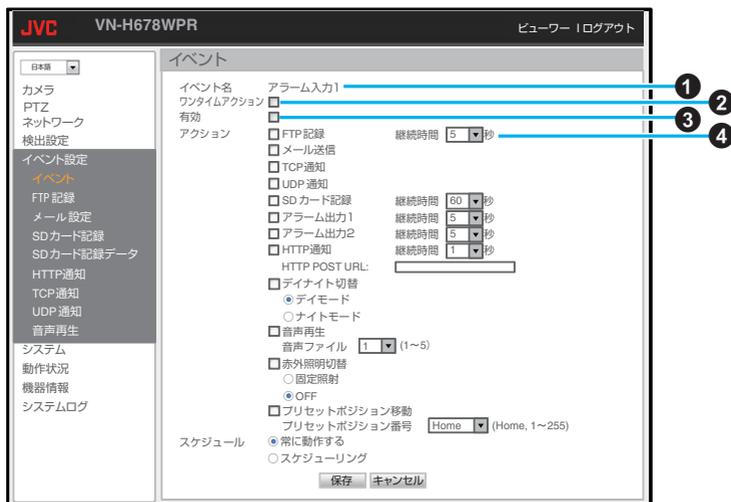
[設定値:●動き検出、妨害検出、異音検出1、異音検出2、アラーム入力1、アラーム入力2、ネットワーク障害検出、SDカードエラー]

② 編集

クリックすると、イベント名で選択したイベントの編集画面へ移動します。

設定 (つづき)

編集画面



設定値の ● は工場出荷の値です。

① イベント名

選択したイベント名が表示されます。

② ワンタイムアクション

チェックを入れると、アラーム入力 1 または 2 がアラーム入力を検知したときにアクションを単発で発生させます。
選択しないときは、アラーム入力を検知している間、アクションを 1 秒ごとに発生させ続けます。

③ 有効

● チェックを入れることで編集対象のイベントは ON に設定されます。
チェックを入れるとイベントが有効になり、アクションの編集が可能になります。

④ アクション

イベントに紐づけるイベントアクションの設定一覧が表示されます。

- グレーアウトしたままの項目は編集できません。

FTP 記録

チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとして FTP 記録を行います。

- イベントにネットワーク障害検出を選択した場合は設定できません。
- FTP サーバーの設定は、FTP 記録ページ (P.87) で行います。

継続時間

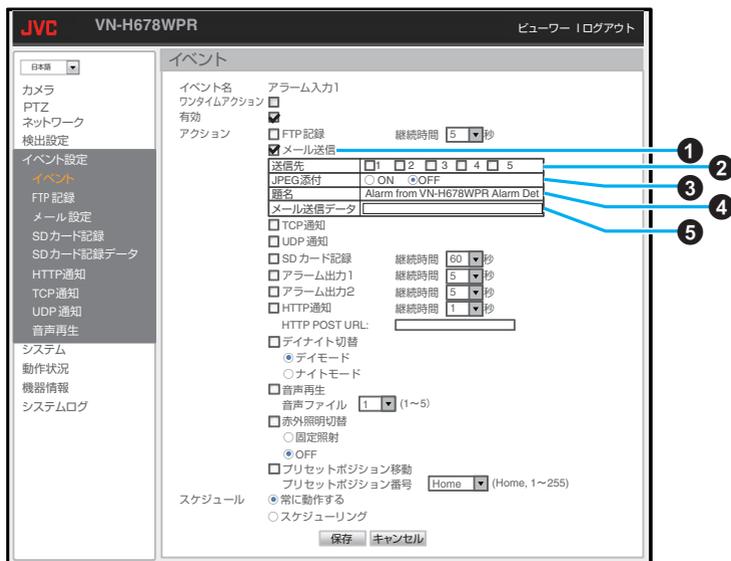
(FTP 記録)

イベント発生時から FTP 記録を継続する時間を選択します。

1 秒当たり、1 枚の JPEG 画像が FTP 記録されます。

[設定値: 1、●5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60] 秒

メール送信



設定値の●は工場出荷の値です。

① メール送信

チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとしてメール送信を行います。

- イベントにネットワーク障害検出を選択した場合は設定できません。

② 送信先

メール送信先の選択を行います。

- 宛先のメールアドレスの設定は、メール設定ページ(P.89)で行います。

③ JPEG 添付

メールに JPEG 画像を添付するかどうかを選択します。

- ON を選択するとイベント発生時の JPEG 画像 1 枚を添付します。

[設定値: ON、●OFF]

④ 題名

メールの題名が表示されます。

(例: "Alarm from VN-XXX ZZZ")

- XXX には、H678WPR、ZZZ には、英語表記でのイベント名が記載されます。
- 最大文字数は 127 文字までです。日本語のみの場合は 42 文字、半角英数のみの場合は 127 文字までです。

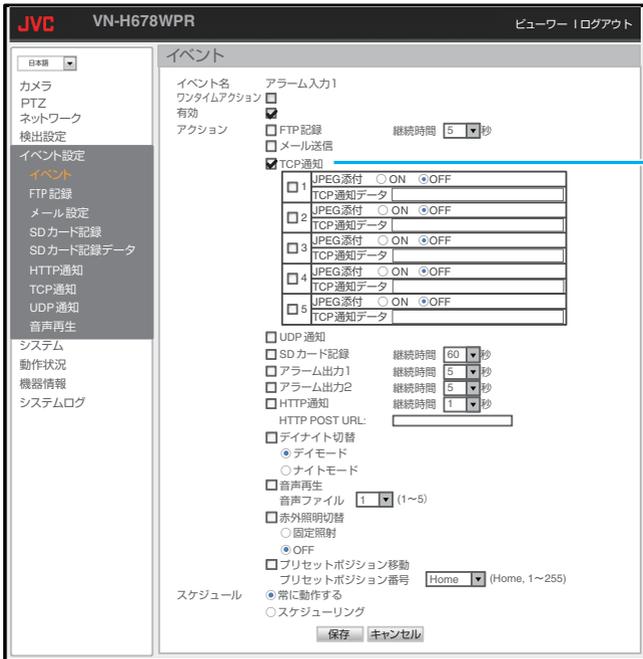
⑤ メール送信データ

メールの本文を入力します。

- 最大文字数は 127 文字までです。日本語のみの場合は 42 文字、半角英数のみの場合は 127 文字までです。

設定 (つづき)

TCP 通知



設定値の●は工場出荷の値です。

1 TCP 通知

- イベントにネットワーク障害検出を選択した場合は設定できません。チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとして TCP 通知を行います。

1~5

- チェックを入れた宛先に TCP 通知を行います。
- 各宛先の IP アドレスの設定は TCP 通知ページ(P.96)で行います。

JPEG 添付

TCP 通知に JPEG 画像を添付するかどうかを選択します。

- ON を選択するとイベント発生時の JPEG 画像 1 枚を添付します。

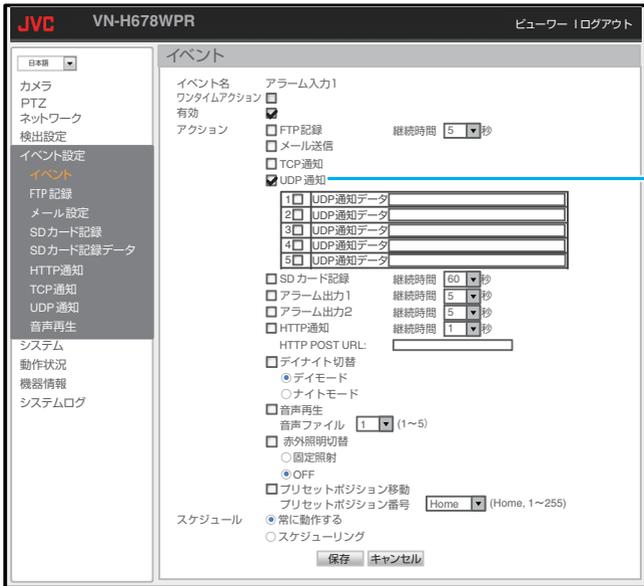
[設定値: ON、●OFF]

TCP 通知データ

TCP 通知で送るメッセージを記入します。

- 最大文字数は 127 文字までです。日本語のみの場合は 42 文字、半角英数のみの場合は 127 文字までです。

UDP 通知



① UDP 通知

チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとして UDP 通知を行います。

- イベントにネットワーク障害検出を選択した場合は設定できません。

1～5

チェックを入れた宛先に UDP 通知を行います。

- 各宛先の IP アドレスの設定は UDP 通知ページ(P.97)で行います。

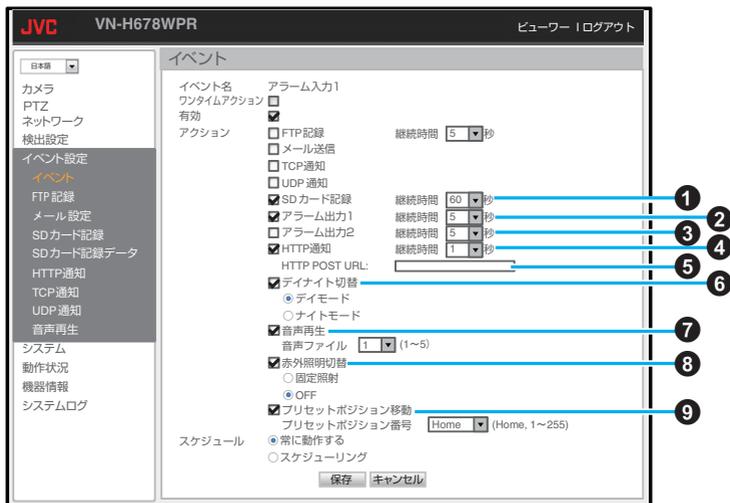
UDP 通知データ

- 最大文字数は 127 文字までです。日本語のみの場合は 42 文字、半角英数のみの場合は 127 文字までです。

UDP 通知で送るメッセージを記入します。

設定 (つづき)

アクション



設定値の ● は工場出荷の値です。

① SD カード記録

チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとしてSDカード記録を行います。

- イベントにSDカードエラーを選択した場合は設定できません。

継続時間

イベント発生時からSDカード記録を継続する時間を選択します。

[設定値: 5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、●60]秒

② アラーム出力1

チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとしてアラーム出力を行います。

継続時間

イベント発生時からアラーム出力を継続する時間を選択します。

[設定値: 0、●5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60]秒

③ アラーム出力2

チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとしてアラーム出力を行います。

継続時間

イベント発生時からアラーム出力を継続する時間を選択します。

[設定値: 0、●5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60]秒

④ HTTP 通知

チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとしてHTTP通知を行います。

継続時間

イベント発生時からHTTP通知を継続する時間を選択します。

[設定値: ●1、2、3、4、5]秒

⑤ HTTP POST URL

HTTP通知のサーバーへのPOST先を設定します。

- 半角英数文字で64文字まで入力できます。

⑥ デイナイト切替

チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとしてデイナイト切替を行います。

デイモード/ナイトモード

イベント発生時のイベントアクションで、デイモード/ナイトモードのどちらに切り替えるかを選択します。

[設定値: ●デイモード、ナイトモード]

⑦ 音声再生

チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとして音声再生を行います。

音声ファイル

- 音声ファイルの登録は、音声再生ページ (P.98)で行います。

[設定値: ●1、1~5]

⑧ 赤外照明切替

赤外照明はトリガ発生時、露光ページの赤外照明の設定を"固定照射"もしくは"OFF"に切り替えます。

[設定値: 固定照射、●OFF]

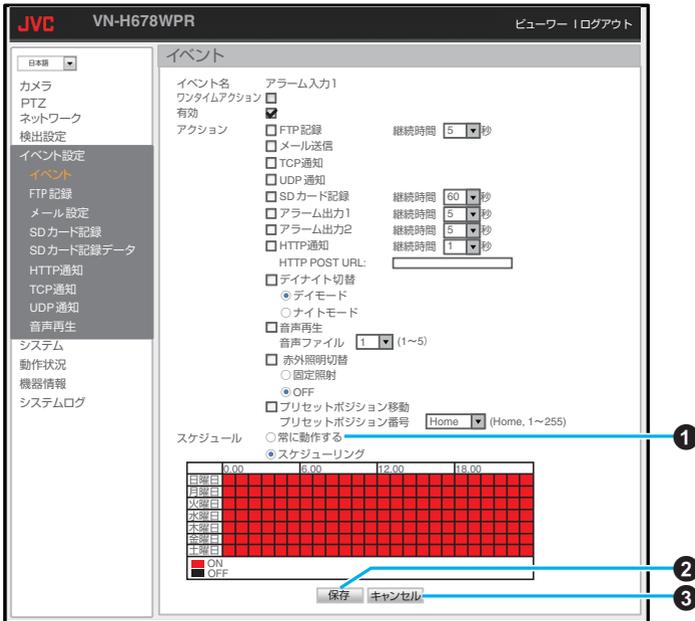
⑨ プリセットポジション移動

チェックを入れるとイベントが発生したときに、イベントアクションとして指定したプリセットポジションに移動します。

[設定値: ●Home、1~255]

設定 (つづき)

スケジュール



設定値の ● は工場出荷の値です。

① スケジュール

- "スケジューリング"をクリックすると表が表示されます。
初期状態は、すべての期間が有効になっていますので、必要に応じてマスをクリックして設定を変更してください。
[設定値: ● 常に動作する、スケジューリング]

② 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

③ キャンセル

選択した内容をすべてキャンセルして、最後に保存した状態に戻します。

メモ:

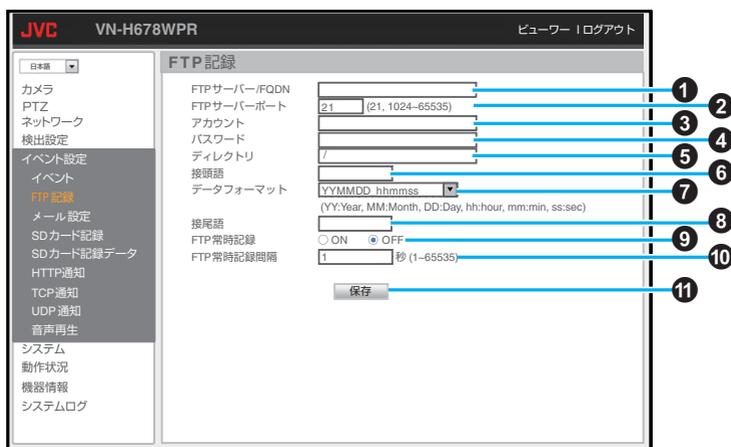
- 各イベントの編集画面で項目を設定、保存すると "イベント" のトップページの表に [✓] が表示されます。
- 設定の途中でトップページに戻りたい場合は、"キャンセル" をクリックします。
- メール送信または TCP 通知や HTTP 通知の JPEG 添付では、フレームレートや秒間の都合により、アクションが発生した時点よりも約 1 秒ずれた時刻の JPEG が添付されることがあります。

ご注意:

- イベントによるアクション実行中やアクション終了後 1 秒以内は、次のイベントを受け付けません。

FTP 記録

FTP の録画条件をあらかじめ設定しておくことで、FTP サーバーに映像を保存することができます。FTP 記録を使用するときは[カメラ]・[エンコード]の項でエンコーダー 4 のエンコードタイプを JPEG にしてください。(エンコーダー 4 のみ FTP 記録に使用できます。)



設定値の ● は工場出荷の値です。

① FTP サーバー/FQDN

記録先の FTP サーバーの IP アドレスまたは FQDN(フルドメイン)を設定します。
● 半角英数文字で 30 文字まで入力できます。

② FTP サーバーポート

記録先の FTP サーバーポートを選択します。
[設定値: ●21、1024～65535]

③ アカウント

FTP サーバーのアカウント名を設定します。
● 半角英数文字で 30 文字まで入力できます。

④ パスワード

FTP サーバーのパスワードを設定します。
● 半角英数文字で 30 文字まで入力できます。

⑤ ディレクトリ

FTP サーバー上の記録先フォルダーを設定します。

⑥ 接頭語

ファイル名の先頭に付ける文字列を設定します。

- 半角英数文字で 8 文字まで入力できます。

⑦ データフォーマット

データフォーマットを選択します。
● 記録するファイル名は、[接頭語 + データフォーマット + 接尾語]となります。

[設定値: ●YYYMMDD_hhmmss、
hh_mm_ss_MM_DD_YYYY、
MM_DD_hh_mm_ss_YY、
MM_DD_hh_mm_ss_YYYY、
YYYMMDDhhmmss、YYYYMMDDhhmmss]

⑧ 接尾語

ファイル名の語尾に付ける文字列を設定します。

- 半角英数文字で 8 文字まで入力できます。

設定 (つづき)

9 FTP 常時記録

ON:常に FTP サーバーに JPEG の記録を行います。

OFF:FTP サーバーへの常時記録を停止します。

- "OFF"の状態では"イベント"のページのイベント名を選び編集するときに"アクション"-"FTP 記録"にチェックを入れた場合に、FTP 記録を行います。
- FTP 常時記録の場合、ファイル名は[接頭語+データフォーマット+接尾語+_CONST]となり、最大 41 文字です。

[設定値:ON、●OFF]

10 FTP 常時記録間隔

FTP 常時記録時の JPEG 記録間隔を設定します。

[設定値:保存、1~65535]

11 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

メモ: _____

- FTP 記録や JPEG 添付を利用するためにはエンコーダー 4 を JPEG に設定してください。
 - FTP 記録では、1 秒間に 1 枚の JPEG 画像が記録されますが、記録されるタイミングや環境により 1 枚多く記録されたり、間隔が 2 秒になることがあります。
-

メール設定

メール送信するための設定を行います。

JPEG 添付を使用するときは[カメラ] - [エンコード]の項でエンコーダー 4 のエンコードタイプを JPEG にしてください。(エンコーダー 4 のみ JPEG 添付に使用できます。)



設定値の ● は工場出荷の値です。

① メールアドレスリスト

メールアドレス 1~5

メールの送付先アドレスを設定します。

- 半角英数文字で 64 文字まで入力できます。

② メール送信設定

メールアドレス

メール差出元アドレスを設定します。

- 半角英数文字で 64 文字まで入力できます。
- 工場出荷値は camera@example.com です。

SMTP サーバー

SMTP サーバーを設定します。

- 半角英数文字で 64 文字まで入力できます。

認証

SMTP の認証方式を選択します。

[設定値: ●AUTH LOGIN、AUTH SSL]

SMTP ポート

SMTP サーバーのポートを設定します。

[設定値: ●25、587、1024~65535]

認証

ON にすると SMTP サーバーへの接続認証を行います。

[設定値: ON、●OFF]

ログイン ID

認証時に使用する ID を設定します。

- 半角英数文字で 64 文字まで入力できます。

パスワード

認証時に使用するパスワードを設定します。

- 半角英数文字で 32 文字まで入力できます。

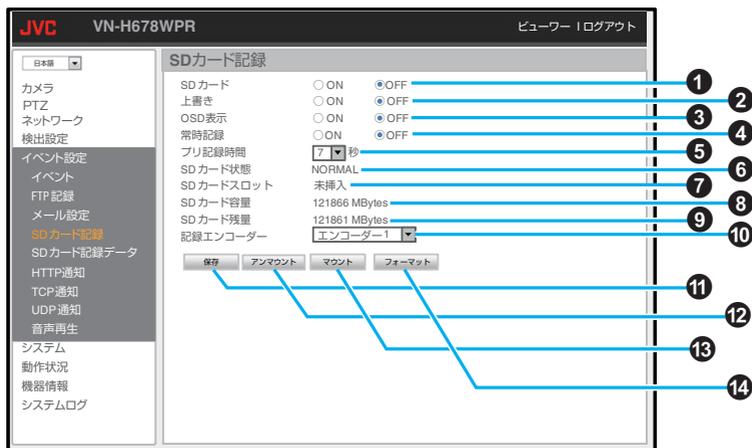
③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

設定 (つづき)

SD カード記録

H.264 設定時のみ、撮影した映像は 1 つのエンコーダーに限って SD カードに保存することができます。JPEG では記録できません。SD カードを挿入してから、この機能を設定してください。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① SD カード

ON: SD カードを使用します。
OFF: SD カードを使用しません。
[設定値: ON、●OFF]

② 上書き

ON: 上書きします。容量がなくなったら古い記録データから順に削除してループ記録を行います。
OFF: 上書きしません。容量がなくなったら記録は停止します。
[設定値: ON、●OFF]

③ OSD 表示

ON: [システム] - [システム情報] - [OSD 表示位置] - [イベント] (P.99) が指定されている場合、SD カードの状態をアイコンで表示します。

- **SD** (黒色): カードが無い(または認識できない)とき
- **SD** (青色): カードがある(ただし記録中ではない)とき
- **SD** (赤色): 記録中のとき
- **SD** (黄色): 記録中に何か問題が発生したとき

OFF: 表示しません。
[設定値: ON、●OFF]

④ 常時記録

ON:常にSDカードへ記録します。

OFF:常時記録を停止します。記録停止後も最長1分間は記録が続きます。

- "イベント"のページでイベント名を選び編集するときに"アクション"—"SDカード記録"にチェックを入れた場合に、SDカード記録を行います。

[設定値:ON、●OFF]

⑤ プリ記録時間

イベント発生前または常時記録開始前の映像を記録(プリ記録)する時間を設定します。設定した時間分だけ、常時記録の開始前とイベント発生によるイベントアクションでの記録開始前の映像が記録されます。

[設定値:1、2、3、4、5、6、●7]秒

⑥ SDカード状態

SDカードの動作状態を表示します。

- NORMAL:正常動作中
- WRITE ERROR:書き込みができない状態のとき
- OPEN ERROR:ファイルが開けない状態のとき

⑦ SDカードスロット

SDカードの挿入状態を表示します。

- 挿入
- 未挿入

⑧ SDカード容量

SDカードの総容量を表示します。

⑨ SDカード残量

SDカードの残量を表示します。

⑩ 記録エンコーダー

記録に用いるエンコーダーを選択します。

- 選択肢にはエンコードタイプがH.264のエンコーダーを表示します。H.264のエンコーダーが無いときは、設定することができません。

[設定値:●エンコーダー1、エンコーダー2、エンコーダー3、エンコーダー4]

⑪ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

⑫ アンマウント

SDカードをアンマウントします。

- SDカードをアンマウントしているとSDカードへの記録はできません。アンマウントを行うと、SDカード容量とSDカード残量が0MBytesになります。

⑬ マウント

- マウントを行うと、SDカード容量とSDカード残量に実際の容量が表示されます。

⑭ フォーマット

SDカードをクイックフォーマットします。

- SDカードは、必ず本機でクイックフォーマットしてから使用してください。
- クイックフォーマットを行うと、SDカードの状態がOFF(使用しない)になります。

メモ:

- より正確な時刻で記録するために、時刻サーバー(SNTPサーバー)のご使用をおすすめします。
- SDカード記録のSDカードがONになっているときにエンコード設定の変更を行うと、SDカードの記録設定がすべてOFFになります。
- 記録データには記録処理中のデータ(最新のデータ)も表示されますが、記録処理中のデータは、正しく保存や再生ができません。
- AUDIO IN端子にマイクが接続されて音声入出力(P.104)がONになっている場合は音声もSDカードに記録することができます。

設定 (つづき)

本機で使用可能な SD カードについて

- Class10 以上対応の microSDHC/SDXC カードで動作保証温度 85°C 以上のもの
- ファイルシステムが FAT32 のもの
- 上記条件を満たす SD カードすべての動作を保証するものではありません。
- 下記 SD カードは本機に接続して動作確認を行なっております。
 - JVC ケンウッド KNA-SD32A
 - Panasonic RP-SMGB32GJK
 - Panasonic RP-SMGB64GJK
 - 東芝 MU-F032GX
 - 東芝 MU-F064GX
 - 東芝 MU-F128GX
 - SanDisk SDSDQXP-032G-J35A
 - SanDisk SDSDQXP-064G-J35A
 - SanDisk SDSDQUPN-032G-J35A
 - SanDisk SDSDQUPN-064G-J35A
 - SanDisk SDSDQUPN-128G-J35A

※ 本機に非対応の SD カードを使用した場合、記録設定できても正常に記録できない場合があります。

ご注意:

- SD カードを取り出すときは、“SD カード記録”を“OFF”にし、本機の電源を切って取り出してください。

記録時間の目安

記録時間の目安については、下記の表をご参照ください。(H.264、CBR 設定時の記録時間の目安です。)

(単位:時間)

ビットレート	容量		
	32GB	64GB	128GB
128 Kbps	500	1000	2000
384 Kbps	166	333	666
512 Kbps	125	250	500
1024 Kbps	62	125	250
2048 Kbps	31	62	125

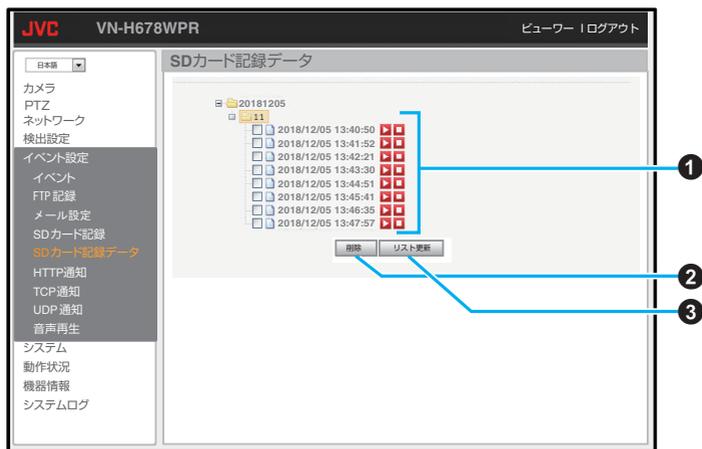
SD カード記録中の FTP サーバーからのファイル保存について

Internet Explorer で本機の FTP サーバーに接続すると、SD カード記録のファイルリストが表示されますので、対象のファイルを選択し、右クリックから「対象をファイルに保存」を選びパソコンに保存してください。

ファイルリストには記録処理中のファイル(最新のファイル)も表示されますが、記録処理中のファイルは、保存はできますが再生できません。新しいファイルの記録処理が始まると記録処理中だったファイルの処理が完了しますので、記録処理中のファイルを保存したい場合は、ファイルの処理が完了してからファイルの保存を行なってください。

SD カード記録データ

SD カードに記録されたデータの保存や再生ができます。



① 記録データリスト

記録データのリストが表示されます。

- 表示された記録データを左クリックすると、自動的に Windows Media Player が起動し再生します。また、音声も出ます。
- 表示された記録データを右クリックし、メニューから"対象をファイルに保存"で記録データのダウンロードができます。
- FTP アクセスしてダウンロードすることも可能です。

▶ (再生)

記録データを再生します。クリックすると小画面ビューワーが表示され、再生を開始します。

- 音声は出ません。

◻ (停止)

再生を停止します。

メモ： _____

- AVI ファイルを開くアプリケーションの関連付けの設定が Windows Media Player になっている必要があります。
- 他のアプリケーションが関連付けられている場合、設定されているアプリケーションで AVI ファイルを開こうとします。全てのアプリケーションで動作確認していませんので、Windows Media Player をおすすめします。

② 削除

チェックボックスで選択した記録データを削除します。

③ リスト更新

記録データリストを最新の状態に更新します。

設定 (つづき)

メモ: _____

- FTP クライアントから SD カードに記録されている記録データの確認やダウンロードをすることができます。
- FTP サーバーに接続するとき、初期状態では Internet Explorer のアドレスバーに `ftp://admin:jvc@192.168.0.2` と入力してください。入力すると、記録データのリストが表示されます。
- 記録日時を確認するには、ファイル名やフォルダー名を参照してください。記録データをダウンロードするとき、ダウンロードしたファイルのタイムスタンプが記録日時と異なる場合があります。実際の記録日時はファイル名で判断できますが、より明確に記録日時を判断したい場合は、映像上に OSD で日時表示して記録することをおすすめします。
- SD カード記録中に上書きが ON の場合、上書き実施時に古い記録ファイルを消去します。その際、記録日時フォルダの更新日時が記録ファイルを消去した時刻に更新されます。
下図は、Internet Explorer から FTP アクセスした場合の表示例です。

FTP ディレクトリ /video/
20180501//192.168.0.2

エクスプローラーでこの FTP サイトを表示するには、Alt キーを押して、表示をクリックして、**エクスプローラーで FTP サイトを開く**をクリックして……

[1 階層上のディレクトリへ](#)

05/01/2018 09:13 午後	ディレクトリ	12
05/01/2018 02:16 午後	ディレクトリ	14
05/01/2018 03:52 午後	ディレクトリ	15

記録日時フォルダの更新時刻は古い記録ファイルを削除した時刻になります。

HTTP 通知

通知先の HTTP サーバーの設定をします。

JPEG 添付を使用するときは[カメラ] - [エンコード]の項でエンコーダー 4 のエンコードタイプを JPEG にしてください。(エンコーダー 4 のみ JPEG 添付に使用できます。)



設定値の ● は工場出荷の値です。

① HTTP POST サーバー

POST 先の HTTP サーバーを設定します。

- 半角英数文字で 30 文字まで入力できます。

② ポート

HTTP サーバーのポートを設定します。

- [設定値: ●80, 1~65535]

③ アカウント

HTTP サーバーへの接続に使用するアカウント名を設定します。

- 半角英数文字で 30 文字まで入力できます。

④ パスワード

HTTP サーバーへの接続に使用するパスワードを設定します。

- 半角英数文字で 30 文字まで入力できます。

⑤ JPEG ファイル添付

イベント発生時の JPEG を添付するかしないかを選択します。

ON: 添付します。

OFF: 添付しません。

[設定値: ON, ●OFF]

⑥ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

設定 (つづき)

TCP 通知

[イベント]－[アクション]－[TCP 通知]で[TCP 通知データ]に入力された文字列を TCP IP アドレス/FQDN および TCP ポートで指定された送信先へ TCP で送信します。

The screenshot shows the 'TCP 通知' (TCP Notification) configuration page for a JVC VN-H678WPR device. The page is divided into a left sidebar and a main content area. The sidebar contains various system settings like 'カメラ' (Camera), 'FTZ', 'ネットワーク' (Network), '検出設定' (Detection Settings), 'イベント設定' (Event Settings), 'イベント' (Event), 'FTP記録' (FTP Recording), 'メール設定' (Email Settings), 'SDカード記録' (SD Card Recording), 'SDカード記録データ' (SD Card Recording Data), 'HTTP通知' (HTTP Notification), 'TCP通知' (TCP Notification), 'UDP通知' (UDP Notification), '音声再生' (Audio Playback), 'システム' (System), '動作状況' (Operation Status), '機器情報' (Device Information), and 'システムログ' (System Log). The main content area is titled 'TCP 通知' and contains five numbered entries (No. 1 to No. 5). Each entry has two input fields: 'TCP IP アドレス / FQDN' and 'TCP ポート'. The 'TCP ポート' field has a placeholder '(1-65535)'. At the bottom of the main content area, there is a '保存' (Save) button. Red circles with numbers 1, 2, and 3, along with arrows, point to the 'TCP IP アドレス / FQDN' field of No. 1, the 'TCP ポート' field of No. 1, and the '保存' button, respectively.

No.1～No.5 共通

通知先を 5 件まで設定できます。

① TCP IP アドレス/FQDN

TCP 通知の通知先を設定します。

② TCP ポート

通知先の TCP ポートを設定します。

③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

UDP 通知

[イベント]－[アクション]－[UDP 通知]で[UDP 通知データ]に入力された文字列を UDP IP アドレス/FQDN および UDP ポートで指定された送信先へ UDP で送信します。

The screenshot shows the 'UDP 通知' (UDP Notification) configuration page for a JVC VN-H678WPR device. The page is divided into a left sidebar and a main content area. The sidebar contains a language dropdown set to '日本語' and a list of menu items: カメラ, PTZ, ネットワーク, 検出設定, イベント設定, イベント, FTP 記録, メール設定, SDカード記録, SDカード記録データ, HTTP通知, TCP通知, **UDP 通知**, 音声再生, システム, 動作状況, 機器情報, システムログ. The main content area is titled 'UDP 通知' and contains five numbered entries (No.1 to No.5). Each entry has two input fields: 'UDP IPアドレス / FQDN' and 'UDPポート'. The 'UDPポート' field has a placeholder '(1-65535)'. A '保存' (Save) button is located at the bottom of the main content area. Three red callout boxes with numbers 1, 2, and 3 are overlaid on the image. Callout 1 points to the 'UDP IPアドレス / FQDN' field of No.1. Callout 2 points to the 'UDPポート' field of No.1. Callout 3 points to the '保存' button.

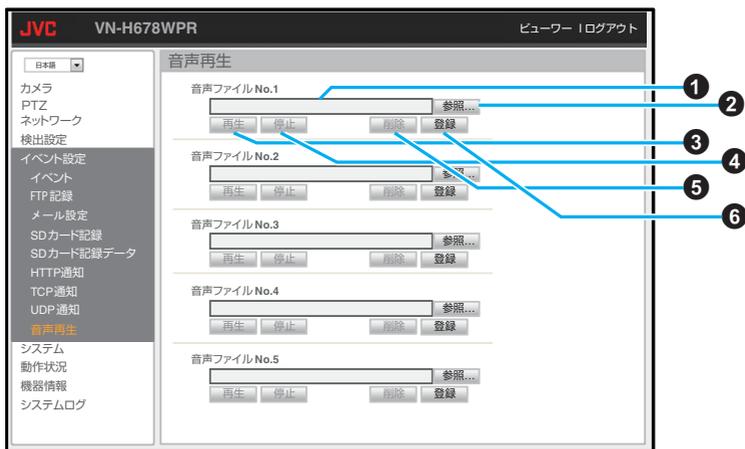
No.1～No.5 共通
通知先を 5 件まで設定できます。

- 1 UDP IP アドレス/FQDN**
UDP 通知の通知先を設定します。
- 2 UDP ポート**
通知先の UDP ポートを設定します。
- 3 保存**
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

設定 (つづき)

音声再生

カメラに音声ファイルを登録したり、登録した音声ファイルを再生、削除することができます。



音声ファイル No.1～音声ファイル No.5

① ファイルの情報表示

音声ファイル名とファイルの再生時間を表示します。

- 音声ファイル登録時のみ表示されます。

② 参照...

クリックするとファイルを選択する画面が表示されるので、そこから音声ファイルを選択します。

③ 再生

クリックすると登録してある音声ファイルをテスト再生します。

- 音声ファイル登録時のみ有効です。

④ 停止

テスト再生中にクリックすると再生を停止します。

- 音声ファイル登録時のみ有効です。

⑤ 削除

クリックすると登録済のファイルを削除します。

⑥ 登録

"参照"で選択した音声ファイルを登録します。

音声ファイルの仕様は下記のとおりです。

ファイルフォーマット	WAV
符号化方式	リニア PCM
サンプリング周波数	8 kHz
量子化ビット	16bit
チャンネル	モノラル
最大サイズ	10 秒(1 ファイルが 10 秒以下まで)

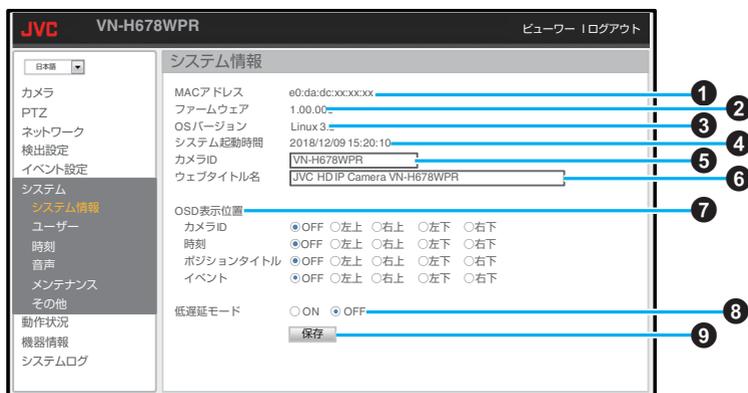
メモ:

- 音声出力と音声再生が重なった場合、本機は音声出力を優先して動作します。

システム

システム情報

システムに関する設定、OSD 表示位置の設定、配信遅延に関する設定を行います。



設定値の●は工場出荷の値です。

- ① **MAC アドレス**
MAC アドレスが表示されます。
- ② **ファームウェア**
本機のソフトウェアバージョンが表示されます。
- ③ **OS バージョン**
本機の OS 名が表示されます。
- ④ **システム起動時間**
本機のシステム起動時刻が表示されます。
- ⑤ **カメラ ID**
カメラ ID を設定します。
 - 36 文字まで入力できます。(日本語も入力できます。)
 - 工場設定値は本機のモデル名(VN-H678WPR)です。

- ⑥ **ウェブタイトル名**
ウェブタイトル名を設定します。
 - 48 文字まで入力できます。(日本語も入力できます。)

設定 (つづき)

⑦ OSD 表示位置(OSD:On-Screen Display)

カメラ ID

カメラ ID の表示位置を設定します。

OFF:非表示

左上:画面の左上に表示

右上:画面の右上に表示

左下:画面の左下に表示

右下:画面の右下に表示

[設定値: ●OFF、左上、右上、左下、右下]

時刻

時刻の表示位置を設定します。

OFF:非表示

左上:画面の左上に表示

右上:画面の右上に表示

左下:画面の左下に表示

右下:画面の右下に表示

[設定値: ●OFF、左上、右上、左下、右下]

ポジションタイトル

ポジションタイトルの表示位置を設定します。

OFF:非表示

左上:画面の左上に表示

右上:画面の右上に表示

左下:画面の左下に表示

右下:画面の右下に表示

[設定値: ●OFF、左上、右上、左下、右下]

イベント

イベントが発生したときに通知する OSD の表示位置を設定します。

OFF:非表示

左上:画面の左上に表示

右上:画面の右上に表示

左下:画面の左下に表示

右下:画面の右下に表示

[設定値: ●OFF、左上、右上、左下、右下]

メモ:

- モニター出力の映像に OSD は表示されません。
 - 画面上で表示可能な文字数は下記のとおりです。
1920x1080 28 文字、1280x960 24 文字、
1280x720 24 文字、640x480 24 文字、
640x360 24 文字、320x240 18 文字
 - 画面上では半角文字と全角文字が同じ幅になります。
そのため、上記の文字数も半角・全角共通の文字数です。
-

⑧ 低遅延モード

ON:リアルタイムで配信し、配信遅延を少なくします。

OFF:映像の負荷によって配信時に本機内で最大 2 フレーム分相当のバッファリングを行い、配信のリアルタイム性より配信の安定性を重視します。ビューワーを表示した状態で低遅延モードを切り替えるときは設定の更新のためビューワーをリロードしてください。

[設定値: ON、●OFF]

⑨ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ご注意:

- カメラ ID/時刻/ポジションタイトル/イベントは同じ位置には設定できません。
-

ユーザー

本機の利用者の登録や登録内容の変更、削除を設定します。



設定値の●は工場出荷の値です。

① ログオン省略モード

ONにするとログオン認証なしで本機にアクセスすることができます。

[設定値: ON、●OFF]

② ユーザー

ユーザーの一覧が表示されます。

admin:すべての操作および設定変更が可能です。

operator:設定ページへのアクセスができなくなります。

user:設定ページへのアクセスができなくなり、ビューワー上のアイコンがすべて非表示になります。

[設定値: ●admin, operator, user]

ユーザー登録

クリックすると新規ユーザーの追加画面へ移動します。



ユーザーの編集

クリックすると"ユーザー"で選択したユーザーの編集を行う画面へ移動します。



ユーザーの削除

クリックすると"ユーザー"で選択したユーザーの削除を行います。

- admin 権限の初期ユーザー(ユーザー名:admin)は削除できません。

設定 (つづき)

ユーザー登録/ユーザーの編集共通

The screenshot shows a web form for user registration or editing. At the top, there is a section for 'ログイン省略モード' (Login omission mode) with radio buttons for 'ON' and 'OFF', where 'OFF' is selected. Below this is a dashed line separator. The main form area contains four input fields: 'ユーザー名' (User name), '新しいパスワード' (New password), 'パスワード再入力' (Password re-entry), and 'アクセス権' (Access rights). The 'アクセス権' field has three radio button options: 'admin' (selected), 'operator', and 'user'. At the bottom of the form are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel). Six blue callout lines with numbered circles (1-6) point to the following elements: 1. User name input field; 2. New password input field; 3. Password re-entry input field; 4. Access rights radio buttons; 5. Save button; 6. Cancel button.

① ユーザー名

ユーザー名を設定します。10 ユーザーまで設定できます。

- 半角英数文字で 36 文字まで入力できます。

② 新しいパスワード

パスワードを設定します。

- 半角英数文字で 36 文字まで入力できます。

③ パスワード再入力

上記のパスワードを入力します。

④ アクセス権

ユーザーに付加するアクセス権を選択します。

[設定値: ●admin, operator, user]

⑤ 保存

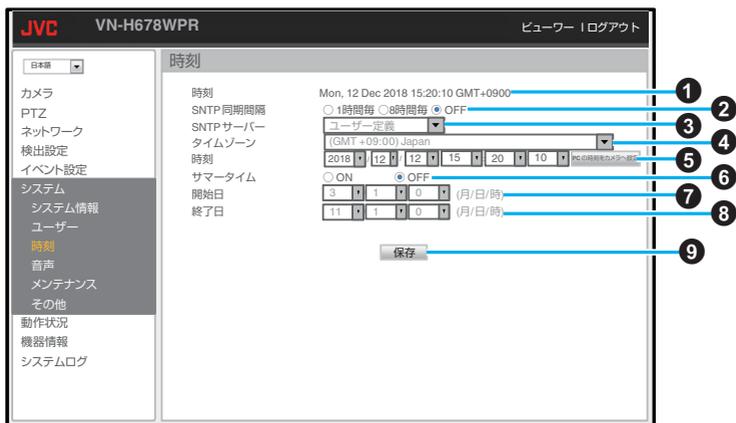
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

⑥ キャンセル

選択した内容をすべてキャンセルします。

時刻

時刻の設定をします。



設定値の●は工場出荷の値です。

① 時刻

現在の時刻とタイムゾーンを表示します。

② SNTP 同期間隔

時刻合わせをする間隔を設定します。OFF は手動での設定になります。

[設定値: 1 時間毎、8 時間毎、●OFF]

③ SNTP サーバー

SNTP サーバーを設定します。

- SNTP 同期間隔が OFF の場合はグレーアウトして選択できません。
- ユーザー定義を選択すると任意の SNTP サーバーを設定できます。

[設定値: time.nist.gov, asia.pool.ntp.org, time.nuri.net、● ユーザー定義]

④ タイムゾーン

タイムゾーンを設定します。

- SNTP 同期間隔が OFF の場合はグレーアウトして選択できません。

⑤ 時刻

手動で時刻を設定します。

- SNTP 同期間隔が OFF の場合のみ設定できます。

PC の時刻をカメラに設定

クリックするとパソコンから時刻を取得し同期します。

- 取得した時刻は、保存ボタンを押さなくても即時反映されます。
- 保存ボタンを押すと、手動の時刻設定で日時が再設定されます。

⑥ サマータイム

ON: サマータイムを適用します。

OFF: サマータイムを適用せず、通常の時刻のままにします。

- SNTP 同期間隔が OFF の場合は、グレーアウトして選択できません。

[設定値: ON、●OFF]

⑦ 開始日

サマータイムの適用開始日を設定します。

- SNTP 同期間隔が OFF の場合は、グレーアウトして選択できません。

⑧ 終了日

サマータイムの適用終了日を設定します。

- SNTP 同期間隔が OFF の場合は、グレーアウトして選択できません。

⑨ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

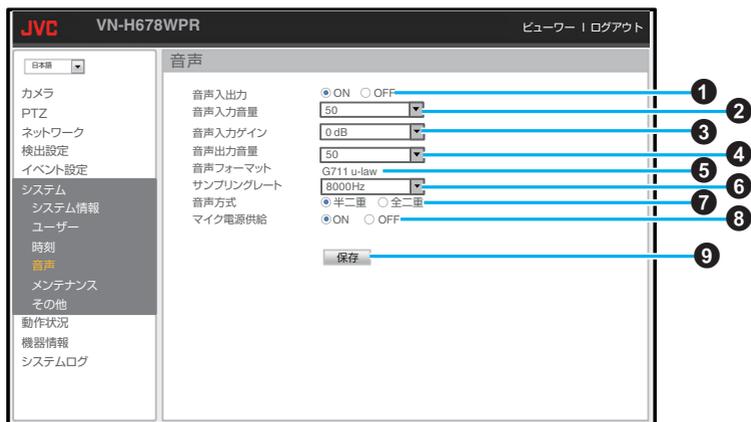
ご注意:

- 時刻が初期化された場合は、時刻の設定を行なってください。
- 時刻を設定しなかった場合や補正を行わない場合、ログ、SD カード記録およびメール送信の時刻情報が正しく表示されません。

設定(つづき)

音声

音声の入出力の有効無効や音量、入出力方法など音声に関する設定をします。



設定値の●は工場出荷の値です。

① 音声入出力

ON: 音声の入出力を有効にします。
OFF: 音声の入出力を無効にします。
[設定値: ●ON、OFF]

② 音声入力音量

音声入力の音量を設定します。数字が大きくなるほど、音量が上がります。
[設定値: ●50、1～100]

③ 音声入力ゲイン

音声入力のゲインを設定します。
[設定値: ●0dB、+20dB、+26dB、+32dB]

④ 音声出力音量

音声出力の音量を設定します。数字が大きくなるほど、音量が上がります。
[設定値: ●50、1～100]

⑤ 音声フォーマット

音声フォーマットが表示されます。

⑥ サンプリングレート

サンプリングレートを設定します。
[設定値: ●8000 Hz、44100 Hz、16000 Hz、32000 Hz]

⑦ 音声方式

音声の通信方式を設定します。

- 半二重に設定した場合、パソコンから本機へ音声を送信している間は、本機からパソコンへ送信される音声が消されます。
- 全二重に設定した場合、本機からパソコンに送信される音声を聞きながら、パソコンから本機に音声を送信できます。

[設定値: ●半二重、全二重]

⑧ マイク電源供給

ON: AUDIO IN に接続したマイクなどに電源供給します。
OFF: 電源供給しません。
[設定値: ●ON、OFF]

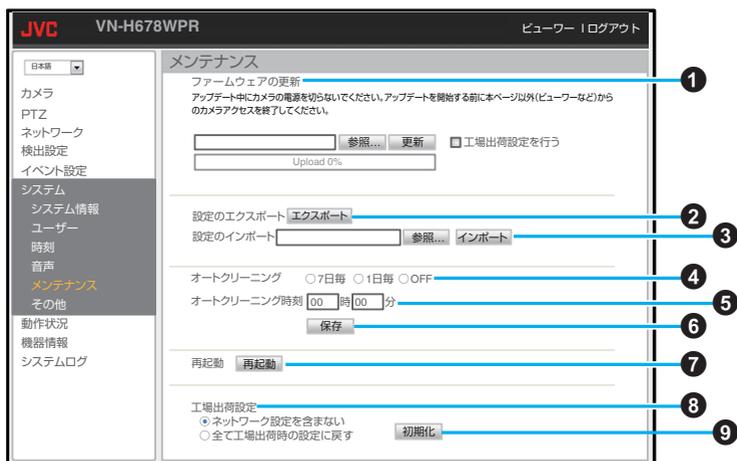
⑨ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。
音声入出力の ON/OFF を切り替えて設定を保存すると本機は再起動を行います。

設定 (つづき)

メンテナンス

ファームウェアのアップデートや再起動などをします。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① ファームウェアの更新 (参照)

クリックして、アップデートファイルを選択します。

更新

クリックするとアップデートを開始します。

- ファイルが参照されていない場合は、エラーポップアップを表示します。

工場出荷設定を伴う

チェックを付けてから更新ボタンをクリックしてアップデートを行うと、アップデートとともに工場出荷設定への設定値初期化も行います。

② 設定のエクスポート

クリックすると設定ファイルのダウンロードを行います。

- ダウンロード先を指定する画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

③ 設定のインポート (参照)

クリックして、インポートする設定ファイルを選択します。

インポート

クリックすると設定ファイルをインポートします。

- ファイルが参照されていない場合は、エラーポップアップを表示します。

④ オートクリーニング

指定した間隔で電源や信号の伝達を行う部品のクリーニングを行います。クリーニングが終わった後は、クリーニングを行う前のパンとチルト位置に戻ります。

[設定値: ●7日毎、1日毎、OFF]

⑤ オートクリーニング時刻

オートクリーニングを実行する時刻を設定します。

[設定値: ●02:00、0~23:0~59]

⑥ 保存

オートクリーニングの設定した内容を保存します。

7 再起動

クリックすると本機を再起動します。

8 工場出荷設定

ネットワーク設定を除外して工場出荷値に戻すか、すべてを工場出荷値に戻すかを選択します。

ネットワーク設定は下記のページです。

- ネットワークページ(P.60)
- ネットワーク(IPv6)ページ(P.62)
- HTTP/RTSP サービスページ(P.63)
- マルチキャストページ(P.65)
- DDNS ページ(P.68)
- ユーザー名 (P.102)
- パスワード (P.102)
- アクセス権 (P.102)

[設定値: ● ネットワーク設定を含まない、全て工場出荷時の設定に戻す]

9 初期化

工場出荷時の設定に戻します。

- 現在時刻は初期化されません。

ご注意:

- ファームウェアアップデート後、最初にビューワーを表示したとき、すでにインストール済みである古いバージョンの **ActiveX** を削除し **ActiveX** の更新をするため、パソコンの再起動が必要となることがあります。メッセージに従い、パソコンを再起動してください。
 - [設定のエクスポート]よりエクスポートした設定ファイルは、本機専用のファイルです。設定ファイルは各モデルで異なります。他のモデルにインポートしないでください。また、他のモデルよりエクスポートした設定ファイルを、本機にインポートしないでください。
 - エクスポートしたファイルは、エクスポート時のデフォルトファイル名のままインポートしてください。ファイル名を変更すると、インポートすることができません。
 - インポートの機能において、下記の項目はインポートされません。
 - ネットワークページのすべての設定(P.60)
 - ネットワーク(IPv6)ページのすべての設定(P.62)
 - HTTP/RTSP サービスページの HTTP ポートと RTSP ポートの設定(P.63)
 - DDNS ページのすべての設定(P.68)
 - 音声再生ページのすべての設定(P.98)
 - ユーザーページのログオン省略モードの設定を除くすべての設定(P.101)
 - システムログページのすべての情報(P.111)
 - シリアルナンバー/MAC アドレスの情報
-

設定 (つづき)

| その他

ソフトウェアライセンス許諾、ソフトウェアに関する重要なお知らせや本機に含まれるフリーオープンソースコードソフトウェア(FOSS)の情報が表示されます。

The screenshot shows the settings interface for a JVC VN-H678WPR camera. The top bar displays the JVC logo, the model number 'VN-H678WPR', and the user name 'ビューワー | ログアウト'. A language dropdown menu is set to '日本語'. The left sidebar contains various settings categories: カメラ, PTZ, ネットワーク, 検出設定, イベント設定, システム (highlighted), システム情報, ユーザー, 時刻, 音声, メンテナンス, その他 (highlighted), 動作状況, 機器情報, システムログ. The main content area is titled 'その他' and contains the following sections:

- SOFTWARE LICENCE AGREEMENT**
The software embedded in the Product (hereinafter the "Licensed Software") provided by JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation is copyrighted to or sublicensable by JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation, and this Agreement provides for the terms and conditions which Users shall follow in order to use the Licensed Software.
upon good-faith consultation between JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation and the User.
3. JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation and the User hereby agree that this Agreement is governed by the laws of Japan, and any dispute arising from, and relating to the rights and obligations under, this Agreement shall be submitted to the exclusive jurisdiction of the Tokyo District Court for its first instance
- Important Notice concerning the Software**
Requesting your GPL/LGPL Source Code
* This device comes with GNU General Public License (GPL) or GNU Lesser General Public License (LGPL) software. You have a right to obtain, modify and redistribute the source codes of this software.
- LICENSED TO PROVIDE A VIDEO, NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM**
- Free Open Source Software**
This product includes software licensed under the GNU General Public License and other open source licenses.

License (Version)	Software Name (Version)	Modification
GNU GPLv2	Linux kernel	Modified
GNU GPLv2	Busybox-1.21.1	Modified
GNU LGPLv2.1	ALSA-1.1.2	Original

動作状況

現在、本機で配信しているストリームのビットレートや配信先を表示します。

動作状況	
総配信ビットレート	Total: 2048 kbps TCP: 2048 kbps UDP: 0 kbps
配信先	Send Count: 2 Send to H.264 High: 192.168.0.222 Send to H.264 High: 192.168.0.201

① 総配信ビットレート

Total: 本機で配信しているストリームの合計ビットレートを表示します。

TCP: TCP で配信しているストリームの合計ビットレートを表示します。

UDP: UDP で配信しているストリームの合計ビットレートを表示します。

② 配信先

Send Count: 配信本数を表示します。

あわせて、**Send to H.264 High : 192.168.0.222** など配信先の IP アドレスとエンコードタイプを表示します。

メモ:

- このページは、1 分間隔で自動的に最新の情報に更新されます。
- JVC API を使用して音声を配信している場合、配信先の **Send Count** として含まれるので映像とは別にカウントされます。その場合、音声は **H.264** または **JPEG** として表示されます。JVC API は弊社周辺機器などで使用する通信コマンドです。詳細については担当の営業にお問い合わせください。

設定 (つづき)

機器情報

現在の各設定の設定値を表示します。

The screenshot shows the JVC VN-H678WPR web interface. The top bar includes the JVC logo, the model number 'VN-H678WPR', and the user name 'ビューワー' with a 'ログアウト' button. A language dropdown menu is set to '日本語'. The left sidebar contains a menu with items: 'カメラ', 'PTZ', 'ネットワーク', '検出設定', 'イベント設定', 'システム', '動作状況', '機器情報' (highlighted), and 'システムログ'. The main content area is titled '機器情報' and displays the following settings:

エンコード	
H.264 プロファイル	High
エンコーダー2	OFF
エンコーダー3/モニター出力	OFF(モニター出力ON)
エンコーダー1	
エンコードタイプ	H.264
フレームサイズ	1920x1080
フレームレート	30
Iフレーム間隔	30
ビットレート制御	CBR
ビットレート	4096 Kbps
RTSP URL	rtsp://192.168.0.2/ONVIF/Streaming/channels/0
エンコーダー2	使用停止中
エンコーダー3	モニター出力使用中のため、使用できません。
エンコーダー4	
エンコードタイプ	H.264
フレームサイズ	640x360
フレームレート	30
Iフレーム間隔	30

システムログ

ログに関する情報を表示します。

日本語

カメラ
PTZ
ネットワーク
検出設定
イベント設定
システム
動作状況
機器情報
システムログ

システムログ

ログページ 1

1.	192.168.0.160	admin	2018/12/12 11:36:16	USER LOGIN
2.	192.168.0.160	admin	2018/12/12 11:32:24	STREAM LOGOUT
3.	192.168.0.160	admin	2018/12/12 10:23:19	IRCUT Auto DAY
4.	192.168.0.160	admin	2018/12/12 10:21:17	IRCUT Auto NIGHT
5.	192.168.0.160	admin	2018/12/12 10:21:16	STREAM LOGOUT
6.	192.168.0.160	admin	2018/12/12 10:17:56	USER LOGIN
7.	192.168.0.160	admin	2018/12/12 10:17:55	IRCUT Auto DAY
8.	192.168.0.160	admin	2018/12/12 10:16:02	IRCUT Auto NIGHT
9.	192.168.0.160	admin	2018/12/12 08:15:44	STREAM LOGOUT
10.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 18:05:49	USER LOGIN
11.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 15:53:11	STREAM LOGOUT
12.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 15:24:15	USER LOGIN
13.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 15:20:26	STREAM LOGOUT
14.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 15:17:15	USER LOGIN
15.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 15:15:44	STREAM LOGOUT
16.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 15:15:43	USER LOGIN
17.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 15:13:19	STREAM LOGOUT
18.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 15:09:45	USER LOGIN
19.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 15:03:11	STREAM LOGOUT
20.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 15:03:09	USER LOGIN
21.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 14:55:21	STREAM LOGOUT
22.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 14:55:01	USER LOGIN
23.	192.168.0.130	admin	2018/12/11 14:49:41	STREAM LOGOUT
24.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 14:49:39	STREAM LOGOUT
25.	192.168.0.160	admin	2018/12/11 14:49:33	USER LOGIN

ログのダウンロード

① ログページ

ログ表示のページの切り替えを行います。80ページまで表示できます。

Number(表示画面左側の数字)

ログ情報の連番で、2000 ログまで表示できます。

ソース側の IP アドレス(表示画面では「192.168.0.160」など)

ソース側の IP アドレスを表示します。

ユーザー情報(表示画面では admin)

ユーザーのアクセス権を表示します。

時刻(表示画面では「2018/12/12 11:36:16」など)

ログの時刻を表示します。

動作(表示画面では STREAM LOGOUT など)

アクション・事柄を表示します。

② ログのダウンロード

クリックするとログをテキスト形式でまとめてダウンロードします。

その他

こんなときは

症状	原因と対応
PoE 給電機器で電源供給しても、電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● PoE++ (IEEE802.3bt Draft2.0) 対応の給電機器とカテゴリ 5e 以上/100m 以下の LAN ケーブルで接続していますか？ ● PoE 給電機器 (ハブなど) によっては、供給できるトータル電力の制限を超える台数の PoE 端末機器を接続すると、電源を供給しないものがあります。PoE 給電機器の取扱説明書をご覧ください。
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● クライアントパソコンが HTTP で本機へアクセスする場合のポート番号の指定は合っていますか？ (ポート番号が間違っている場合は、ビューワーの各種メニューは表示されますが、映像は表示されずに“接続に失敗しました”と表示されます。) ● Internet Explorer を使用していますか？ ビューワーの HTTP ポートの値に、本機のプロトコルページの HTTP サーバーポートと同じ値を指定してください。 ● Internet Explorer を使用してください。本機は Internet Explorer でのみ動作します。
画面の一部が見えなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● Internet Explorer の拡大倍率を 100% に設定してください。 ● Internet Explorer を終了し、再度 Internet Explorer を起動してください。
映像がボケてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ● 明るいところでアイリス制御がオートになっているとフォーカスが合わせづらくなります。アイリス制御を OFF にするとフォーカスは合わせやすくなりますが白飛びする恐れがありますので、シャッタースピードにて映像の調整を行なってください。

症状	原因と対応
映像表示が滑らかではない	<ul style="list-style-type: none"> ● CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、本機からの映像が滑らかに見えない場合があります。また、SD カードの記録中は、配信能力が低下する場合があります。 ビューワーの [設定] - [カメラ] - [エンコード] より [フレームレート]、[ビットレート] もしくは [画質] を下げて映像を確認してください。 または、ビューワーの [設定] - [システム] - [システム情報] - [低遅延モード] を OFF にして映像を確認してください。 ● マルチディスプレイ環境でお使いの場合に、映像が滑らかに見えない場合があります。このようなときは、シングルディスプレイでご使用ください。
microSD カードが入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● microSD カードの向きを確認してください。
SD カードに記録した映像のフレームレートが設定より少ない、または変動する	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子感度アップ機能がはたらくと、感度を上げるために SD カードに記録される映像のフレームレートが減少します。そのため、再生コマ数が少なくなったり、変動することがあります。 [設定] - [カメラ] - [露光設定] ページで、[電子感度アップ] を低い倍率に設定してください。
本機の IP アドレスがわからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場出荷時から変更していない場合、IP アドレスは 192.168.0.2、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。 ● [IP 設定] が“DHCP” に設定されており、DHCP サーバーが存在しない LAN で起動した場合は、工場出荷時の IP アドレスで起動します。 ● 同じ LAN に設定されているパソコンからであれば、“JVC VN 検索ツール” を使用して検索してください。

症状	原因と対応
本機の設定ページを閲覧できない	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer の設定を確認してください。また、プロキシサーバーを使用する場合は、Internet Explorer のプロキシサーバーの設定を行なってください。
ビューワーをインストールできない / ビューワーを起動すると警告メッセージが出る / 映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer の設定を確認してください。ビューワーは ActiveX というソフトウェアコンポーネントで構成されています。初めてビューワーを使うときに ActiveX がインストールされますが、アンチウイルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールができない場合があります。そのような場合にはアンチウイルスソフトの設定を変更してからビューワーをインストールしてください。
設定に対して、表示される映像のビットレートが低い	<ul style="list-style-type: none"> [フレームレート]によっては、設定したビットレートを大きく下回る場合があります。
3次元ノイズリダクションを使用すると残像が生じる	<ul style="list-style-type: none"> 3次元ノイズリダクション使用時は、原理上、動きのある被写体で残像が生じることがありますが、故障ではありません。
外部マイク音声がかえらない	<ul style="list-style-type: none"> マイクが AUDIO IN 端子に接続されていることを確認してください。 音声入出力の設定が OFF になっていませんか？ ON にしてください。(P.104)

症状	原因と対応
昼間なのに映像が白黒になっている	<ul style="list-style-type: none"> デナイト切り替え設定がナイトモードになっている、または露光設定のカラーモードが白黒になっている場合に映像が白黒になります。撮影環境に合わせて正しく設定してください。 本機の可視光センサーに光が当たらない環境になると、デイモード用の設定に切り替わりません。
ホワイトバランスを AWC(MANUAL)でうまく調整できない	<ul style="list-style-type: none"> OnePushAWC での調整範囲のほうが手動調整範囲よりも広いため、色味の強い特殊光源や被写体での撮影にて OnePushAWC での合わせこみを行なったあとは、手動での微調整を行うと 1 段階以上の変化が起こる場合があります。色味の強い特殊光源や被写体での撮影ではホワイトバランスの微調整は行わないでください。
ビューワーの静止画保存アイコン(📷)を押したときや、録画アイコン(📹)を押したときに、ファイルがパソコンに保存されない	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer を管理者として実行してください。下記の操作にて実行できます。 <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer を右クリックする [管理者として実行] を選択する

その他 (つづき)

症状	原因と対応
TCP/UDP によるアラーム通知をパソコンで受信できない	<ul style="list-style-type: none">• Windows のファイアウォールによってポートがブロックされている場合があります。 使用するパソコンの Windows 環境のファイアウォールに対しては、下記操作を実行してください。 <ol style="list-style-type: none">① [コントロールパネル]を表示する② [システムとセキュリティ]を開く③ [Windows ファイアウォール]の[ファイアウォールの状態の確認]を開く④ [詳細設定]メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則]を選択する⑤ [新規の受信の規則ウィザード]で[規則の種類]の“ポート”を選択する⑥ [プロトコルおよびポート]で“特定のローカルポート”にポート番号を入力する⑦ [操作]で“接続を許可する”を選択する⑧ [プロファイル]で適用条件を選択する⑨ [名前]で“名前”に任意の文字列で登録する⑩ [完了]をクリックし、設定を終了する <ul style="list-style-type: none">• 使用するネットワークネットワークに設けられたファイアウォールや上記の操作で問題を解決できない場合には、ネットワーク管理者または設置業者に相談してください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容で確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容によって、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望に応じて有料にて修理いたします。

消耗部品について

下表の部品は消耗部品であり、寿命時間や回数を目安に交換が必要です。寿命時間は目安であり、使用環境や使用条件によって異なります。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

消耗部品	寿命の目安
カメラユニット ズーム動作 フォーカス動作	約 200 万動作 約 400 万動作
スリップリング	約 400 万動作
レンズカバー/ガラス面の 親水コート	寿命は設置環境により 異なります

サービス窓口

- 下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- 業務用修理窓口(045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

品名	: 屋外 HD ネットワークコンビ ネーションカメラ
型名	: VN-H678WPR
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的 に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

その他 (つづき)

仕様

カメラ部

撮像デバイス : 1/2.86 型 CMOS
有効画素数 : 235 万画素、1944 (H) × 1213 (V)
撮像面積 : 5.28 mm (H) × 2.97 mm (V)
カラー撮像方式 : 単板 原色 ローリングシャッター方式
走査方式 : プロGRESSIVE スキャン
最低被写体照度 : カラー: 0.1 lx (F1.6, 50%出力, AGC HIGH, 1/60, 電子感度アップ×2, マニュアルフォーカス)
白黒: 0.05 lx (F1.6, 50%出力, AGC HIGH, 1/60, 電子感度アップ×2, 赤外照明 OFF, マニュアルフォーカス)
ホワイトバランス: ATW-WIDE, ATW-NARROW, ATW-FULL, AWC(MANUAL)
AGC : 有り (MID, HIGH, OFF)
電子シャッター : オート: 最大・最小シャッター速度を設定
マニュアル: 1/60~1/30000, フリッカレレス
電子感度アップ : 可能 (OFF, x2, x4, x8, x16, x32)
BLC (逆光補正) : 有り (ON, OFF)
ワイドダイナミックレンジ : 2 シャッター WDR
霧除去 : 有り (OFF, Low, Mid, High)
イメージスタビライザー : 有り (ON, OFF)、電子式
カラーレベル : 調整可能
ブラックレベル : 調整可能
エンハンスレベル : 調整可能
3次元ノイズリダクション : 有り (OFF, Low, Mid, High)
ダイナイト機能 : 赤外カットフィルター挿抜、赤外照明照射
赤外照明 : 照射距離 150 m (ズーム連動、ズーム 6 倍以上)
フリップモード : 選択可能 (OFF, デジタルフリップ, メカニカルフリップ)
プライバシーマスク : 24 個の矩形領域を設定可能
アラーム入力 : 2 系統、メイクブレイク選択
パン/チルト停止 : 1 系統、メイク入力
ダイナイト切替入力 : 1 系統、メイクブレイク選択
アラーム出力 : 2 系統、オープンドレイン
許容印加電圧: DC40 V 以下、許容流入電流: 300 mA 以下

モニター出力 : BNC、使用時はエンコーダー 3 使用不可
音声出力 : 1 系統
音声入力 : 1 系統
プラグインパワーマイク対応
microSD カード : 有り (microSDHC/microSDXC)
スロット

レンズ部

焦点距離 (倍率) : f=4.3 mm~129 mm (光学 30 倍)
最大口径比 : F1.6 (ワイド端)~4.7 (テレ端)
包括角度 (水平×垂直) : 65.1°×38.4° (ワイド端)
16:9 時設計 : 2.6°×1.5° (テレ端)
親水コーティング : レンズカバーに有り
赤外カットフィル : 有り
ター切替 : 有り
近赤外ズームト : 対応
ラッキング : 有り
水平解像度 : 中心: 900 TVL 以上、周辺: 600 TVL 以上
最小絞り : オートアイリス時: F9 相当 (ワイド端)
電子ズーム : 最大 32 倍
最至近距離 : 1.2 m

推奨 PC

OS : Windows 10 Pro (64 bit)
Windows 8.1 (32 bit/64 bit)
Windows 7 Professional SP1 (32 bit/64 bit)
CPU : Intel Core i5 3.40 GHz 以上
メモリー : 4 GB 以上
ハードディスク容量 : 512 MB 以上の空き容量
量
ディスプレイ : 1920×1080 ピクセル以上、True Color

回転機構部

水平回転範囲 : 360° エンドレス回転
水平回転速度 : 1°/s~300°/s
垂直回転範囲 : -30°~210° (正面水平を 0°とし、そこから上方向をマイナスとし、逆方向をプラスとする)
垂直回転速度 : 1°/s~300°/s

ネットワーク部

インターフェース: RJ-45、10Base-T/100Base-TX (AUTO NEGOTIATION)
通信プロトコル: IPv4、IPv6、HTTP、TCP、UDP、FTP、RTP、RTSP、RTCP、SMTP、DHCP、SNTP、SNMP v1/v2c/v3、ICMP、IGMP、DNS、DDNS、ARP
標準化プロトコル: ONVIF profile S
画像圧縮フォーマット: H.264 (Main/High profile)/JPEG
フレームサイズ: 1920 × 1080、1280 × 960、1280 × 720、640 × 480、640 × 360、320 × 240
圧縮設定(H.264): VBR/CBR(ビットレート設定可能 128 kbps~12288 kbps)
圧縮設定(JPEG): VFS(クオリティ設定可能)
フレームレート: 最高 60 fps (WDR 時は 30 fps)
音声圧縮方式: G.711μ-Law
音声ファイル: WAVE ファイル形式 (リニア PCM、8 kHz、16 bit、モノラル)
配信方式: ユニキャスト/マルチキャスト
ビューワー: Web ブラウザー Internet Explorer 11(32bit)
接続クライアント: 最大 10(エンコーダ CH あたり最大 8)
最大合計配信レー: ビットレート合計が 40 Mbps 未満
ト
マルチエンコード: 異なるフレームサイズや圧縮形式、ビットレートで同時 4 本までエンコード可能
動き検出機能: 有り(ホームポジションのみ)
妨害検出機能: 有り(ホームポジションのみ)
異常検出機能: 有り
ネットワーク障害: 有り
検出機能
Web サーバー機能: 有り
FTP クライアント機能: 有り
FTP サーバー機能: 有り(SD カード記録ファイルダウンロード用)
メール通知機能: 有り
DHCP クライアント機能: 選択可能(工場出荷時:無効)
SNTP クライアント機能: 有り
アクセス保護機能: 有り(パスワードによる 3 段階設定)

SD カード機能: H.264、プリ(7 秒)ポスト(60 秒)アラーム記録
連続記録(映像:H.264 音声:G.711)
Web ブラウザーによる再生、ダウンロード可能
FTP 映像送受信機能: JPEG、640×360、毎秒 1 枚
ポスト(60 秒)アラーム記録、連続記録
オートリターン: 有り
オートパン: 有り
オートパトロール: 有り(32 箇所×3 セット)
プリセットポジション数: 最大 256 個

総合

電源: AC 100 V - 200 V、50 Hz/ 60 Hz
または DC-54 V (IEEE802.3bt Draft2.0 準拠の PoE++)
AC 電源を使用するときは別途電源ソケット(メス)が必要です。
消費電力: AC 100 V - 200 V: 110 W、PoE++ : 51 W
消費電流: AC 100 V - AC 200 V: 1900 mA、PoE++ : 940 mA
周囲温度: -40℃~50℃(動作、AC 電源使用時)
-30℃~40℃(推奨、AC 電源使用時)
-10℃~50℃(動作、PoE++ 使用時)
-10℃~40℃(推奨、PoE++ 使用時)
湿度: 20%RH~90%RH(結露なきこと)
防塵防水性能: IP66 準拠(JIS C 0920)
氷結時損傷保護: UL50E(NEMA 4X 相当)
許容風速: 60 m/s(非破壊、回転機構速度 60°/s 以下、マニュアル動作推奨)
40 m/s(全動作)
内部時計精度: 月差 5 分以内
外形寸法: 幅 274 mm × 高さ 456 mm × 奥行 318 mm(突起物含まず)
質量: 約 10.2 kg(カメラ本体 7.2 kg、壁面取付ブラケット 3 kg)
仕上: 耐塩塗装
色: 外表:パールグレー(マンセル 0.9PB8.5/0.4 近似)
アクセント: ライトシルバー(マンセル 1.5PB8.4/0.3 近似)

※ 本機は「高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品」です。

その他 (つづき)

添付物・付属品

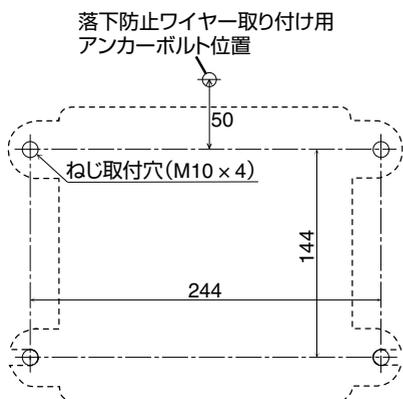
取扱説明書(設置編):1

テンプレート:1

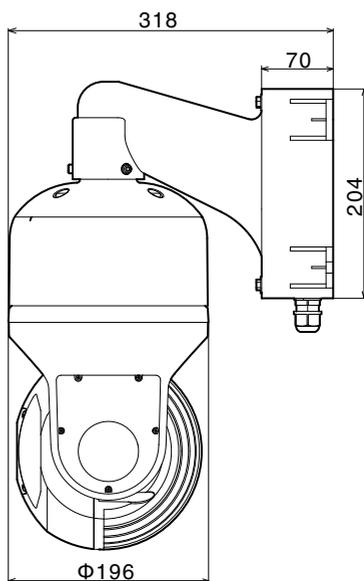
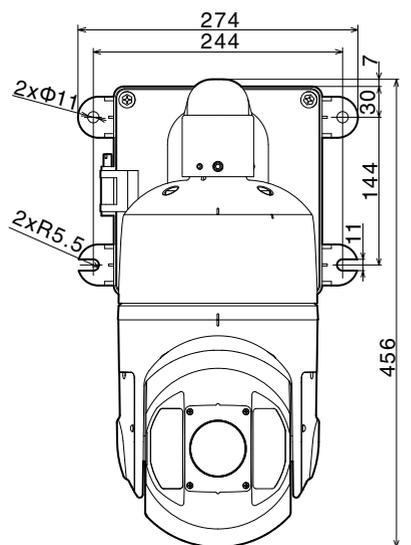
保証書:1

コネクターカバー:1

壁面取付穴[単位:mm]



外形寸法図[単位:mm]



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12